厚真町の復旧復興に向けたアンケート調査集計結果（詳細版）

１．アンケート実施概要 2

２．集計結果概要　①回答者の属性 2

Q4-4 エリア別の回収状況 2
Q4-1 回答者の年齢 4
Q4-２, Q4-3 回答者の性別、世帯の種類 4

３．集計結果概要　②住宅の被害と再建等について 5

Q1-1 地震時の住宅の種類 5
Q1-2 回答者のり災証明の状況（地区別） 6
Q1-3 住宅の被害状況(複数回答)（地区別） 7
Q1-4 現在の住まい（被災程度別） 8
Q1-5-1 今後の住まいの場所（被災程度別） 9
Q1-5-1 今後の住まいの場所（地区別） 10
Q1-5-1 今後の住まいの場所（集落別） 11
Q1-5-2 移転する場合の住所（地区別） 13
Q1-6 住まいの再建について（被災程度別） 14
Q1-7 移転をする場合の理由（複数回答）（被災程度別） 15
Q1-8 住まいに関する困りごと（複数回答）（被災程度別） 16
Q1-9、Q1-10 高齢者向け施設等の入居希望、希望の施設 16

４．集計結果概要　③厚真町の復興や将来像について 18

Q3-1 住宅の再生で重要な点（２つ選択） 18
Q3-2 暮らしの再生で重要な点（２つ選択） 19
Q3-3 しごとの再生で重要な点（２つ選択） 24
Q3-4 安全なまちづくりで重要な点（２つ選択） 26
Q3-5 町の復興への取り組み（２つ選択） 28

５．集計結果概要　④しごとの被害について 30

Q2-2 職業×年齢 30
Q2-5 業種×就業形態 31
Q2-6 業種×就業地 32
Q2-7 業種×地震の被害・影響（複数回答） 35
Q2-8 業種×転職・休職の状況 33
Q2-9 業種×転職先の業種 35

６．自由意見　「こんな厚真にしたい」 36

７．自由意見　「厚真町の復旧・復興について、ご意見・ご要望」 47

８．「住宅に関する困りごと」その他の記載事項（問１-８） 56

(参考) アンケート票 59

1．アンケート実施概要

対 象 者：　厚真町内の全世帯
実施期間：　令和元年７月27日（土）～令和元年８月９日（金）
実施方法：　郵送配布、郵送回収
配 布 数：　2,120票
回収状況：　852票（回収率 40.2%）

※以降の集計結果概要におけるグラフ中のN値は、設問の回答者数を示す。

2．集計結果概要　①回答者の属性

Q4-4 エリア別の回収状況

・字別の回収率は、高丘が約63%と最も多く、次いで桜丘が約57%、幌内が約49%の順に多い。

・北部地区、厚真地区、厚南地区の３つの地区区分でみると、被害の大きかった北部地区と厚真地区で約39%、厚南地区で約34%であった。

【字別の回収状況】

	1.幌内	2.富里	3.高丘	4.吉野	5.東和	6.桜丘	7.朝日	8.本郷	9.幌里	10.京町	11.表町
回答数	23	8	10	4	14	12	27	118	10	29	81
世帯数	47	30	16	13	44	21	67	318	36	84	225
回収率	48.9%	26.7%	62.5%	30.8%	31.8%	57.1%	40.3%	37.1%	27.8%	34.5%	36.0%

	12.錦町	13.本町	14.新町	15.宇隆	16.美里	17.豊沢	18.上野	19.豊川	20.共栄	21.富野	22.上厚真
回答数	8	23	69	17	22	73	13	15	10	14	104
世帯数	23	54	183	47	47	157	37	34	38	50	291
回収率	34.8%	42.6%	37.7%	36.2%	46.8%	46.5%	35.1%	44.1%	26.3%	28.0%	35.7%

	23.共和	24.厚和	25.鯉沼	26.浜厚真	27.軽舞	28.豊丘	29.鹿沼	回答者計	無回答
回答数	22	6	3	8	28	15	23	809	43
世帯数	68	27	25	37	65	37	60	2,181	
回収率	32.4%	22.2%	12.0%	21.6%	43.1%	40.5%	38.3%	37.1%	

※回収率は、回収数を2018年９月６日時点の世帯数で除した値である。

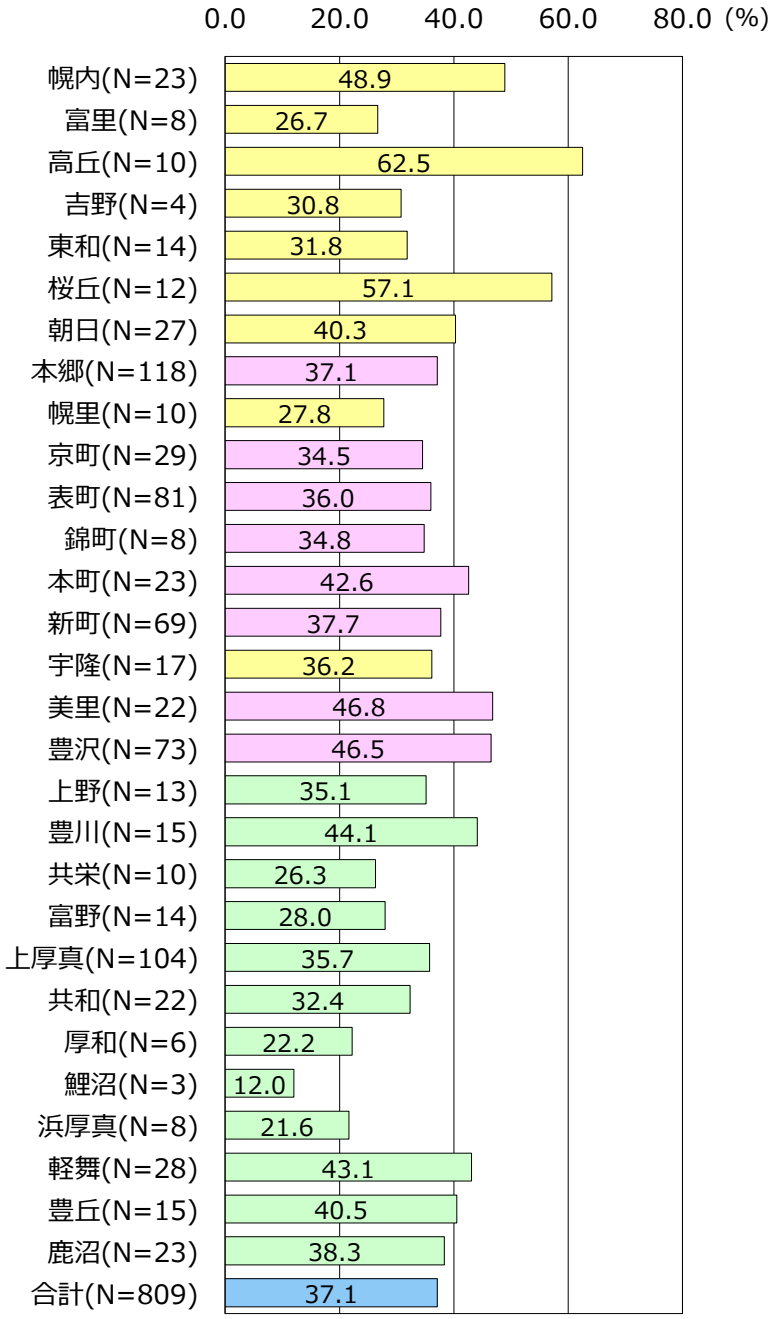
以降の設問では、以下の３つの地区に分けて集計を行った。なお、上部表中の黄色は北部地区に、橙色は厚真地区、緑色は厚南地区に含めている。

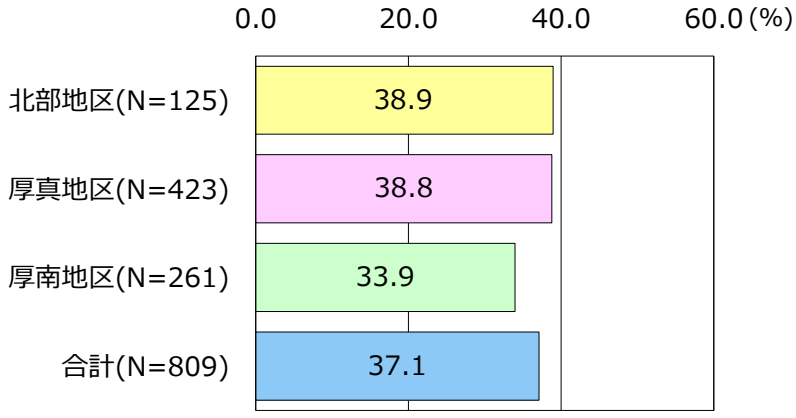
【地区別の回収状況】

	北部地区	厚真地区	厚南地区	回答者計	無回答
回答数	125	423	261	809	43
世帯数	321	1,091	769	2,181	
回収率	38.9%	38.8%	33.9%	37.1%	

※回収率は、回収数を2018年９月６日時点の世帯数で除した値である。

エリア別回収率（母数の世帯数は2019年9月6日現在、回収票のうち居住地区の回答のないものを除く）

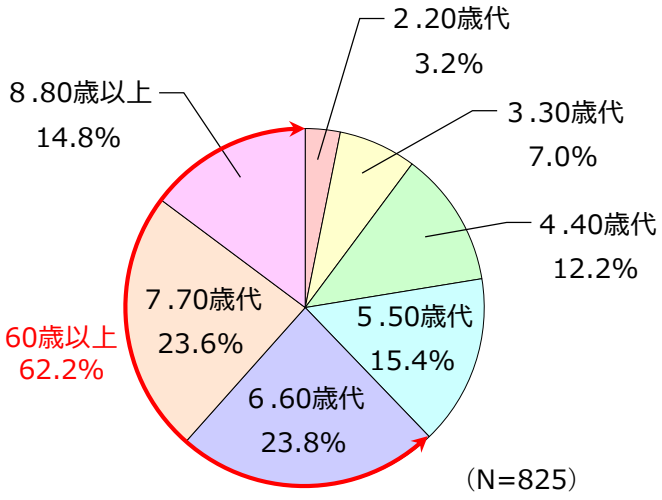




Q4-1 回答者の年齢

・高齢者の回答が多く、60代以上が過半数の約62%を占める。内訳では、60代、70代がともに約24%、80代以上、50代がともに約15%である。

	1.10 歳代	2.20 歳代	3.30 歳代	4.40 歳代	5.50 歳代	6.60 歳代	7.70 歳代	8.80 歳以上	回答者計	無回答
回答数	0	26	58	101	127	196	195	122	825	27
構成比	0.0%	3.2%	7.0%	12.2%	15.4%	23.8%	23.6%	14.8%	100.0%	



Q4-2, Q4-3 回答者の性別、世帯の種類

・回答者の性別は男性が約77%、世帯の種類では、夫婦のみの世帯が約39%、二世代の世帯（親と子）が約30%、単身世帯が約24%となっている。

Q4-2 性別

	1.男性	2.女性	回答者計	無回答
回答数	629	188	817	35
構成比	77.0%	23.0%	100.0%	

Q4-3 世帯の種類

	1.単身世帯	2.夫婦のみの世帯	3.二世代の世帯	4.三世代の世帯	5.その他	回答者計	無回答
回答数	194	321	244	30	29	818	34
構成比	23.7%	39.2%	29.8%	3.7%	3.5%	100.0%	

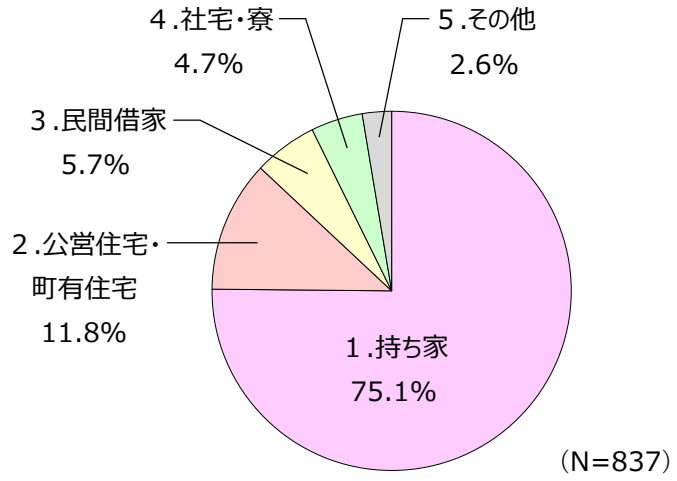
３．集計結果概要　②住宅の被害と再建等について

Q1-1 地震時の住宅の種類

・地震時に住んでいた住宅は、大部分の3/4(約75%)が持ち家(一戸建て)である。

	１.持ち家	２.公営住宅・町有住宅	３.民間借家	４.社宅・寮	５.その他	回答者計	無回答
回答数	629	99	48	39	22	837	15
構成比	75.1%	11.8%	5.7%	4.7%	2.6%	100.0%	

※その他には、施設の入所者 14 名を含む。



Q1-2 回答者のり災証明判定の状況（地区別）

・り災証明判定の状況は、全壊が約13%、大規模半壊が約4%、半壊が約14%、一部損壊が46%となっている。なお、被害なしは約17%であった。

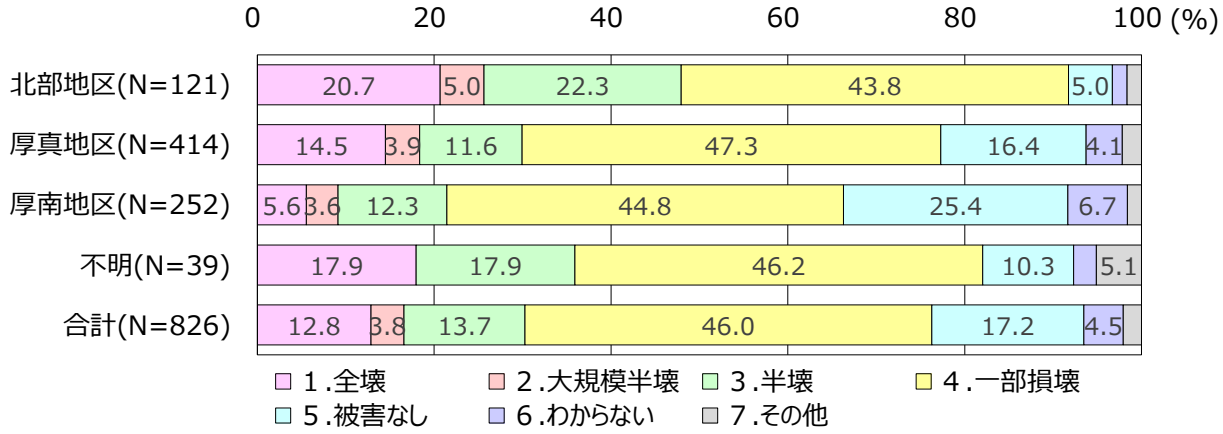
・地区別でみると、北部で全壊が約21%、大規模半壊が5%、半壊が約22%と被害が大きい割合が多い。一方、厚南地区では被害なしが約25%となっている。

（回答数）

	1.全壊	2.大規模半壊	3.半壊	4.一部損壊	5.被害なし	6.わからない	7.その他	回答者計	無回答
1.北部地区	25	6	27	53	6	2	2	121	4
2.厚真地区	60	16	48	196	68	17	9	414	9
3.厚南地区	14	9	31	113	64	17	4	252	9
不明	7	0	7	18	4	1	2	39	4
合計	106	31	113	380	142	37	17	826	26

（構成比）

	1.全壊	2.大規模半壊	3.半壊	4.一部損壊	5.被害なし	6.わからない	7.その他	回答者計
1.北部地区	20.7%	5.0%	22.3%	43.8%	5.0%	1.7%	1.7%	100.0%
2.厚真地区	14.5%	3.9%	11.6%	47.3%	16.4%	4.1%	2.2%	100.0%
3.厚南地区	5.6%	3.6%	12.3%	44.8%	25.4%	6.7%	1.6%	100.0%
不明	17.9%	0.0%	17.9%	46.2%	10.3%	2.6%	5.1%	100.0%
合計	12.8%	3.8%	13.7%	46.0%	17.2%	4.5%	2.1%	100.0%



Q1-3 住宅の被害状況(複数回答)（地区別）

・住宅の被害状況では、「揺れによる住居破損」が最も多く約55%を占める。次いで「地割れ・地盤被害」で約33%、「井戸水等インフラ被害」が約24%となっている。なお、「ほとんど被害なし」は約20%となっている。

・各地区とも「揺れによる住居破損」が最も多く約５割であるが、北部地区では「井戸水等インフラ被害」が約45%、厚真地区では「地割れ・地盤被害」が約41%と多くなっている。

・また、全体の約20%を占める「その他の被害」の中には、家具・家財の被害、車の被害、納屋の被害等が多く挙がっている。

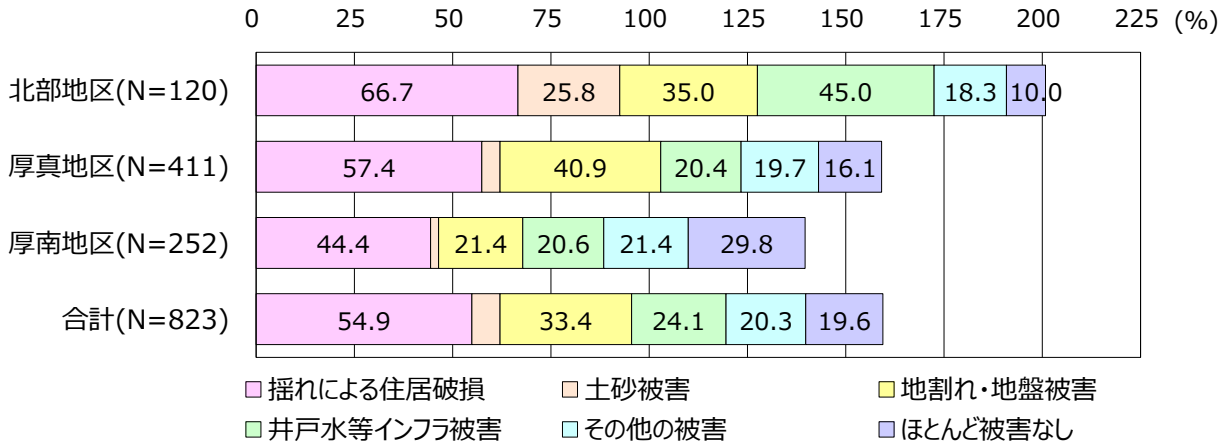
（回答数）

	１.揺れによる住居破損	２.土砂被害	３.地割れ・地盤被害	４.井戸水等インフラ被害	５.その他の被害	６.ほとんど被害なし	回答計	回答者数	無回答
1.北部地区	80	31	42	54	22	12	241	120	5
2.厚真地区	236	19	168	84	81	66	654	411	12
3.厚南地区	112	5	54	52	54	75	352	252	9
不明	24	4	11	8	10	8	65	40	3
合計	452	59	275	198	167	161	1,312	823	29

（構成比）

	１.揺れによる住居破損	２.土砂被害	３.地割れ・地盤被害	４.井戸水等インフラ被害	５.その他の被害	６.ほとんど被害なし	回答計	回答者数
1.北部地区	66.7%	25.8%	35.0%	45.0%	18.3%	10.0%	200.8%	100.0%
2.厚真地区	57.4%	4.6%	40.9%	20.4%	19.7%	16.1%	159.1%	100.0%
3.厚南地区	44.4%	2.0%	21.4%	20.6%	21.4%	29.8%	139.7%	100.0%
不明	60.0%	10.0%	27.5%	20.0%	25.0%	20.0%	162.5%	100.0%
合計	54.9%	7.2%	33.4%	24.1%	20.3%	19.6%	159.4%	100.0%

(住宅の被害状況、複数回答、回答者数に対する構成比の積み上げグラフ)



Q1-4 現在の住まい（被災程度別）

・現在の住まいは、約77%が地震時の自宅、約13%が仮設住宅等一時的な住宅に住んでいる状況である。なお、約５%はすでに修復した住宅等に住んでいると回答している。

・全壊世帯では、約60%が一時的な住宅、大規模半壊、半壊世帯では約20～22%が一時的な住宅に住んでいる。

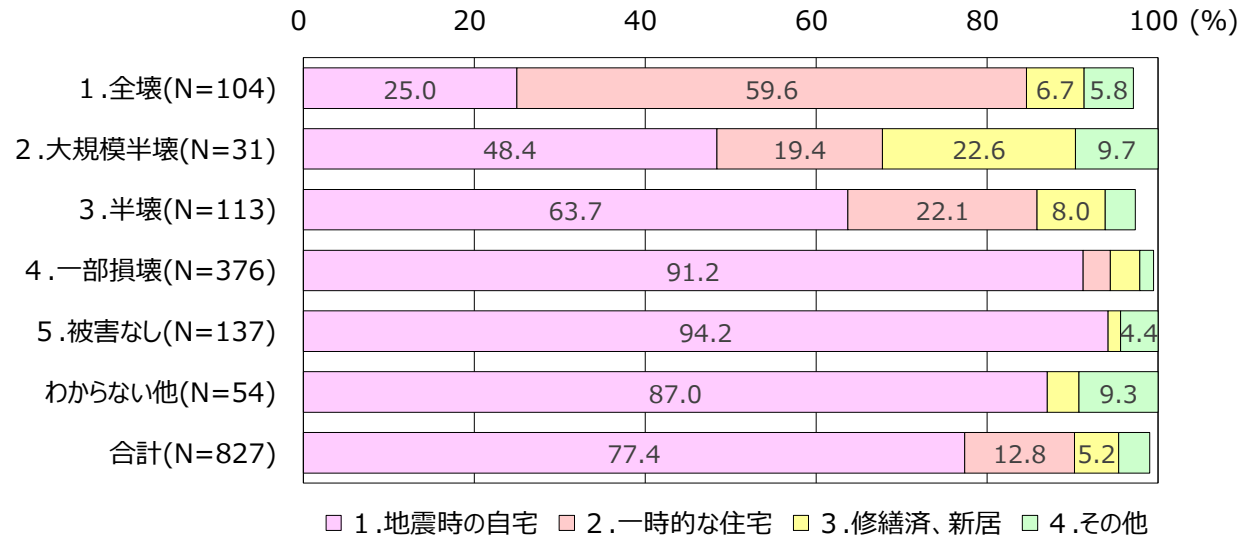
・その他、自宅と仮設住宅の両方で生活している方も一部いることが分かった。

（回答数）

	１.地震時の自宅	２.一時的な住宅	３.修繕済、新居	４.その他	回答者計	無回答
１.全壊	26	62	7	6	104	2
２.大規模半壊	15	6	7	3	31	0
３.半壊	72	25	9	4	113	0
４.一部損壊	343	12	13	6	376	4
５.被害なし	129	0	2	6	137	5
わからない他	47	0	2	5	54	0
無回答	8	1	3	0	12	14
合計	640	106	43	30	827	25

（構成比）

	１.地震時の自宅	２.一時的な住宅	３.修繕済、新居	４.その他	回答者計
１.全壊	25.0%	59.6%	6.7%	5.8%	100.0%
２.大規模半壊	48.4%	19.4%	22.6%	9.7%	100.0%
３.半壊	63.7%	22.1%	8.0%	3.5%	100.0%
４.一部損壊	91.2%	3.2%	3.5%	1.6%	100.0%
５.被害なし	94.2%	0.0%	1.5%	4.4%	100.0%
わからない他	87.0%	0.0%	3.7%	9.3%	100.0%
無回答	66.7%	8.3%	25.0%	0.0%	100.0%
合計	77.4%	12.8%	5.2%	3.6%	100.0%



Q1-5-1 今後の住まいの場所（被災程度別）

・今後の住まいの場所に対しては、地震前と同じ場住所とする意向が約83%、別の場所に移転という意向が約11%である。

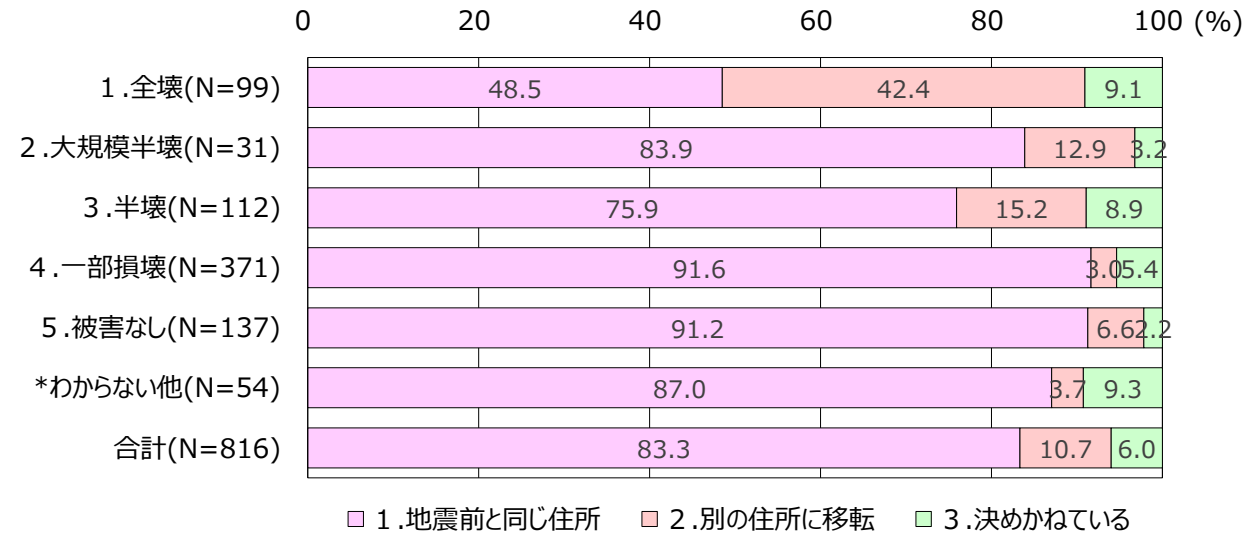
・被災程度別にみると、全壊では、地震前と同じ場所とする意向が約49%、別の場所に移転という意向が約42%と移転の割合が大きく増加する。大規模半壊、半壊では、地震前と同じ場所とする意向がそれぞれ約84%、約76%、別の場所に移転という意向がそれぞれ、約13%、約15%と移転の割合がやや高い。

（回答数）

	1.地震前と同じ住所	2.別の住所に移転	3.決めかねている	回答数	無回答
1.全壊	48	42	9	99	7
2.大規模半壊	26	4	1	31	0
3.半壊	85	17	10	112	1
4.一部損壊	340	11	20	371	9
5.被害なし	125	9	3	137	5
わからない他	47	2	5	54	0
無回答	9	2	1	12	14
合計	680	87	49	816	36

（構成比）

	1.地震前と同じ住所	2.別の住所に移転	3.決めかねている	回答数
1.全壊	48.5%	42.4%	9.1%	100.0%
2.大規模半壊	83.9%	12.9%	3.2%	100.0%
3.半壊	75.9%	15.2%	8.9%	100.0%
4.一部損壊	91.6%	3.0%	5.4%	100.0%
5.被害なし	91.2%	6.6%	2.2%	100.0%
わからない他	87.0%	3.7%	9.3%	100.0%
無回答	75.0%	16.7%	8.3%	100.0%
合計	83.3%	10.7%	6.0%	100.0%



Q1-5-1 今後の住まいの場所（地区別）

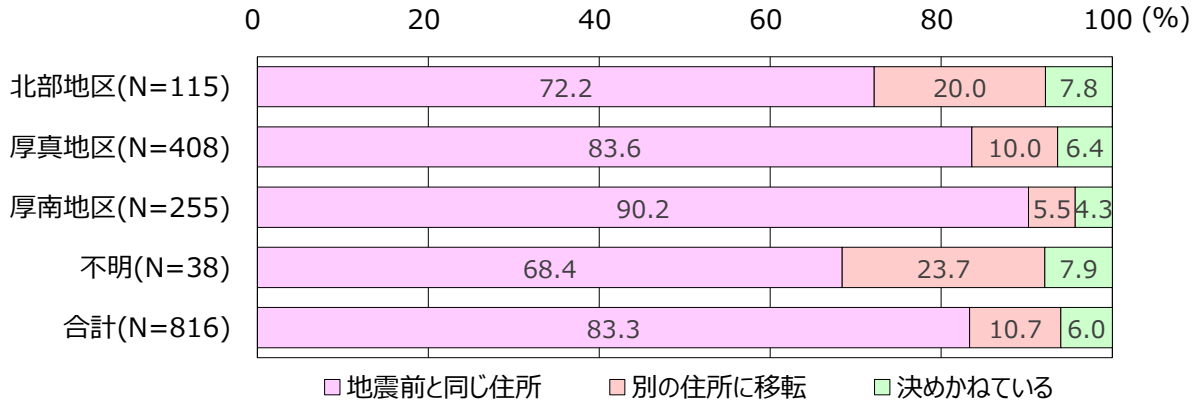
・今後の住まいの場所に対して、地区別にみると、北部地区では、別の場所に移転とする意向がやや高く20%となっている。

（回答数）

	1.地震前と同じ住所	2.別の住所に移転	3.決めかねている	回答者計	無回答
1.北部地区	83	23	9	115	10
2.厚真地区	341	41	26	408	15
3.厚南地区	230	14	11	255	6
不明	26	9	3	38	5
合計	680	87	49	816	36

（構成比）

	1.地震前と同じ住所	2.別の住所に移転	3.決めかねている	回答者計
1.北部地区	72.2%	20.0%	7.8%	100.0%
2.厚真地区	83.6%	10.0%	6.4%	100.0%
3.厚南地区	90.2%	5.5%	4.3%	100.0%
不明	68.4%	23.7%	7.9%	100.0%
合計	83.3%	10.7%	6.0%	100.0%



Q1-5-1 今後の住まいの場所（集落別）

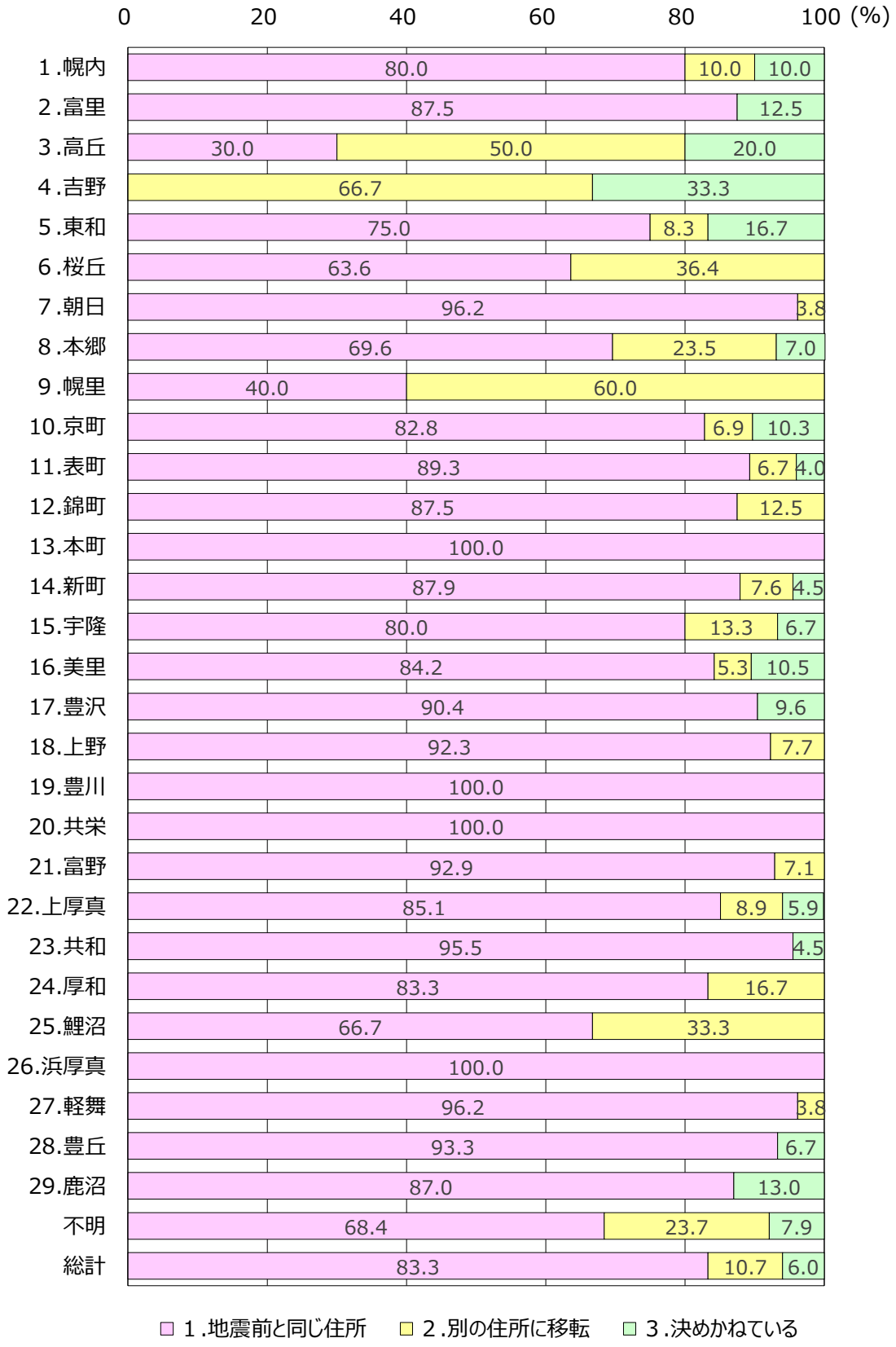
・今後の住まいの場所に対して、集落別にみると、吉野で別の場所が約67%、わからないが約33%、高丘で別の場所が50%、わからないが20%である。その他で別の場所への移転が多いのは、幌里で60%、桜丘で約36%、本郷で約24%(豊厚園居住者を含む)である。（鯉沼でも別の場所が約33%あるが、回答者数が３名である。）

（回答者数）

	１.地震前と同じ住所	２.別の住所に移転	３.決めかねている	回答者計	無回答	総計
１.幌内	16	2	2	20	3	23
２.富里	7	0	1	8	0	8
３.高丘	3	5	2	10	0	10
４.吉野	0	2	1	3	1	4
５.東和	9	1	2	12	2	14
６.桜丘	7	4	0	11	1	12
７.朝日	25	1	0	26	1	27
８.本郷	80	27	8	115	3	118
９.幌里	4	6	0	10	0	10
10.京町	24	2	3	29	0	29
11.表町	67	5	3	75	6	81
12.錦町	7	1	0	8	0	8
13.本町	23	0	0	23	0	23
14.新町	58	5	3	66	3	69
15.宇隆	12	2	1	15	2	17
16.美里	16	1	2	19	3	22
17.豊沢	66	0	7	73	0	73
18.上野	12	1	0	13	0	13
19.豊川	15	0	0	15	0	15
20.共栄	9	0	0	9	1	10
21.富野	13	1	0	14	0	14
22.上厚真	86	9	6	101	3	104
23.共和	21	0	1	22	0	22
24.厚和	5	1	0	6	0	6
25.鯉沼	2	1	0	3	0	3
26.浜厚真	8	0	0	8	0	8
27.軽舞	25	1	0	26	2	28
28.豊丘	14	0	1	15	0	15
29.鹿沼	20	0	3	23	0	23
不明	26	9	3	38	5	43
総計	680	87	49	816	36	852

（構成比）

	１.地震前と同じ住所	２.別の住所に移転	３.決めかねている	回答者計
１.幌内	80.0%	10.0%	10.0%	100.0%
２.富里	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%
３.高丘	30.0%	50.0%	20.0%	100.0%
４.吉野	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%
５.東和	75.0%	8.3%	16.7%	100.0%
６.桜丘	63.6%	36.4%	0.0%	100.0%
７.朝日	96.2%	3.8%	0.0%	100.0%
８.本郷	69.6%	23.5%	7.0%	100.0%
９.幌里	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
10.京町	82.8%	6.9%	10.3%	100.0%
11.表町	89.3%	6.7%	4.0%	100.0%
12.錦町	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
13.本町	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
14.新町	87.9%	7.6%	4.5%	100.0%
15.宇隆	80.0%	13.3%	6.7%	100.0%
16.美里	84.2%	5.3%	10.5%	100.0%
17.豊沢	90.4%	0.0%	9.6%	100.0%
18.上野	92.3%	7.7%	0.0%	100.0%
19.豊川	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20.共栄	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
21.富野	92.9%	7.1%	0.0%	100.0%
22.上厚真	85.1%	8.9%	5.9%	100.0%
23.共和	95.5%	0.0%	4.5%	100.0%
24.厚和	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
25.鯉沼	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
26.浜厚真	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
27.軽舞	96.2%	3.8%	0.0%	100.0%
28.豊丘	93.3%	0.0%	6.7%	100.0%
29.鹿沼	87.0%	0.0%	13.0%	100.0%
不明	68.4%	23.7%	7.9%	100.0%
総計	83.3%	10.7%	6.0%	100.0%


0
20
40
60
80
100 (%)
1.幌内 80.0 10.0 10.0
2.富里 87.5 12.5
3.高丘 30.0 50.0 20.0
4.吉野 66.7 33.3
5.東和 75.0 8.3 16.7
6.桜丘 63.6 36.4
7.朝日 96.2 3.8
8.本郷 69.6 23.5 7.0
9.幌里 40.0 60.0
10.京町 82.8 6.9 10.3
11.表町 89.3 6.7 4.0
12.錦町 87.5 12.5
13.本町 100.0
14.新町 87.9 7.6 4.5
15.宇隆 80.0 13.3 6.7
16.美里 84.2 5.3 10.5
17.豊沢 90.4 9.6
18.上野 92.3 7.7
19.豊川 100.0
20.共栄 100.0
21.富野 92.9 7.1
22.上厚真 85.1 8.9 5.9
23.共和 95.5 4.5
24.厚和 83.3 16.7
25.鯉沼 66.7 33.3
26.浜厚真 100.0
27.軽舞 96.2 3.8
28.豊丘 93.3 6.7
29.鹿沼 87.0 13.0
不明 68.4 23.7 7.9
総計 83.3 10.7 6.0
1.地震前と同じ住所
2.別の住所に移転
3.決めかねている

Q1-5-2 移転する場合の住所（地区別）

・住まいの移転を考えている人の移転場所の希望では、同じ地区内が約22%に対して、町内が約55%と多くなっている。

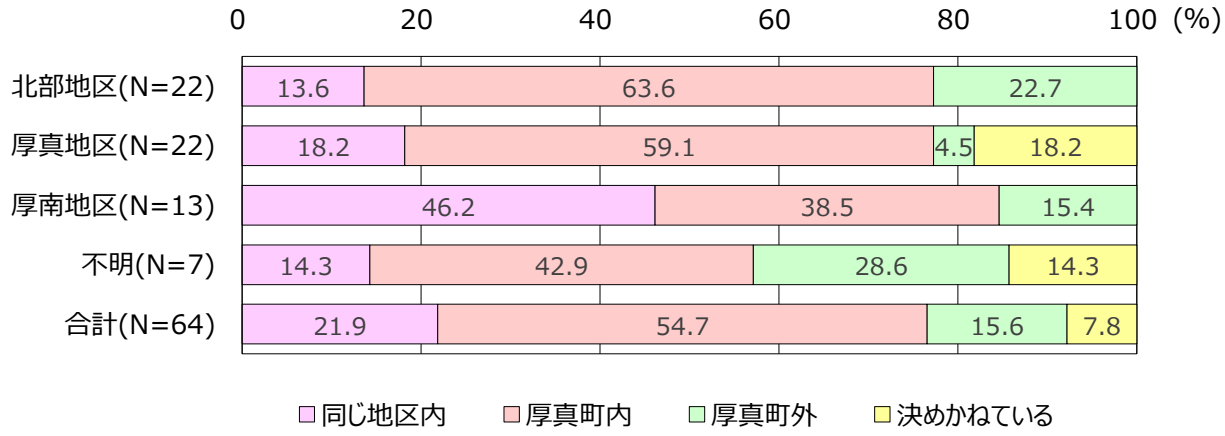
・移転を希望する人の多い北部等では、移転先として同じ地区内が約14%に対して、町内が約64%となっている。

（回答数）

	1.同じ地区内	2.厚真町内	3.厚真町外	4.決めかねている	回答者計	無回答	移転と回答した者
1.北部地区	3	14	5	0	22	1	23
2.厚真地区	4	13	1	4	22	19	41
3.厚南地区	6	5	2	0	13	1	14
不明	1	3	2	1	7	2	9
合計	14	35	10	5	64	23	87

（構成比）

	1.同じ地区内	2.厚真町内	3.厚真町外	4.決めかねている	回答者計
1.北部地区	13.6%	63.6%	22.7%	0.0%	100.0%
2.厚真地区	18.2%	59.1%	4.5%	18.2%	100.0%
3.厚南地区	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	100.0%
不明	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	100.0%
合計	21.9%	54.7%	15.6%	7.8%	100.0%



Q1-6 住まいの再建について（被災程度別）

・住まいの再建については、修繕が38%、建替えが約８%、公営住宅等が約５%である。そのままとする人が約42%である。

・被災の程度別では、全壊の場合は、建替えが約30%、修繕が約26%、公営住宅が約17%であり、半壊の場合は、修繕が約56%、建替えが約14%、公営住宅等が約８%となる。

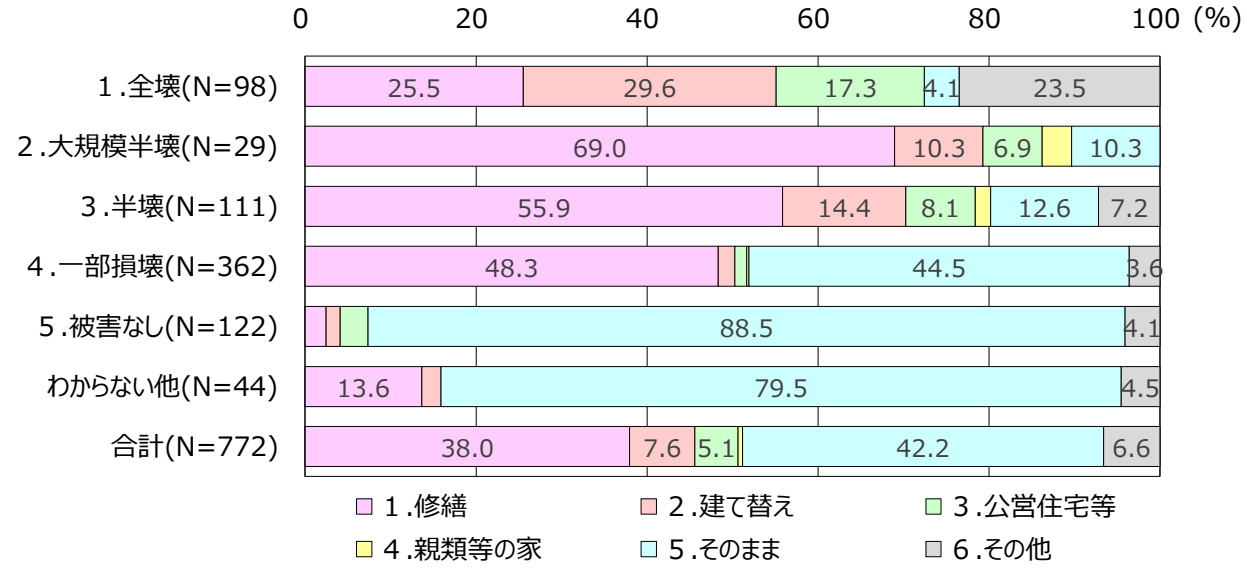
（回答数）

	１.修繕	２.建て替え	３.公営住宅等	４.親類等の家	５.そのまま	６.その他	回答者数	無回答
１.全壊	25	29	17	0	4	23	98	8
２.大規模半壊	20	3	2	1	3	0	29	2
３.半壊	62	16	9	2	14	8	111	2
４.一部損壊	175	7	5	1	161	13	362	18
５.被害なし	3	2	4	0	108	5	122	20
*わからない他	6	1	0	0	35	2	44	10
無回答	2	1	2	0	1	0	6	20
合計	293	59	39	4	326	51	772	80

（構成比）

	１.修繕	２.建て替え	３.公営住宅等	４.親類等の家	５.そのまま	６.その他	回答者数
１.全壊	25.5%	29.6%	17.3%	0.0%	4.1%	23.5%	100.0%
２.大規模半壊	69.0%	10.3%	6.9%	3.4%	10.3%	0.0%	100.0%
３.半壊	55.9%	14.4%	8.1%	1.8%	12.6%	7.2%	100.0%
４.一部損壊	48.3%	1.9%	1.4%	0.3%	44.5%	3.6%	100.0%
５.被害なし	2.5%	1.6%	3.3%	0.0%	88.5%	4.1%	100.0%
*わからない他	13.6%	2.3%	0.0%	0.0%	79.5%	4.5%	100.0%
無回答	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%
合計	38.0%	7.6%	5.1%	0.5%	42.2%	6.6%	100.0%

※ 全壊でその他の具体的内容は、福祉施設・病院が10名



Q1-7 移転をする場合の理由（複数回答）（被災程度別）

・住まいの移転を希望する場合の移転理由では、最も多いのは「土砂災害等の不安」で回答者の30%で、次いで、「生活に便利なところ」、「病院等の近く」がともに25%で生活のしやすい場所へのニーズが高い。

・北部地区で移転を希望する人は「土砂災害等の不安」をあげる人が過半数の約55%となっている。

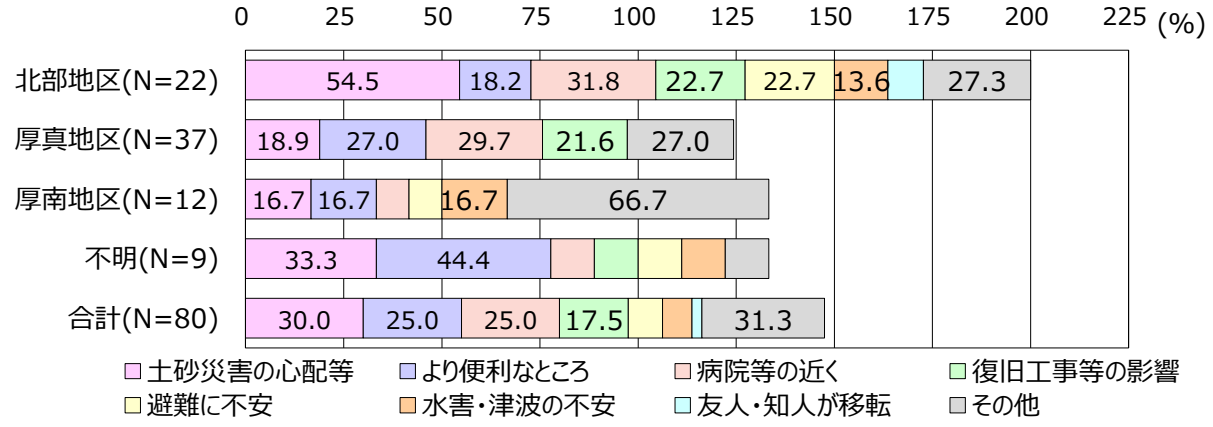
（回答数）

	1.土砂災害の心配等	6.便利なところ	7.病院等の近く	4.復旧工事等の影響	3.避難に不安	2.水害津波の不安	5.友人知人が移転	8.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	12	4	7	5	5	3	2	6	44	22
2.厚真地区	7	10	11	8	0	0	0	10	46	37
3.厚南地区	2	2	1	0	1	2	0	8	16	12
不明	3	4	1	1	1	1	0	1	12	9
合計	24	20	20	14	7	6	2	25	118	80

（回答者数に対する構成比）

	1.土砂災害の心配等	6.便利なところ	7.病院等の近く	4.復旧工事等の影響	3.避難に不安	2.水害津波の不安	5.友人知人が移転	8.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	54.5%	18.2%	31.8%	22.7%	22.7%	13.6%	9.1%	27.3%	200.0%	100.0%
2.厚真地区	18.9%	27.0%	29.7%	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%	27.0%	124.3%	100.0%
3.厚南地区	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	66.7%	133.3%	100.0%
不明	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	133.3%	100.0%
合計	30.0%	25.0%	25.0%	17.5%	8.8%	7.5%	2.5%	31.3%	147.5%	100.0%

(移転する場合の理由、複数回答、回答者数に対する構成比の積み上げグラフ)



Q1-8 住まいに関する困りごと（複数回答）（被災程度別）

・住まいに関する困りごとでは、最も多いのが「再建費用の確保」で約12%、次いで、「住む場所の安全性がわからない」が約９％である。なお、「困りごとはない」という人は約64%である。

・被災の程度別では、全壊、大規模半壊、半壊では困りごとが増え、最も多いのは「再建資金の確保」で全壊が約31%、大規模半壊が30%、半壊が約20%の人があげている。次いで、「住む場所の安全性」は約14～18%である。

・その他では、「費用の問題」が12人、「地盤の心配」が9人となっている。（詳細は60頁以降参照）

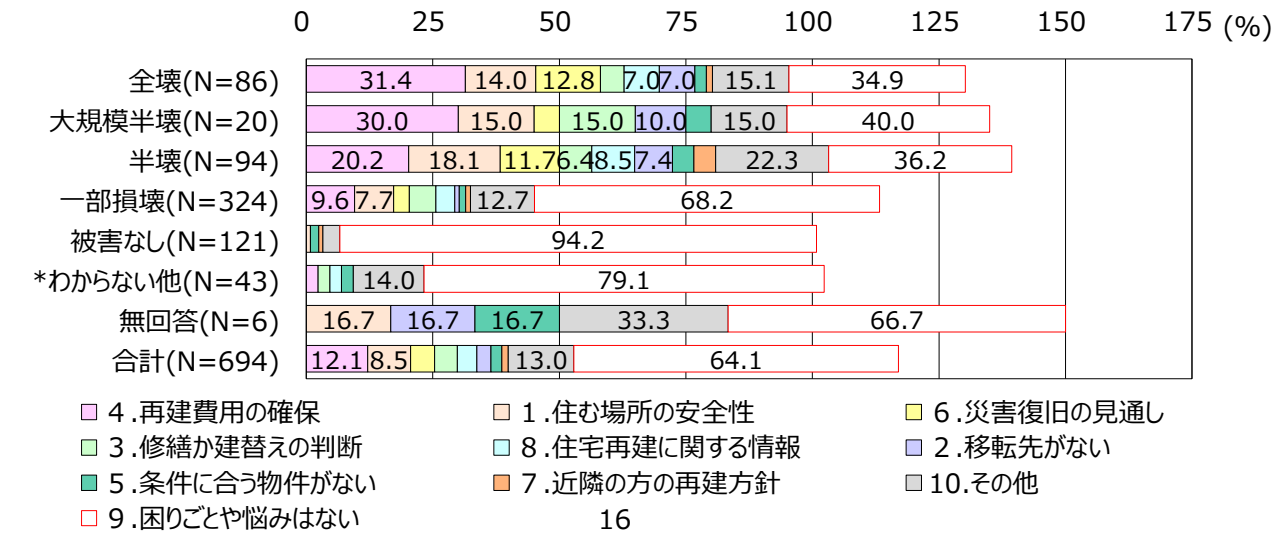
（回答数）

	４.再建費用の確保	１.住む場所の安全性	６.災害復旧の見通し	３.修繕か建替えの判断	８.住宅再建に関する情報	２.移転先がない	５.条件に合う物件がない	７.近隣の方の再建方針	10.その他	９.困りごとや悩みはない	回答数	回答者数
１.全壊	27	12	11	4	6	6	2	1	13	30	112	86
２.大規模半壊	6	3	1	3	0	2	1	0	3	8	27	20
３.半壊	19	17	11	6	8	7	4	4	21	34	131	94
４.一部損壊	31	25	10	17	12	3	4	3	41	221	367	324
５.被害なし	0	1	0	0	0	0	2	1	4	114	122	121
*わからない他	1	0	0	1	1	0	1	0	6	34	44	43
無回答	0	1	0	0	0	1	1	0	2	4	9	6
合計	84	59	33	31	27	19	15	9	90	445	812	694

（回答者数に対する構成比）

	４.再建費用の確保	１.住む場所の安全性	６.災害復旧の見通し	３.修繕か建替えの判断	８.住宅再建に関する情報	２.移転先がない	５.条件に合う物件がない	７.近隣の方の再建方針	10.その他	９.困りごとや悩みはない	回答数	回答者数
１.全壊	31.4%	14.0%	12.8%	4.7%	7.0%	7.0%	2.3%	1.2%	15.1%	34.9%	130.2%	100.0%
２.大規模半壊	30.0%	15.0%	5.0%	15.0%	0.0%	10.0%	5.0%	0.0%	15.0%	40.0%	135.0%	100.0%
３.半壊	20.2%	18.1%	11.7%	6.4%	8.5%	7.4%	4.3%	4.3%	22.3%	36.2%	139.4%	100.0%
４.一部損壊	9.6%	7.7%	3.1%	5.2%	3.7%	0.9%	1.2%	0.9%	12.7%	68.2%	113.3%	100.0%
５.被害なし	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.8%	3.3%	94.2%	100.8%	100.0%
*わからない他	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	14.0%	79.1%	102.3%	100.0%
無回答	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	66.7%	150.0%	100.0%
合計	12.1%	8.5%	4.8%	4.5%	3.9%	2.7%	2.2%	1.3%	13.0%	64.1%	117.0%	100.0%

(住まいに関する困りごと、複数回答、回答者数に対する構成比の積み上げグラフ)



Q1-9、Q1-10 高齢者向け施設等の入居希望、希望の施設

・高齢者向け施設等への入居希望の世帯・世帯員がいるのは31人で、全体の約４％である。なお、既に入居しているのは35人、約５％である。

・望む施設では、食事や入浴などの介護サービスがある施設が約61%、見守りサービスがある施設が約36%である。

Q1-9高齢者向け施設等の入居希望

	1.すでに入居	2.入居したい	3.入居の予定がない	回答者計	無回答
回答数	35	31	688	754	98
構成比	4.6%	4.1%	91.2%	100.0%	

Q1-10入居希望のある場合、施設の種類

	1.介護サービスがある	2.見守りサービス付き	3.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	19	11	2	32	31	0
対回答者	61.3%	35.5%	6.5%	103.2%	100.0%	

※ 複数回答１名分の回答を含む

４．集計結果概要　③厚真町の復興や将来像について

Q3-1 住宅の再生で重要な点（２つ選択）

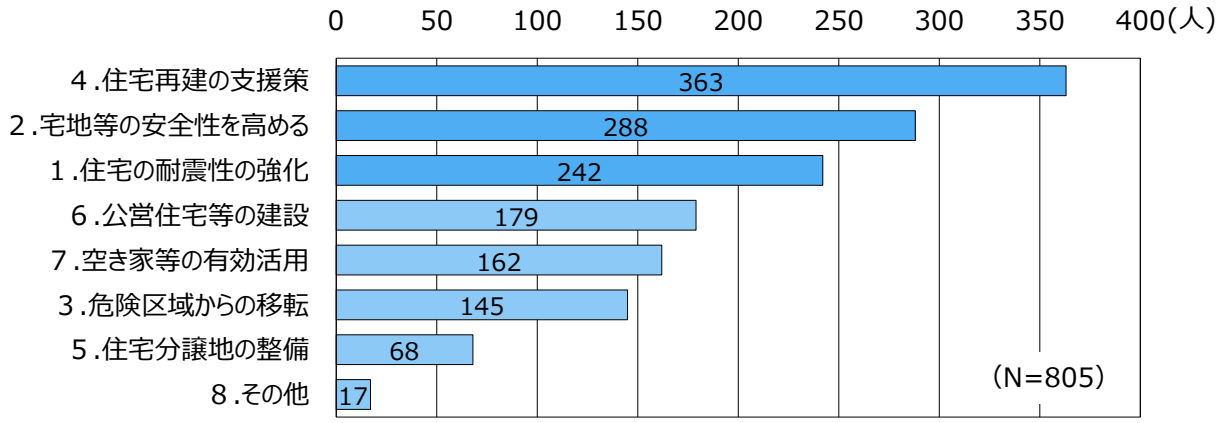
・住宅の再生について重要な点については、最も多いのは、「住宅再建の支援策」が約45%、「宅地の安全性を高める」が約36%、「住宅の耐震性の強化」が約30%の順に多い。(回答者数に対する当該項目を選択した人の構成比)

・なお、全壊等の被災の程度別、地区別にみても大きな差異はない。

	４.住宅再建の支援策	２.宅地等の安全性を高める	１.住宅の耐震性の強化	６.公営住宅等の建設	７.空き家等の有効活用	３.危険区域からの移転	５.市街地等での住宅分譲地の整備	８.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	363	288	242	179	162	145	68	17	1,464	805	47
対回答者	45.1%	35.8%	30.1%	22.2%	20.1%	18.0%	8.4%	2.1%	181.9%	100.0%	

(その他の記載事項)

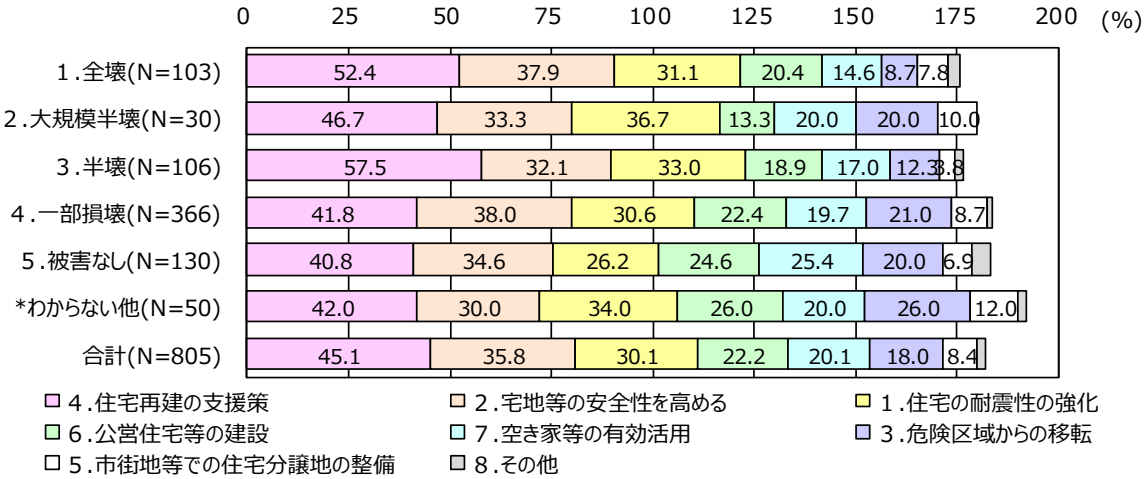
・資金が必要、高齢に入るとやはりお金の問題。
・市街化調整区域の解除
・住宅再建のための人手の確保（材料等も含む）
・一部損壊だが家が直らなくて生活に困っている→相談してもダメでした
・まず住んでいる人のケアを！
・個々の事情を細かく聞き取れればよいと思う。



Q3-1 住宅の再生で重要な点×被災の程度

	4.住宅再建の支援策	2.宅地等の安全性を高める	1.住宅の耐震性の強化	6.公営住宅等の建設	7.空き家等の有効活用	3.危険区域からの移転	5.市街地等での住宅分譲地の整備	8.その他	回答数	回答者数
1.全壊	54	39	32	21	15	9	8	3	181	103
2.大規模半壊	14	10	11	4	6	6	3	0	54	30
3.半壊	61	34	35	20	18	13	4	2	187	106
4.一部損壊	153	139	112	82	72	77	32	5	672	366
5.被害なし	53	45	34	32	33	26	9	6	238	130
*わからない他	21	15	17	13	10	13	6	1	96	50
無回答	7	6	1	7	8	1	6	0	36	20
合計	363	288	242	179	162	145	68	17	1,464	805

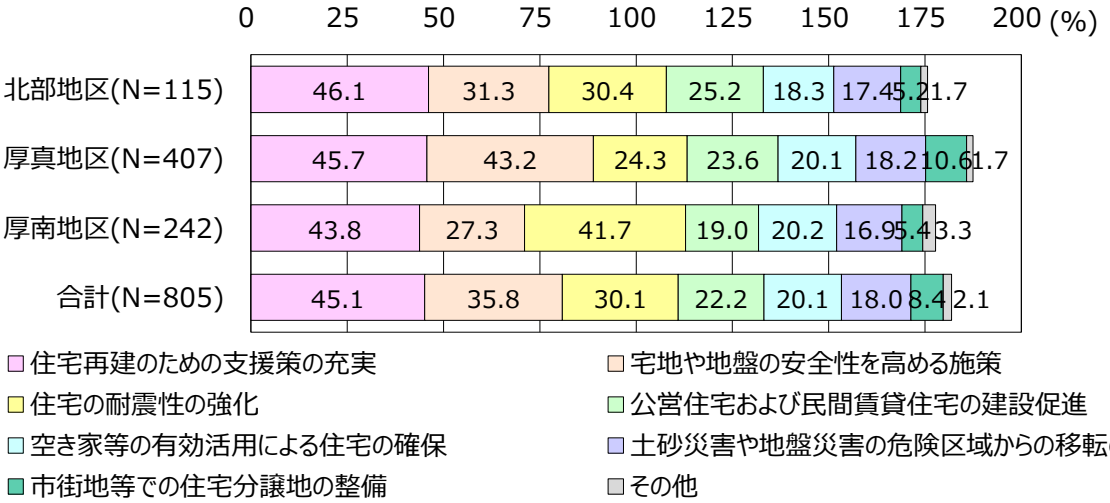
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-1 住宅の再生で重要な点×地区

	4.住宅再建の支援策	2.宅地等の安全性を高める	1.住宅の耐震性の強化	6.公営住宅等の建設	7.空き家等の有効活用	3.危険区域からの移転	5.市街地等での住宅分譲地の整備	8.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	53	36	35	29	21	20	6	2	202	115
2.厚真地区	186	176	99	96	82	74	43	7	763	407
3.厚南地区	106	66	101	46	49	41	13	8	430	242
不明	18	10	7	8	10	10	6	0	69	41
合計	363	288	242	179	162	145	68	17	1,464	805

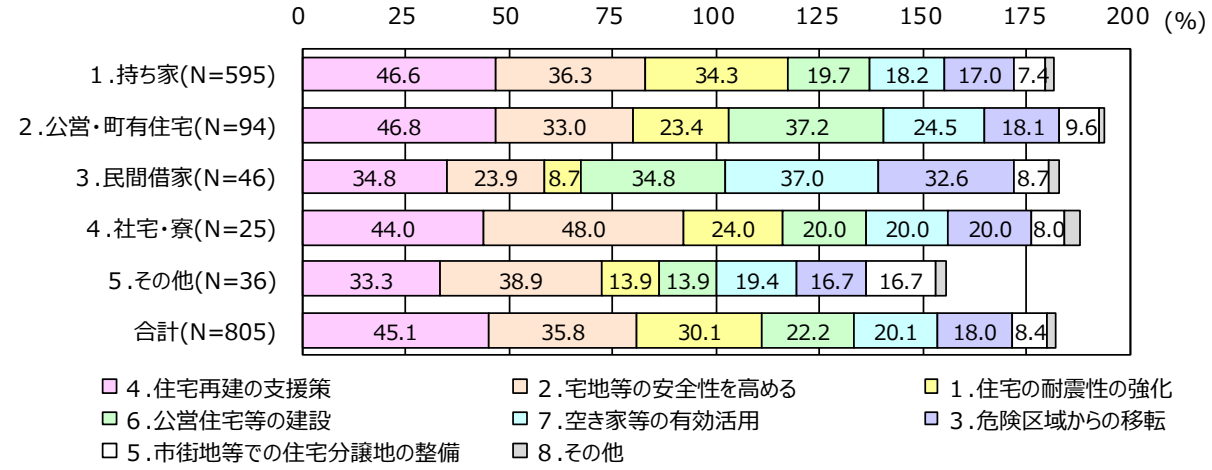
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-1 住宅の再生で重要な点×現在の住宅の種類

	４．住宅再建の支援策	２．宅地等の安全性を高める	１．住宅の耐震性の強化	６．公営住宅等の建設	７．空き家等の有効活用	３．危険区域からの移転	５．市街地等での住宅分譲地の整備	８．その他	回答数	回答者数
１.持ち家	277	216	204	117	108	101	44	13	1,080	595
２.公営・町有住宅	44	31	22	35	23	17	9	1	182	94
３.民間借家	16	11	4	16	17	15	4	1	84	46
４.社宅・寮	11	12	6	5	5	5	2	1	47	25
５.その他	12	14	5	5	7	6	6	1	56	36
無回答	3	4	1	1	2	1	3	0	15	9
合計	363	288	242	179	162	145	68	17	1,464	805

(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-2 暮らしの再生で重要な点（２つ選択）

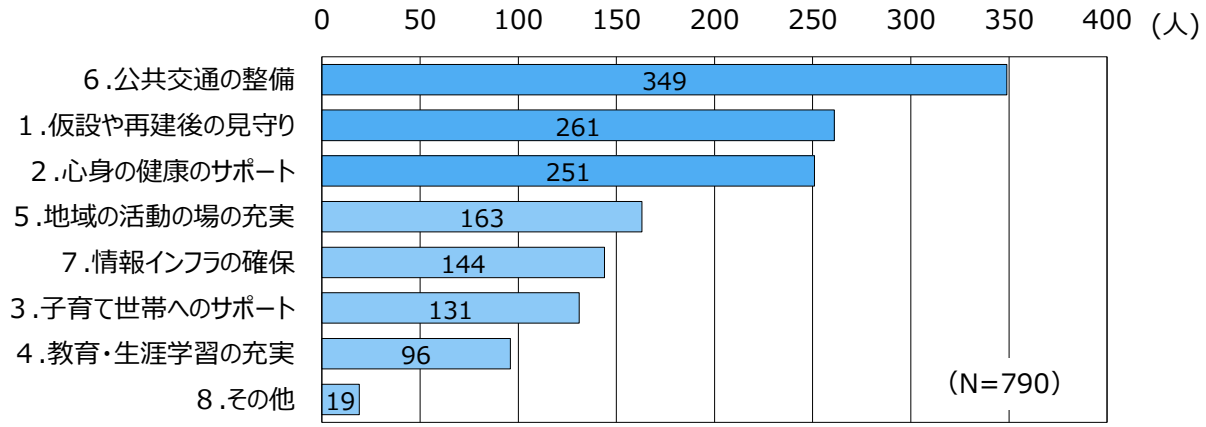
・暮らしの再生について重要な点については、最も多いのは、「公共交通の整備」で約44%、次いで、「住まいの見守り・サポート」、「心身の健康のサポート」がそれぞれ33%、32%となっている。(回答者数に対する当該項目を選択した人の構成比)

・なお、全壊等の被災の程度別、地区別にみても大きな差異はない。

	６.公共交通の整備	１.住まいの見守り・サポート	２.心身の健康のサポート	５.地域の活動の場の充実	７.情報インフラの確保	３.子育て世帯へのサポート	４.教育・生涯学習の充実	８.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	349	261	251	163	144	131	96	19	1,414	790	62
対回答者	44.2%	33.0%	31.8%	20.6%	18.2%	16.6%	12.2%	2.4%	179	100.0%	

(その他の記載事項)

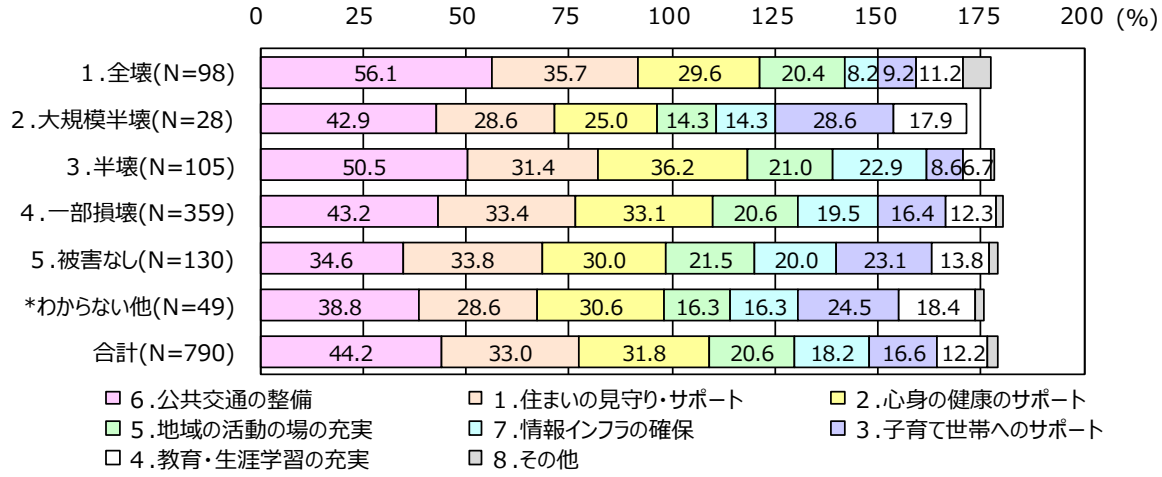
・めぐるくんをもう少し利用しやすい様に、タクシーの不足、不満、高齢者で免許を返納して困っている人はこれから急に増えるので民間ボランティアを含め対応が必要と考える
・町民交流のイベントの充実、地域の神社 etc の再建も必要
・店を増やす
・限定なしのプレミアム商品券の販売
・高齢者施設の充実
・これからの生活の不安
・補助金増額
・厚真全域での光通信化を！
・今はそこまで考えられない。まともな道路がほしい



Q3-2 暮らしの再生で重要な点×被災の程度

	6.公共交通の整備	1.住まいの見守り・サポート	2.心身の健康のサポート	5.地域の活動の場の充実	7.情報インフラの確保	3.子育て世帯へのサポート	4.教育・生涯学習の充実	8.その他	回答数	回答者数
1.全壊	55	35	29	20	8	9	11	7	174	98
2.大規模半壊	12	8	7	4	4	8	5	0	48	28
3.半壊	53	33	38	22	24	9	7	1	187	105
4.一部損壊	155	120	119	74	70	59	44	7	648	359
5.被害なし	45	44	39	28	26	30	18	3	233	130
*わからない他	19	14	15	8	8	12	9	1	86	49
無回答	10	7	4	7	4	4	2	0	38	21
合計	349	261	251	163	144	131	96	19	1,414	790

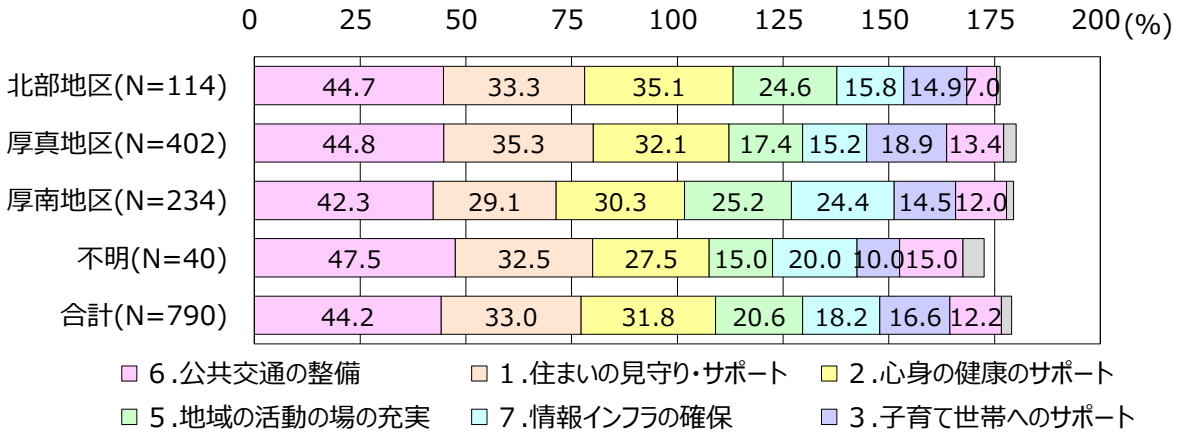
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-2 暮らしの再生で重要な点×地区

	6.公共交通の整備	1.住まいの見守り・サポート	2.心身の健康のサポート	5.地域の活動の場の充実	7.情報インフラの確保	3.子育て世帯へのサポート	4.教育・生涯学習の充実	8.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	51	38	40	28	18	17	8	1	201	114
2.厚真地区	180	142	129	70	61	76	54	12	724	402
3.厚南地区	99	68	71	59	57	34	28	4	420	234
不明	19	13	11	6	8	4	6	2	69	40
合計	349	261	251	163	144	131	96	19	1,414	790

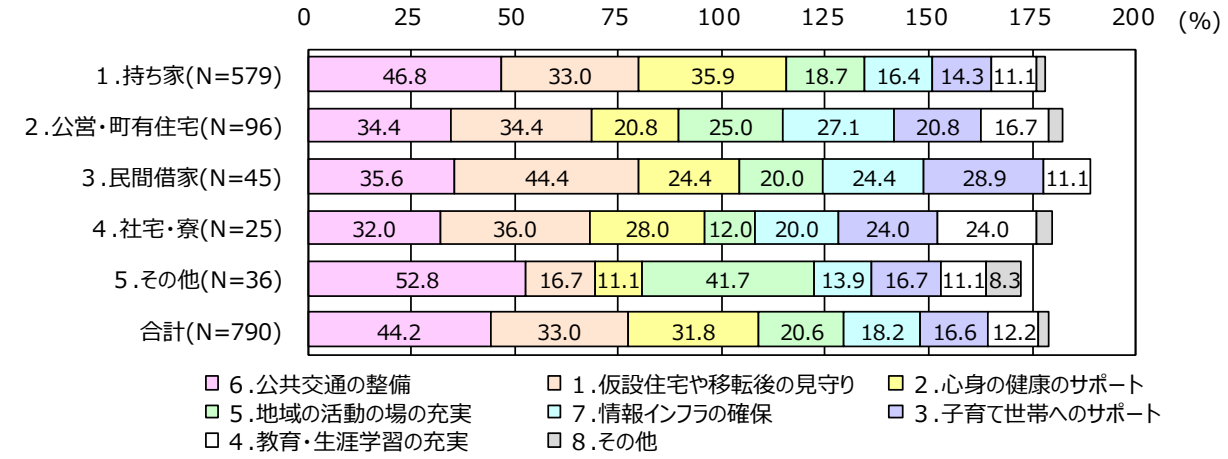
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-2 くらしの再生で重要な点×現在の住宅の種類

	6．公共交通の整備	1．住まいの見守り・サポート	2．心身の健康のサポート	5．地域の活動の場の充実	7．情報インフラの確保	3．子育て世帯へのサポート	4.教育・生涯学習の充実	8．その他	回答数	回答者数
1.持ち家	271	191	208	108	95	83	64	12	1,032	579
2.公営・町有住宅	33	33	20	24	26	20	16	3	175	96
3.民間借家	16	20	11	9	11	13	5	0	85	45
4.社宅・寮	8	9	7	3	5	6	6	1	45	25
5.その他	19	6	4	15	5	6	4	3	62	36
無回答	2	2	1	4	2	3	1	0	15	9
合計	349	261	251	163	144	131	96	19	1,414	790

(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-3 しごとの再生で重要な点（２つ選択）

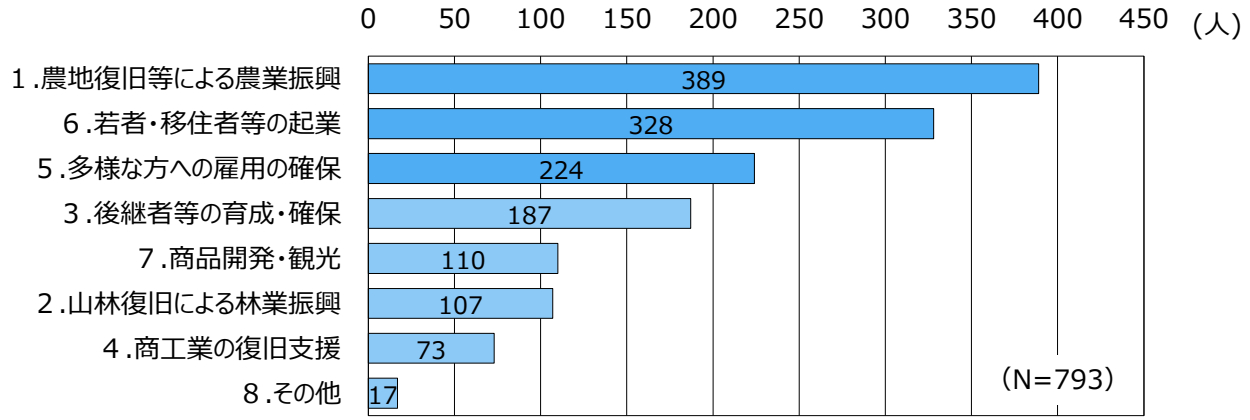
・しごとの再生について重要な点については、最も多いのは、「農業振興」で約49%、次いで、「移住者等の起業」が約42%、「雇用の確保」が約28%となっている。(回答者数に対する当該項目を選択した人の構成比)

・なお、全壊等の被災の程度別、地区別にみても大きな差異はない。

	１.農業振興	６.移住者等の起業	５.雇用の確保	３.新規就業・農者確保	７.町外とのつながり	２.林業の振興	４.商工業の復旧支援	８.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	389	328	224	187	110	107	73	17	1,435	793	59
対回答者	49.1%	41.4%	28.2%	23.6%	13.9%	13.5%	9.2%	2.1%	181.0%	100.0%	

(その他の記載事項)

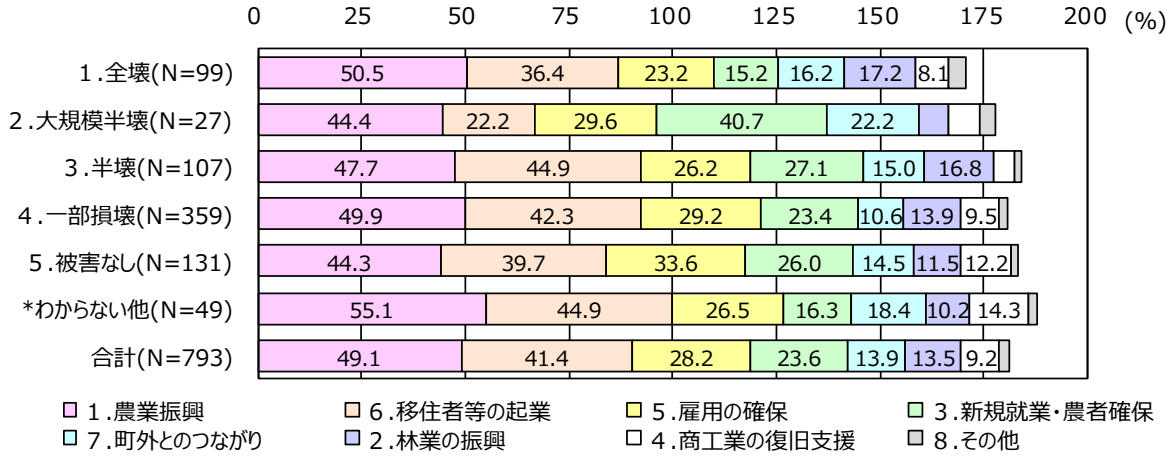
・資金が必要
・役場の人間がしっかり対応する。知識をつけてほしい。
・あつまダム等を活用した観光施設の充実（町外との交流）
・雇用の創出
・交通の整備が出来てない上で何も出来ない。
・大学を持って来る。土地が有るし空港が近いので！
・工場等の誘致
・役場職員の資質の向上、町民目線の施策の企画、等
・支援員制度、地域おこし協力隊の取組は町にとって死活問題だと思う。



Q3-3 しごとの再生で重要な点×被災の程度

	1.農業振興	6.移住者等の起業	5.雇用の確保	3.新規就業・農者確保	7.町外とのつながり	2.林業の振興	4.商工業の復旧支援	8.その他	回答数	回答者数
1.全壊	50	36	23	15	16	17	8	4	169	99
2.大規模半壊	12	6	8	11	6	2	2	1	48	27
3.半壊	51	48	28	29	16	18	5	2	197	107
4.一部損壊	179	152	105	84	38	50	34	7	649	359
5.被害なし	58	52	44	34	19	15	16	2	240	131
*わからない他	27	22	13	8	9	5	7	1	92	49
無回答	12	12	3	6	6	0	1	0	40	21
合計	389	328	224	187	110	107	73	17	1,435	793

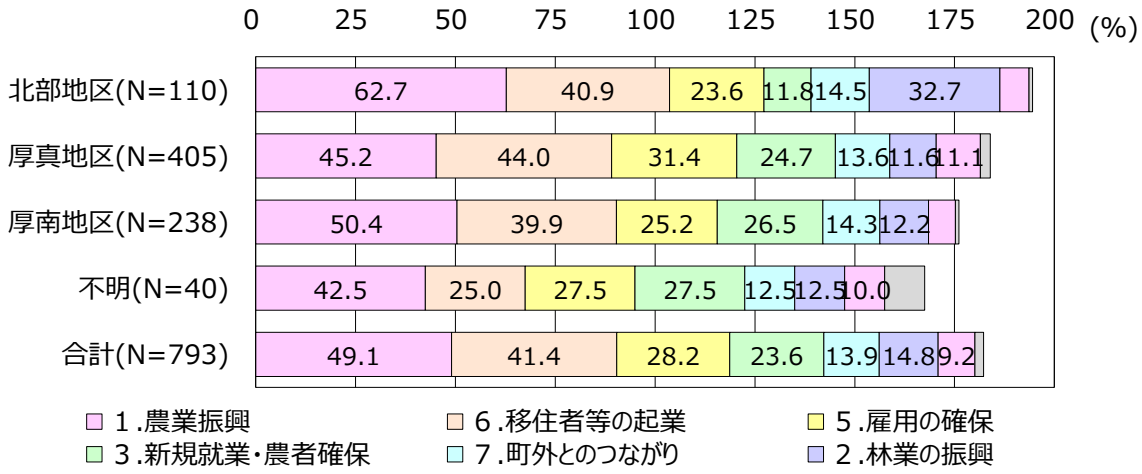
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-3 しごとの再生で重要な点×地区

	1.農業振興	6.移住者等の起業	5.雇用の確保	3.新規就業・農者確保	7.町外とのつながり	2.林業の振興	4.商工業の復旧支援	8.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	69	45	26	13	16	36	8	1	214	110
2.厚真地区	183	178	127	100	55	47	45	10	745	405
3.厚南地区	120	95	60	63	34	29	16	2	419	238
不明	17	10	11	11	5	5	4	4	67	40
合計	389	328	224	187	110	117	73	17	1,445	793

(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-4 安全なまちづくりで重要な点（２つ選択）

・安全なまちづくりに対する重要な点については、最も多いのは、「土砂災害の再発防止」で約42%、次いで、「避難路や避難場所の確保」が約34%、「避難時の要援護者への支援」が約22%となっている。(回答者数に対する当該項目を選択した人の構成比)

・なお、全壊等の被災の程度別、地区別にみても大きな差異はない。

	１.土砂災害の再発防止	２.避難路や避難場所の確保	５.避難時の要援護者への支援	７.避難時等の情報連絡体制	３.水害や津波等からの安全確保	６.備蓄の充実	８.地域の防組織の充実	４.防災訓練・避難訓練の強化	９.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	337	270	175	163	149	144	125	89	19	1,471	801	51
対回答者	42.1%	33.7%	21.8%	20.3%	18.6%	18.0%	15.6%	11.1%	2.4%	183.6%	100.0%	

(その他の記載事項)

・役所の方々の防災に対する体制がまったく出来ていなかった事にビックリ！そこから初めてほしい！

・地震の時に、水を確保することに大変なおもいをした方が、多かったと思う。

ア.水は重く、高齢者には運べない。

イ.水は毎日もらいに行く必要があった。

ウ.水は生活のあらゆる部分に必要。

エ.どんな人も、水は必要だ。

※結論→地震に強い給水施設、各戸への水の分配方法の工夫。

・災害に強いインフラ整備→水、電気等

・地震当初、どこで給水等が行われているのかわからなかった為、町内会単位等での連絡体制が必要だと思いました

・迅速できめ細かな災害情報の伝達

・各個人で自分の身を守るための備えをするよう推進する（町まかせにしない意識を持たせる）

・斜面の安全を確保。森林の厚真町の地層に適した再生→見直しが必要では？

・住宅や施設建設用地の適否、地盤浸食等の強化

・強いリーダーシップ

・防災教育の充実

・被災後の幹線道路の通行止め等の情報提供。「役場で応えられるように」開発局との連携を（状況が刻々と変化するので防災無線では困難）

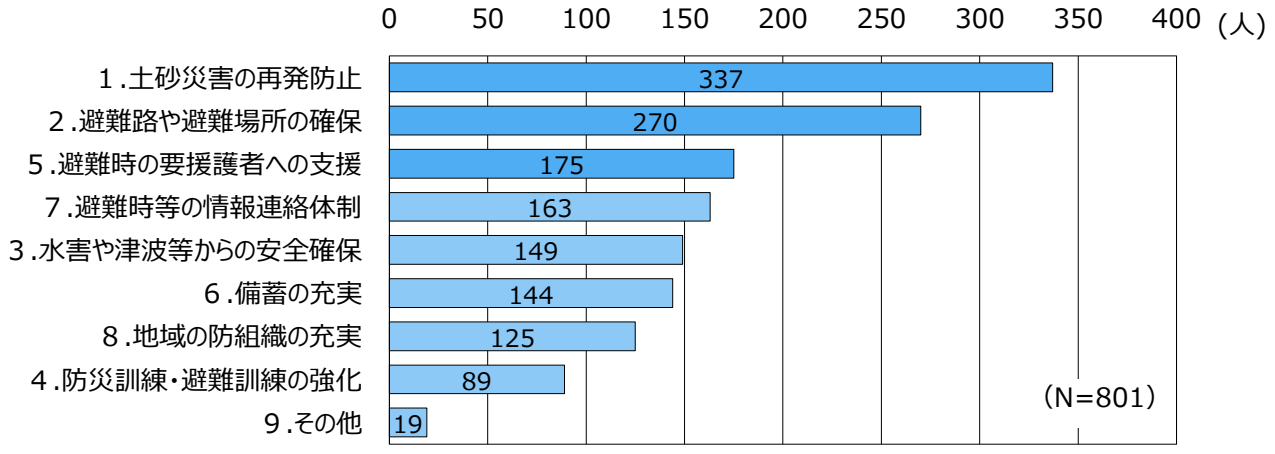
→町外に通勤する時、何回も遠回りをしました。

ラジオの情報も不確かなので役場に電話をしたら、最新情報を教えてくれて助かりました。

・町民に窓口を明らかにする。

・日常からの地域の連携（行事や共同作業の励行）

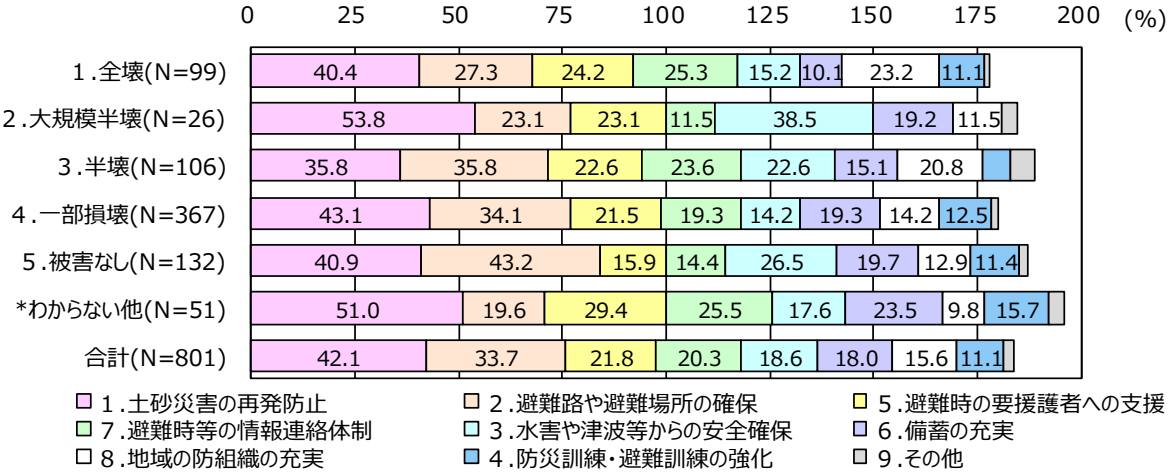
・農業用水（導水路）の見直し



Q3-4 安全なまちづくりで重要な点×被災の程度

	1.土砂災害の再発防止	2.避難路や避難場所の確保	5.避難時の要援護者への支援	7.避難時等の情報連絡体制	3.水害や津波等からの安全確保	6.備蓄の充実	8.地域の防組織の充実	4.防災訓練・避難訓練の強化	9.その他	回答数	回答者数
1.全壊	40	27	24	25	15	10	23	11	1	176	99
2.大規模半壊	14	6	6	3	10	5	3	0	1	48	26
3.半壊	38	38	24	25	24	16	22	7	6	200	106
4.一部損壊	158	125	79	71	52	71	52	46	6	660	367
5.被害なし	54	57	21	19	35	26	17	15	3	247	132
*わからない他	26	10	15	13	9	12	5	8	2	100	51
無回答	7	7	6	7	4	4	3	2	0	40	20
合計	337	270	175	163	149	144	125	89	19	1,471	801

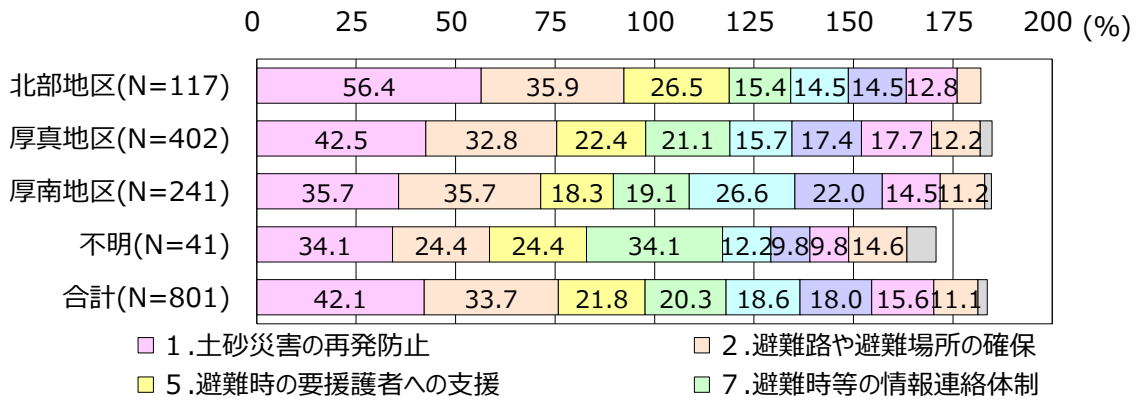
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-4 安全なまちづくりで重要な点×地区

	1.土砂災害の再発防止	2.避難路や避難場所の確保	5.避難時の要援護者への支援	7.避難時等の情報連絡体制	3.水害や津波等からの安全確保	6.備蓄の充実	8.地域の防組織の充実	4.防災訓練・避難訓練の強化	9.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	66	42	31	18	17	17	15	7	0	213	117
2.厚真地区	171	132	90	85	63	70	71	49	12	743	402
3.厚南地区	86	86	44	46	64	53	35	27	4	445	241
不明	14	10	10	14	5	4	4	6	3	70	41
合計	337	270	175	163	149	144	125	89	19	1,471	801

(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-5 町の復興への取り組み（２つ選択）

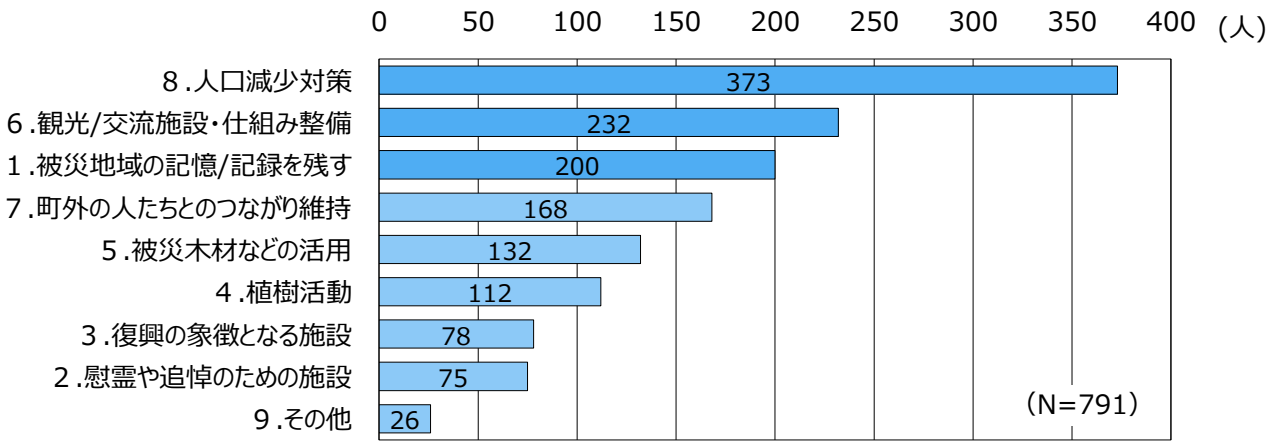
・町の復興への取り組みで重要な点については、最も多いのは、「人口減少対策」で約47%、次いで、「観光や交流ができる施設」が約29%、「震災の記憶や記録を残す」が約25%となっている。(回答者数に対する当該項目を選択した人の構成比)

・なお、全壊等の被災の程度別、地区別にみても大きな差異はない。

	８.人口減少対策	６.観光や交流ができる施設	１.被災の記憶や記録を残す	７.町外の人たちとのつながり	５.被災木材などの活用	４.森林再生の植樹活動	３.復興の象徴となる施設	２.慰霊や追悼の施設	９.その他	回答数	回答者数	無回答
回答数	373	232	200	168	132	112	78	75	26	1,396	791	61
対回答者	47.2%	29.3%	25.3%	21.2%	16.7%	14.2%	9.9%	9.5%	3.3%	176.5%	100.0%	

(その他の記載事項)

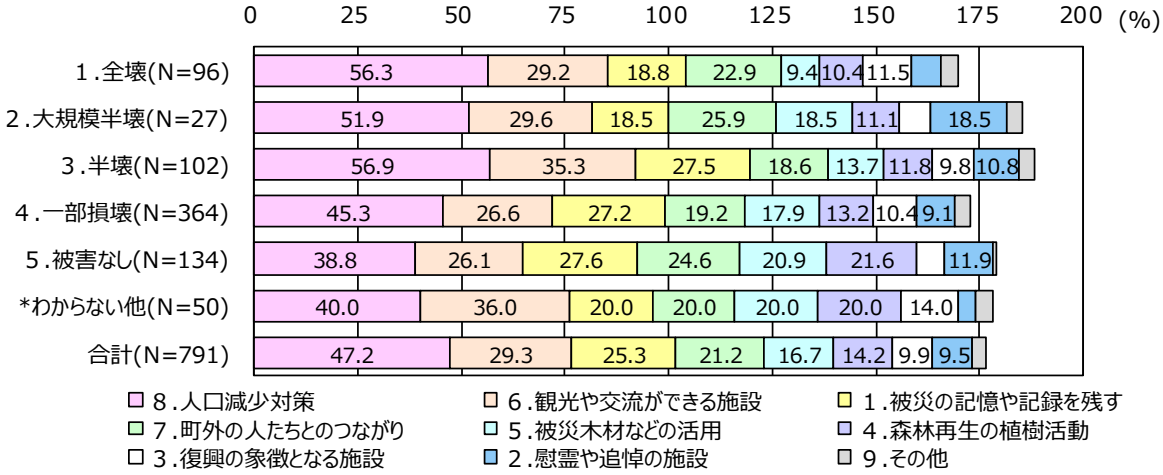
・町民それぞれが、復旧、復興に寄与していると実感できる活動
・産業振興・少子化対策
・全国区となった町名を生かしたセールス
・以前の生活を取り戻す
・公共交通が整備出来ないのでは先が見えない！人口減につながる！
・避難所を良くしてほしい。平常時に、工夫、準備
・貯水施設、自家発電施設、エアコン施設、トイレ、各人のスペース、駐車地
・農・林・漁業の振興
・現在作付されている水田の均平の復旧
・一次産業を守る事が、厚真町
・農業の復興支援
・義援金の再配布
・住まいと仕事の充実
・１をうけ、残すだけではなく、発信する活動
・若い人達が安心して勤められ、人生を勝負できる仕事を創る。
・まず土砂くずれの場所をどうにかすべき。
・人と人のつながり強化
・日常の生活ができる状態になるように取り組んでほしい
・住宅補助金の増額
・地域コミュニティの充実
・震災を機に、町の将来像を考え直す。
・特に高齢者のために、パークゴルフ場の復旧。



Q3-5 町の復興への取り組み×被災の程度

	8.人口減少対策	6.観光や交流ができる施設	1.被災の記憶や記録を残す	7.町外の人たちとのつながり	5.被災木材などの活用	4.森林再生の植樹活動	3.復興の象徴となる施設	2.慰霊や追悼の施設	9.その他	回答数	回答者数
1.全壊	54	28	18	22	9	10	11	7	4	163	96
2.大規模半壊	14	8	5	7	5	3	2	5	1	50	27
3.半壊	58	36	28	19	14	12	10	11	4	192	102
4.一部損壊	165	97	99	70	65	48	38	33	14	629	364
5.被害なし	52	35	37	33	28	29	9	16	1	240	134
*わからない他	20	18	10	10	10	10	7	2	2	89	50
無回答	10	10	3	7	1	0	1	1	0	33	18
合計	373	232	200	168	132	112	78	75	26	1,396	791

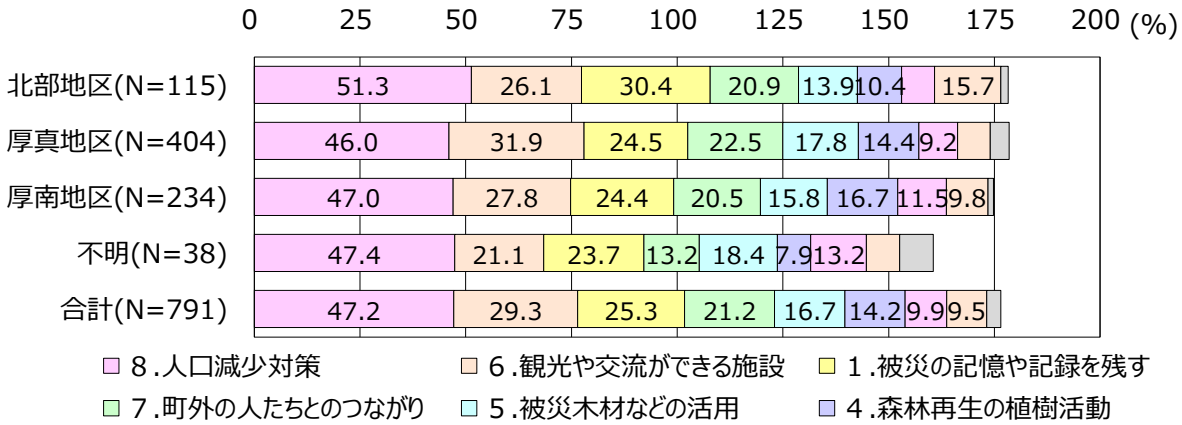
(回答者数に対する構成比の積み上げ)



Q3-5 町の復興への取り組み×地区

	8.人口減少対策	6.観光や交流ができる施設	1.被災の記憶や記録を残す	7.町外の人たちとのつながり	5.被災木材などの活用	4.森林再生の植樹活動	3.復興の象徴となる施設	2.慰霊や追悼の施設	9.その他	回答数	回答者数
1.北部地区	59	30	35	24	16	12	9	18	2	205	115
2.厚真地区	186	129	99	91	72	58	37	31	18	721	404
3.厚南地区	110	65	57	48	37	39	27	23	3	409	234
不明	18	8	9	5	7	3	5	3	3	61	38
合計	373	232	200	168	132	112	78	75	26	1,396	791

(回答者数に対する構成比の積み上げ)



5．集計結果概要　④しごとの被害について

Q2-2 職業×年齢

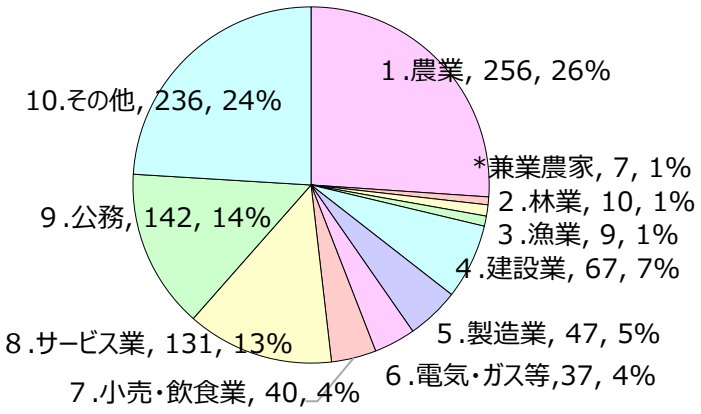
・回答のあった世帯主、世帯員の就業状況では、就業者982人のうち、農業が約26%、公務が約15%、サービス業が約13%、建設業が約７%の順に多かった。

※ 業種のその他には、就学している世帯員を記載しているケースがあると思われる。

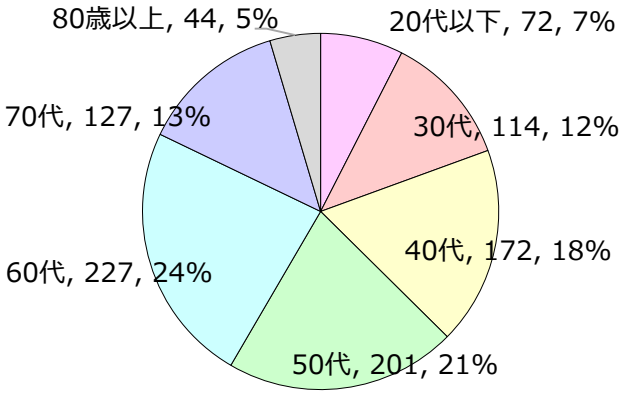
・また、就業者の年齢では、60代が約24%、50代が21%、40代が18%であった。

	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 歳以上	年齢回答数	年齢不詳	合計	(構成比)
1 .農業	11	19	32	31	75	63	17	248	8	256	26.1%
*兼業農家	0	1	0	2	4	0	0	7	0	7	0.7%
2 .林業	0	1	2	1	3	2	1	10	0	10	1.0%
3 .漁業	0	1	0	3	2	3	0	9	0	9	0.9%
4 .建設業	2	2	10	17	20	12	1	64	3	67	6.8%
5 .製造業	4	10	13	5	8	4	0	44	3	47	4.8%
6 .電気・ガス等	8	6	5	9	9	0	0	37	0	37	3.8%
7 .小売・飲食業	0	3	13	9	8	5	2	40	0	40	4.1%
8 .サービス業	9	25	26	31	24	11	1	127	4	131	13.3%
9 .公務	14	21	42	45	20	0	0	142	0	142	14.5%
10.その他	24	25	29	48	54	27	22	229	7	236	24.0%
合計	72	114	172	201	227	127	44	957	25	982	100.0%
(構成比)	7.5%	11.9%	18.0%	21.0%	23.7%	13.3%	4.6%	100.0%			

【就業者の業種】(N=982)



【就業者の年齢】(N=957)



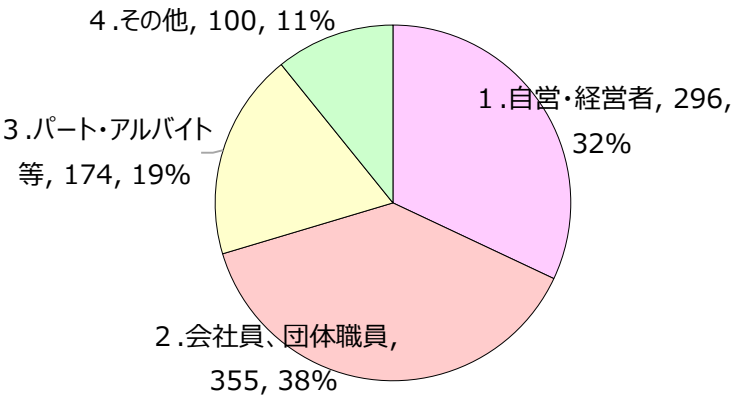
Q2-5 業種×就業形態

・全就業者のうち、自営・経営者が32%、会社員・団体職員が約38%、パート・アルバイトが約19%である。

・農業、漁業は自営・経営者が約85%を超え、林業、小売・飲食業がともに約43%である。また、小売・飲食業、サービス業はパート・アルバイトが約33、35%である。

	1.自営・経営者	2.会社員、団体職員	3.パート・アルバイト等	4.その他	回答数	不詳	合計
1.農業	203	14	10	8	235	21	256
*兼業農家	3	2	0	0	5	2	7
2.林業	3	4	0	0	7	3	10
3.漁業	8	0	1	0	9	0	9
4.建設業	14	43	7	1	65	2	67
5.製造業	7	30	9	0	46	1	47
6.電気・ガス等	3	32	2	0	37	0	37
7.小売・飲食業	16	8	13	0	37	3	40
8.サービス業	25	59	43	3	130	1	131
9.公務	1	94	19	22	136	6	142
10.その他	13	69	70	66	218	18	236
合計	296	355	174	100	925	57	982

【就業者の就業形態】(N=925)



Q2-6 業種×就業地

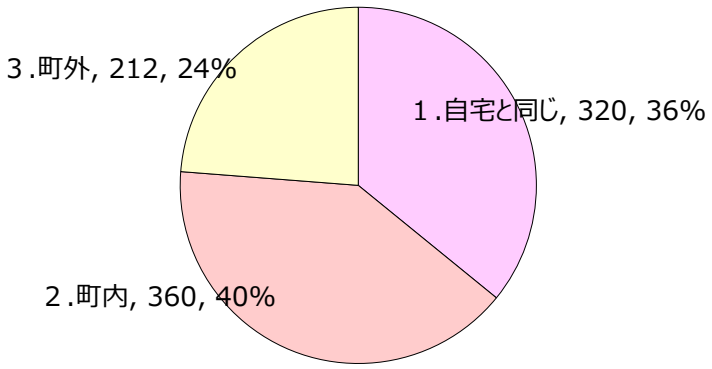
・全就業者のうち、自宅と同じが約36%、町内が約40%、町外が約24%である。

※ なお、就業地で複数(自宅と町内、町内と町外)と回答するケースがいくつか見られたが（農業、自営の場合は自宅とした。建設業やサービス業で事務所の場所と実際に勤務する場所によると思われるが、町内を優先した）

・農業、漁業は自宅が80%を超え、建設業、電気・ガス・運輸業、小売・飲食業、サービス業、公務は町内が約40～70%、製造業は町外が約75%である。

	1.自宅と同じ	2.町内	3.町外	回答数	不詳	合計
1.農業	183	34	8	225	31	256
*兼業農家	4	3	0	7	0	7
2.林業	5	2	1	8	2	10
3.漁業	7	1	0	8	1	9
4.建設業	14	34	16	64	3	67
5.製造業	4	8	35	47	0	47
6.電気・ガス等	3	16	18	37	0	37
7.小売・飲食業	15	14	7	36	4	40
8.サービス業	22	61	47	130	1	131
9.公務	16	98	27	141	1	142
10.その他	47	89	53	189	47	236
合計	320	360	212	892	90	982

【就業者の就業地】(N=892)



Q2-7 業種×地震の被害・影響（複数回答）

・全業種とも地震の影響があり、内容は回答者の約42%が施設等の被害があった。ただし、大きな影響がないとの回答も全体の約44%である。また、業務量の増大は約29%である。

・施設等の被害が大きく、影響がないが少ないのは農・林・漁業である。

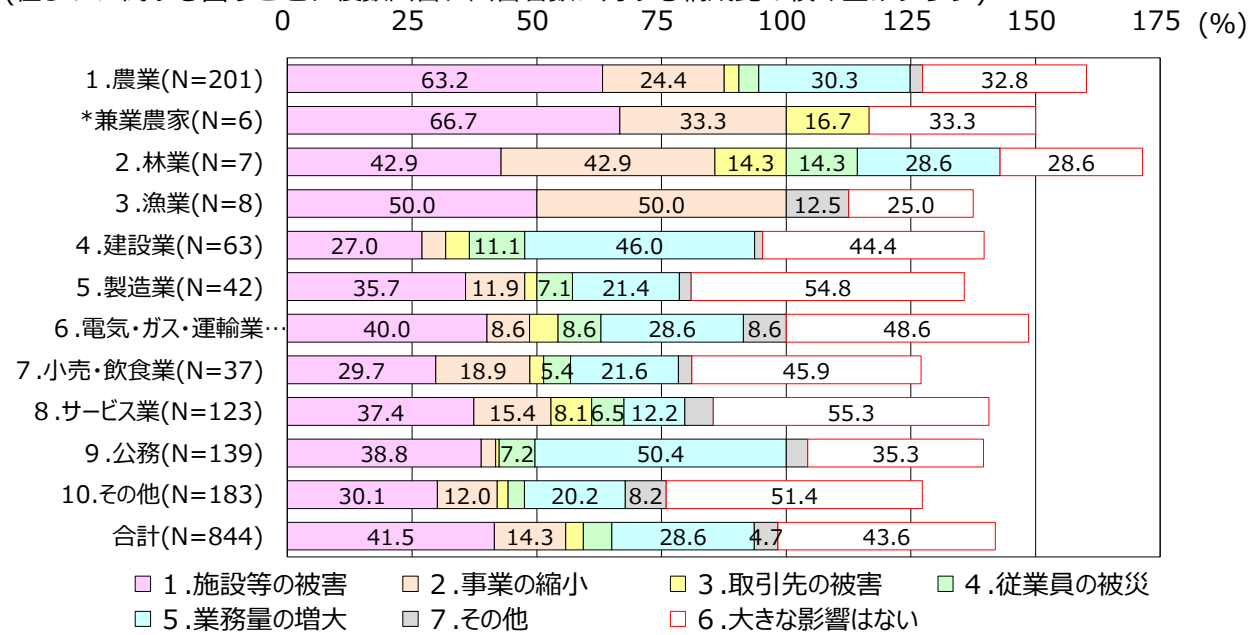
・建設業、公務では業務量の増大という回答が約47～51%となっている。

	1.施設等の被害	2.事業の縮小	3.取引先の被害	4.従業員の被災	5.業務量の増大	6.大きな影響なし	7.その他	回答数	回答者数
1.農業	127	49	6	8	61	5	66	322	201
*兼業農家	4	2	1	0	0	0	2	9	6
2.林業	3	3	1	1	2	0	2	12	7
3.漁業	4	4	0	0	0	1	2	11	8
4.建設業	17	3	3	7	29	1	28	88	63
5.製造業	15	5	1	3	9	1	23	57	42
6.電気・ガス等	14	3	2	3	10	3	17	52	35
7.小売・飲食業	11	7	1	2	8	1	17	47	37
8.サービス業	46	19	10	8	15	7	68	173	123
9.公務	54	4	1	10	70	6	49	194	139
10.その他	55	22	4	6	37	15	94	233	183
合計	350	121	30	48	241	40	368	1,198	844

(構成比)

	1.施設等の被害	2.事業の縮小	3.取引先の被害	4.従業員の被災	5.業務量の増大	6.大きな影響なし	7.その他	回答数	回答者数
1.農業	63.2%	24.4%	3.0%	4.0%	30.3%	2.5%	32.8%	160.2%	100.0%
*兼業農家	66.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	150.0%	100.0%
2.林業	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	171.4%	100.0%
3.漁業	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	137.5%	100.0%
4.建設業	27.0%	4.8%	4.8%	11.1%	46.0%	1.6%	44.4%	139.7%	100.0%
5.製造業	35.7%	11.9%	2.4%	7.1%	21.4%	2.4%	54.8%	135.7%	100.0%
6.電気・ガス等	40.0%	8.6%	5.7%	8.6%	28.6%	8.6%	48.6%	148.6%	100.0%
7.小売・飲食業	29.7%	18.9%	2.7%	5.4%	21.6%	2.7%	45.9%	127.0%	100.0%
8.サービス業	37.4%	15.4%	8.1%	6.5%	12.2%	5.7%	55.3%	140.7%	100.0%
9.公務	38.8%	2.9%	0.7%	7.2%	50.4%	4.3%	35.3%	139.6%	100.0%
10.その他	30.1%	12.0%	2.2%	3.3%	20.2%	8.2%	51.4%	127.3%	100.0%
合計	41.5%	14.3%	3.6%	5.7%	28.6%	4.7%	43.6%	141.9%	100.0%

(住まいに関する困りごと、複数回答、回答者数に対する構成比の積み上げグラフ)



Q2-8 業種×転職・休職の状況

・地震による転職・休業等の影響は全就業者からみた割合は高くなく、地震前と同じが約88%であった。

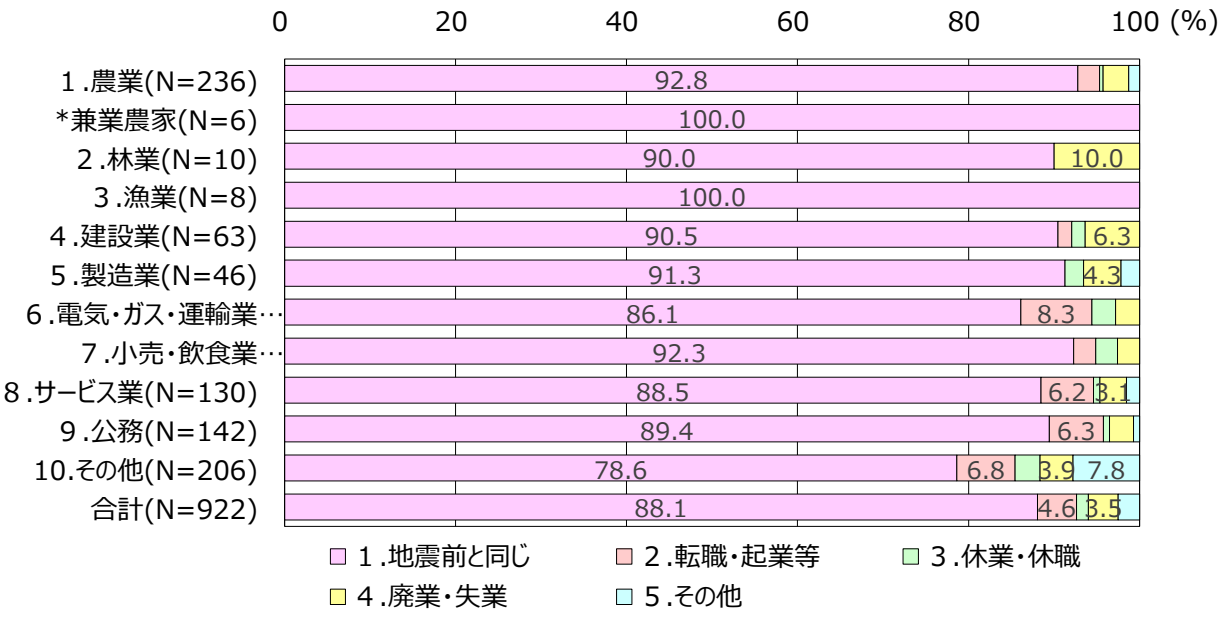
・業種別では、林業で辞めたという人が約10%、電気・ガス・運輸業、サービス業で転職等が約6～８%であった。

（回答数）

	1.地震前と同じ	2.転職等	3.休業・休職	4.辞めた	5.その他	回答数	不詳	合計
1.農業	219	6	1	7	3	236	20	256
*兼業農家	6	0	0	0	0	6	1	7
2.林業	9	0	0	1	0	10	0	10
3.漁業	8	0	0	0	0	8	1	9
4.建設業	57	1	1	4	0	63	4	67
5.製造業	42	0	1	2	1	46	1	47
6.電気・ガス等	31	3	1	1	0	36	1	37
7.小売・飲食業	36	1	1	1	0	39	1	40
8.サービス業	115	8	1	4	2	130	1	131
9.公務	127	9	1	4	1	142	0	142
10.その他	162	14	6	8	16	206	30	236
合計	812	42	13	32	23	922	60	982

（構成比）

	1.地震前と同じ	2.転職等	3.休業・休職	4.辞めた	5.その他	回答数
1.農業	92.8%	2.5%	0.4%	3.0%	1.3%	100.0%
*兼業農家	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2.林業	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%
3.漁業	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
4.建設業	90.5%	1.6%	1.6%	6.3%	0.0%	100.0%
5.製造業	91.3%	0.0%	2.2%	4.3%	2.2%	100.0%
6.電気・ガス等	86.1%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%	100.0%
7.小売・飲食業	92.3%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	100.0%
8.サービス業	88.5%	6.2%	0.8%	3.1%	1.5%	100.0%
9.公務	89.4%	6.3%	0.7%	2.8%	0.7%	100.0%
10.その他	78.6%	6.8%	2.9%	3.9%	7.8%	100.0%
合計	88.1%	4.6%	1.4%	3.5%	2.5%	100.0%



Q2-9 業種×転職先の業種

・地震による転職による業種の移動は、地震前の業種で公務、サービス業、農業が多いが、前後では、公務、サービス業では同業種へ転職、農業では、その他の業種への転職である。

地震前＼地震後	1.農業	2.林業	3.漁業	4.建設業	5.製造業	6.電気・ガス等	7.小売・飲食業	8.サービス業	9.公務	10.その他	合計	転職した人数	無回答
1.農業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	5	6	1
*兼業農家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
5.製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6.電気・ガス等	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3	3	0
7.小売・飲食業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
8.サービス業	0	0	0	0	0	0	1	5	1	1	8	8	0
9.公務	1	0	0	1	0	0	0	0	5	2	9	9	0
10.その他	0	0	0	2	1	0	0	1	3	5	12	14	2
合計	1	0	0	4	1	2	1	7	9	14	39	42	3

６．自由意見　「こんな厚真にしたい」

・設問３－６　厚真町の復旧・復興に向けて、「こんな厚真にしたい」「こんな厚真になったら良い」というあなたの思い、に対する自由意見（個人の特定につながる意見については、掲載していません）

■記入者　198名　記載内容の項目別整理

項目	人数
人口増、定住、仕事づくり	29
災害から安全な住みやすいまちへ	19
住民・役所・ボランティアが助け合うコミュニティ	18
買い物のしやすいまちへ、店舗や公共交通の充実	15
高齢者が暮らしやすいまちへ	12
震災をプラスに、誇りの持てる町へ	11
観光客その他の人々が訪れるまちへ	10
以前のような住みやすいまちに戻す	10
農業の振興	8
子育てのしやすいまちへ、子供のケア	5
住宅再建への支援、再建に迷う人への支援を、空き家活用	5
役場が被災者にもっと寄り添う、情報発信する	5
憩いの場づくり	4
人口減、集落がなくなる危機	4
自然や景観を守り活かす	4
役場への感謝	3
コンパクトなまちへ、中心部に住宅を	3
一日も早いい復興を	3
ボランティアへの感謝	3
被災の場所の場所を残し展示	2
ゆっくりと復興する	2
移住者を増やすより今の住民をだいじに	2
地域の担い手づくり	1
道路の改善	1
情報環境の整備	1
水道・電気のライフラインの強化	1
震災の教訓を活かす	1
その他	16
合計	198

※ 1人で多数の項目を記載の場合は主な意見で代表させた

※その他は、みんなで頑張ろう、高齢で答えられない等、内容が具体的記述でない事項

■意見の内容（記載のまま）

復興に向けた思い
・若年層、高齢者にとって住みやすい町づくりを進めてほしい。
・地震が起きて災害ボランティアさんにはお世話になりましたが、対応をもっと早くしてくれると良かったと思います。
・田舎まつりや高齢者のいこいの場(パークゴルフ場）など、健康な体力づくりの場を失い、早急な場所作りをお願いしたい。
・昔は隣同士の仲がよく、みそ、しょうゆ、さとうがなかったら貸して生活をしていた。いまはそういうことはないと思いますが、昔の様に気軽に話をして、小さな子供達に気軽に声をかけ、悪い事したら怒る、これからは、そんな厚真町にしたいと思いますね。

・マニフェストに載っている言葉よりも、今しなければならないことは、大人が子供の前で悪口を言わないこと。行政は町民にウソを言わないこと、みんな仲良く厚真をもり上げたいですね。
・震災のまち、土砂崩れがあったまち、ではなくて、そこからこれまで以上に素敵なまちだと知ってもらいたい。マイナスではなくプラスのイメージを強く上書きできたら良いなと思います。
・10年後「やっぱり住んでいて良かった」と思える厚真 ・「幸せだなあ」と実感する機会が多くあってそれを共有（分かち合える）できる厚真
・町外に買い物に行かなければ安価なものが手に入らないのは、いかがなものか。 ・車利用が通常の為、橋の不備がある場合、不便（避難場所等へ行く場合に動きがにぶる） ・町外からも人が集まる商業（施設）の活性を望む。
・自信と誇りの持てる厚真町にしたい
・浜厚真のフェリーのりばからJR浜厚真駅へ行く道路標識がなく、歩いている方によく聞かれます、もっと親切な標識を出してほしい。
・安心して暮らせる町づくり。
・人口減少時代に突入している世の中ですが、定住。厚真に来る、引き寄せるスタイル作り ・例）◆定住について 子育て・小・中・高と一貫して「厚真ならこんなことが出来る仕組みづくり」を行い、大学・就職へ。特に親が気になるのは学力。国公立大学・仕事もいろんな可能性を引きだすことができるか？？←町外からも来るのでは？？ ◆仕事について 厚真から札幌・千歳に通勤できる仕組みづくり・・・高速バス（朝・夕・夜）
・買いもの出来るスーパーやコンビニ、飲食店が少ないので若い世代は移住したがらないし、被災したことでまた被災するというイメージが根付いています。町外の人間に良い所だから移住を勧めると上記の理由があります。金銭的な支援、人にお金をかけると人口は増えると思います。
・他人の家のうわさを話し、よそ者を受け入れない住民性、お役所仕事をやめたら良いのでは？本当に、不親切だし、どこの家だとか職業はなんだとか、いちいちうわさを話し、妬みが気持ち悪い。住んでいる住民が変わらなければ復興なんて夢のまた夢だと思う。文句を言ったもん勝ちみたいなのもやめた方が良いと思う。
・子育て支援の充実 ・こども園の運営のあり方 ・職員（専門性の高い）の確保 ・保育時間に対するあり方（土曜保育や就業日以外の保育について）
・「いのち満ちる農（みのり）のあつま大いなる田園の町」稲穂の風景が美しい町に、早く復旧できるとよいと思います。（農地の復旧ですかね・・・）（※役場の皆様ごくろう様です）ありがとうございます。感謝！
・近くに屋外で運動する場所があればいいと思う（パークゴルフ場等）。
・一生懸命の土地
・中富良野町の富岡ファームや美瑛町丘ではないが、厚真町でも大規模な花畑等を町内や、厚幌ダム周辺に山一面を花畑にして他市町村の人々が遊べる様な観光立町をめざせたら良いと思います。“海はサーフイン、山は花”
・大型チェーン店（スーパー、ドラッグストア等）を置いてほしい。 ・苫小牧市にIR施設を。これによって、フォーラムやルーラルに別荘を買う人が増えるのではないかと思います。
・震災の経験を活用した、安心・安全で災害に強い町づくりをしてほしい。 ・震災の影響も受け、人口減少が進行していくため、人口減少を歯止めする政策が必要 ・子供達の遊び場の修繕（学校のプール等）
・若い人の働く職場を考えて、人口を増やす様にすると良い
・高齢者でも安全で住み良い街 ・医療施設の充実 ・農業都市をめざしてほしい
・僭越ながら、町の将来を見据えた、戦略的な復旧になって欲しいです。例えば、単に震災前に戻すより、コンパクトタウンを目ざし、建て替えは、町中心部に誘導する、などです。

・震災によって、就労感覚（一次産業）が変わった様で、これからは、集落単位で共同作業・後継者・育成・支援等、体制づくりも復興の一つに加えてほしい。
・家が壊れ住めなくなった方たち、特に高齢者が安心して住み続けられる町にしてほしいです。災害時に孤立してしまう方を地域の中で役割分担して様子を見に行ったりするシステムが整えば協力したいと思っています。 ・震災前の素晴しい農村風景が戻ってきてほしいです。
・年齢に関係なく個々の能力（得意分野）が活かせる正規雇用の創出
・厚真の経験が、他の地域に役立つようになってほしい。
・今回の震災により厚真の名前が日本全国に知れ渡りました。年を追うごとに忘れ去られないように、ピンチをチャンスに変えて記憶に残るようなイベントなどを続けてほしいです。
・飲食店や病院（宿泊施設）等の施設をもっと増やした方がいいと思います。 ・公共交通の整備も必要 ・上下水道、電気が停まらないような環境整備 ・震災発生時の避難場所のプライバシー保護施設の充実
・老人が安心して住める町
・土砂災害や水害のない安全な街づくりを希望
・暮らしやすく豊かな自然と人（町民）にやさしい厚真になったら良いです。
・もっと年寄りを大事にしてほしい。 ・無駄なお金の使いすぎ ・７５才以上の家の見まわりをしてほしい。 ・無駄なサッカー場など作らない事、あまり利用していない。
・心強い厚真になってほしい。
・現在、医療、買い物等は、ほぼ町外で行っている。町内で済むようになればより暮らしやすくなる。
・人をこの期に大切にする町になってほしいと思いました。 ・おもしろい人材とのコネクションを大切にしておもしろい町にしてほしいと思いました。
・被害が大きかった地域の方々を、外部からの援助だけでなく、町内で助けあうなどして、支えていける活動ができたら、これからのまちづくりにも活かせると思います。
・一次産業・防災・子育ての町としてPRすると良いと思う。
・今回の震災でお見舞いの言葉もたくさん頂きました。けれど、そうではない言葉も風にのってたくさん聞かされました。こんな時こそ厚い真心の町になってくれたらと思いました。一日も早い復興をお祈りします。
・今は何とか元気で車の運転もして用事、病院その他の事をしていますが・・・来年より80代に入りますと、その後自分の生活はどうなるかと、とても気になります。本町もお金のかかる事かと存じますが、老人が安心して毎日を過ごす事が出来る事かと心より心配になります。自宅から病院などの通院はバスか？・・・何か良い方法があれば安心して故郷厚真町で生活したいと願っています。
・様々な災害を想定し、それに対して強い町
・移住者を大切にしようという姿勢や想いが伝わってくる。排他的な考えは町の未来をなくしていく。現在の心意気をぜひ継続できれば良いと思う。
・何の予告もなく、我々の想像を越える災害。「備えよ」という言葉は理解できるがどこまで備えればよいのか分からないのが現実だと思う。体験的には、逃げるルート（道路）の確保、道路沿いにある電柱の撤去等、小さな事を１つ１つ積み重ね安全を確保できる町にして欲しい。
・町内で被害の多かった場所（地すべりを起こした山）を展望出来る場を作って見てはどうか？
・急がず、ゆっくりと時間を掛けて、町の力量、町民の力量を発揮して、復旧、復興して行くのが最善と思います。
・早い復旧、復興を願う。
・人口が増えない理由として病院や商店の少なさが特に大きな理由として考えられるので何とかしてほしい（人口が仮に増えても今のままでは不便であり結局苫小牧や千歳に移住してしまうのでは）。また、働き口の確保も必要だと思う
・春夏秋冬の田んぼと山を見ながら犬の散歩ができれば良い。 ・復旧は、大いなる田舎だけの身の丈を考えたもので良いです
・移住者が多く住む町

・子供が勉強しやすい町
・今後、ますます高齢化に向け、地域で災害時に助けあえる社会になれば良い。
・厚真町に引っ越して10日後に大地震でした。 ・行政の方々は本当に良くやっていると思います。感謝しています。私は旭川出身ですが厚真町はみんな親切で大好きです。
・この震災を期に、地域の崩壊が進むことを危惧する。大きな被害の無かった地域でも、櫛の歯が抜けるように、去らざるをえない人達もいる。思いきって集落だけでなく、用水組合、農地組合、自治会も含めた再編も必要なのでは・・・？地域により、温度差はあるだろうが。
・安全な居住地の確認が必要と思う。全町内を調査し、安全指示が出来るマップを作成し、公表すべきではないか？ルーラル、フォーラム地区のような分譲地は、特に必要と思う。安心して住み続ける事が出来る事が大事
・商業施設の充実
・千歳空港が近いこの厚真。海もあるのにどうして何も出来ないでいるのか？病院も買物も、生きるのに一番大切な物がないこの町、いつも厚真を出て買物病院それも車。（自分で）足のない町が、どんなに頑張っても良くはならない、人口減になるばかり、若い内のみの住み楽しむ場所！ ・町民（厚真町にずっと育った方々）の方の考え方もちょっと他の土地の方々と違う！よそ者という目で移住者を見る！暖かさのない厚真町民！その事がハッキリ見えた事、この大地震！これを良い方へ持っていけたら、厚真町も良くなるのでは！移住者も厚真の人になったつもりで頑張っているのだから！
・これから高齢者が増え車が使えない人が増えると思うので、バス路線が使いやすい様に（時刻や料金など）なると良いと思うし、就業できる仕事が増え若い人が増えて少しでも活気ある町になると良いと思います。
・新婚世代が住みやすい厚真（子育て世代には優しいと聞いているので）。 ・町内にあるアパートの家賃が高く、町営住宅に住める確率も低い。若者が住む場所が少ない。⇒住む場所がある厚真 ・食料品が充実したスーパーがあったら良い。
・町民が以前の様に緑豊かな自然と安心安全な暮らしに戻れる様に、町民1人1人の思いは違うが一律の支援はどうかな？
・ハザードマップが全く役に立たなかった事と避難場所が地域によっては利用出来なかった。
・住まい地域の再考 ・農業・漁業等の五日市か七日市の市場の開催
・全地域で２つ以上の主要道路があるようにして、災害時の避難路を必ず確保できる体制にできたら良いと思う。 ・防災、減災に向けたアイディア等を発信できる町 ・本当にそんな被害があったのか？というくらいまで復旧してほしい。 ・役場を時代に合ったものにして欲しい（古すぎる）。
・苫小牧のベッドタウンみたいになればいいかな？ ・上厚真地区等は地価が安いし、何かと便利だし、何かきっかけにならないかな？
・今後、再度の大地震が来ないという保証のない中、家や施設の再建は迷う所が大きいと思う。 ・９月に一年が経過した時点で今のままで落ち着くなら気力も高まるのではと思うが、一年未満でのこのようなアンケートに向きあうのはまだ無理があるのではと感じる。 ・仮設に入居していて先の見えない人達が一番お気の毒
・子育てしやすい環境整備
・本アンケートを通じ、町民・被災者の体験から、復旧・復興計画（策）に実効が上がる様、施策されると期待します。
・高校等卒業後の町内就職（企業の誘致）
・子供達が安心して住める町づくりに、又、この震災を教訓に自分自身も水や電気等の大切さを忘れず、昔の住みやすい厚真になるよう願いたい。 ・やっと子供達も震災の恐怖から立直りつつある。
・厚真の地理的な利点（空港に近い、海のレジャー、農業、田舎の雰囲気）を活かして地域の活性化を図る。

・子育て世帯、および～20才代の若い人達が夢と希望、そして目標がもてる場をつくる。（地域、町づくり）
・現在進行中の街づくりを継続し、今後活動の場が発展する事を願っています。 ・全国に知れた厚真町を守りたい。
・ルーラルに居住しています。老齢の為運転ができなくなった時の事が心配（今でも） ・タクシーも1台よりない（日曜日は休み）等 ・バスも日３回より運行がない。 ・たとえば千歳、苫小牧へ買物等、病院に行きたくても交通のアクセスが悪い。 ・バスは町の補助金がある割には態度が悪い。
・大変な思いをしたのは皆さんそれぞれですが、大変な時に多くの人達（災害ボランティアの人達等）に支えられたのも確かです。 ・植樹活動とか、被害にあった木材等で町外のボランティア、町民とで何か活用したらどうか。
・大災害の時は、人と人のつながりが最初期にとても重要な事と思っています。時が過ぎれば記憶が薄れていきますが、記録をふり返り、自助、共助を今まで以上、少しでも一住民として意識していく事が災害に強い厚真町になると思っています。
・3-(5)の設問が悪い。もっと、主旨を明確にしてわかりやすいようにすると良い。心がこもっていない！
・震災前の厚真町に少しでも近づけたら何よりも嬉しいし安心します。
・高齢者の為の公共交通を増やす。 ・町外ではなく町内でのショッピングの場を増やす。 ・若い人達が働ける企業の誘致
・町外の人が来やすい町にする →観光になる場所 →銘産品の開発・普及
・今まで通り
・厚真町にいろんなきまりがあって、自由に建物が建てられないのは、おかしい、規制を取り払い自由に建物を建てられる様にしてほしい。
・若い世代が困らないことを最低限に考える町 ・福祉がやや過剰なので配分の見直しで若者が輝く町
・もし被災した時は一番頼りになるのは近所にいる人と思う。 ・地域の人達がつながりをもって交流できる場所や施設があると顔馴染みが集まる。 それが一番心強く思う。
・防災無線がうるさすぎる。夜はやめてほしい。必要最小限でいいのでは？ ・再度、地震が起きたとき、どこに行けばいいかわからない。 ・地震以外の災害が起きた時、どこへ行けばいいのか、教えてほしい。
・震度7.0の巨大地震は頻繁に起こるものではない。超長期的な発生と思うが備えは万全でなければならない。この震災は記憶にとどめ本町の地の利を生かした農を中心とした繁栄に知恵をしぼるべきだ。
・被災した福祉施設の再建及び高齢者の在宅福祉サービスの充実を希望します。
・若い人が安心して働ける職場の確保
・安心・安全に生活できる町になったらいいと思う。 ・インフラ整備、斜面の土砂崩れ防止対策を徹底してほしい。
・震災を機に危険箇所での生活をやめて、市街地での集約できる住宅の建築により、広範囲な避難活動や避難所の減少につなげ、冬季における除雪範囲を少なくすることで、経費の節減にもなる。集約することで生活のための公共交通の仕組みも容易となるのではと考えます。
・災害のない厚真にしたい。
・プラス思考を心がけて、良いチャンスを見つけて、あきらめないで前に進みましょう。
・買物、通院や必要な時に利用できる公共（？）交通の充実 ・人生の終わりを厚真で迎えるための、福祉施設の整備 ・若い人や移住者が町内で就業できる環境整備
・移住者が増えていることは良いことと思いますが、以前から住んでいる方達と年齢をこえて親しく地域交流ができる事を考えていただきたいと思います。 ・横のつながりが強くなれば災害にも復旧にも良い結果になると思います。

・義援金の使い方の充実、町内会へは不要だったように思う。みなさんからの好意を大切に使ってほしい。 ・地震があったが、これからも住み続けたいと思う町になったらいい。
・移住者を増やすよりも町民が満足する取り組みをして下さい。 ・来てくれた人よりも、残ってくれる人を大切にするべきだと思う。 ・でも、今の厚真町に不満はありません。いい町です。満足しています。いつもありがとうございます。
・若者が残れる町作り ・移住者が増える町作り ・動物との共生
・大地震で、町民一人一人とのきずながつながった感じがする。笑いがたえない厚真町になってほしい。 ・ありがとう、お疲れ様といいたい。
・あの大地震以来部落内において、住宅破損の為住宅の取り壊しで部落内に住まれる方が少なくなり、被災住宅に住まれて、部落住人が少なくなって、部落崩壊の危険性が出て来るので、これからの人口減少も含めて心配になって来た様に思います。
・新規就農者の事を考えてほしい。
・町内に住んでいる人を考えた復興を!!　観光客や移住者よりも!　内部から活性化を!
・厚真の豊かな自然環境を生かした家族や子供が安心して暮らせる移住したくなるような厚真になったら良いと思います。若い人が元気な町がいい！
・町外から仕事のため単身で住んでいますが、厚真町のお米（さくら米）がとてもおいしい！（おせじなく） ・震災で被害にあった農業を復活させてもっとアピールするとよいと思います。
・人が集まり、人口維持、増加が進んでいただきたい。
・町民全員が、自分が望む住まいで暮らせる厚真であって欲しい。
・夢や希望が広がるまちづくり
・支所、局、商店など、みんな親切で暖かいです。このままでいいと思います。皆さんがんばって下さい。
・町外の人たちを受け入れるふところの深さ ・若い人たち、移住者の人たちが生計をたてられる仕組み ・老後の不安を解消してくれるバックアップ。
・安全・安心の出来る厚真町になってほしい。変らぬ厚真町であってほしい。
・大いなる田舎、コンクリートだらけではない、里山のある厚真になってほしいです。
・アルプスの少女ハイジのようにはだしで草原を走り、あそぶ町 ・都会の子供たちの心が病んでいるのが悲しく思うので、何か手助けしたいと思います。義務教育外の自然教育、野性的な訓練ができる厚真
・被災に遭われ亡くなった方々にご冥福をお祈りします。また災害の痛手を受け復旧に取り組んでいる方々、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう祈念致します。町民みんなが笑顔で暮らせる町づくりに関係者の皆様の日々のご努力を願うものです。機会を作って、微力ですが協力したいと思って居ります。
・多くの住民がまちづくりに参画できる仕組み（特に若い世代） ・海外との交流が盛んなまち。
・災害を忘れる事なく自己の立場前向きに努力する事
・復旧、復興を成し遂げた厚真を全国に発信（途中の様子も随時発信） ・ハスカップ作付日本一を不動の街として強化　※氷室メークイーンの名称募集の結果はどうなりましたか。力を入れて、全国区にしてください。
・厚真に来て良かった。厚真で育って良かった。とみんなに思ってもらえる町
・被災者及び支援者両方の人に対するやさしい町
・若い人が町内に住んで働ける環境 ・高齢者が運転せずに済むような安価で便利な交通の便があり、買い物などに不自由がない環境を作っていただきたい。
・安らかに暮らしたくて移住したので、変に観光客（特に外国人）を呼び込もうとかしないでほしいです。
・隣接する都市部のベッドタウンエリアとして、町の付加価値を向上させる。 ・目的地とせず、通過点としての訴求 ・農村部と市街区域、それぞれの価値の向上

・田園風景、里山風景等ルーラルな環境の整備・復旧、荒地対策、廃屋対策 ・市街化区域の整備・再開発、購買心を高める宅地開発→密集化、不動産価値の向上 →ゆとりある住宅地の開発
・今の厚真でよい。
・必ずしも元通りにする必要はないのでは。 ・新たなスタートだと思ってがんばりましょう。
・地域コミュニティがしっかりとあり、高齢者の方が安心して生活できる町。
・水田等や林業の田舎らしい風景が良いところなのですが、道の駅の様なものを作って地元の農家の野菜や特産品を買うことが出来る様にしたら良いと思います。
・震災前から望んでいた厚真の姿を追い求める。 ・震災を機に『○○』をという考えは持ちたくない。
・地域が、限界集落化している（今後もっとしてくる）ので、活性化のある、明るい集落を構築する ・人口が減る中で、厚真町の将来像が見えてこない（10年先・20年先、等）増やす為のプロジェクト等を立ち上げた方が良い。旭川の東川町の様に参考にしてはどうか
・高齢化が進んでいる日本社会において誰もが、今後の生活に不安を持っている事と思います。この様な状況において安心して住める様、厚真町特有の対策を進めていただきたい。 ・交通不便な地において、現在「めぐるくん」が運行されていますが、更なる充実を図り、車の運転免許がなくても不便な生活をしなくてもよい様にしてほしい。 ・小・中学生には、学習能力を含め、学校の機能を最大限に発揮し更に高め、親が厚真の小中学校内で子供を学ばせたいと思う様にしてほしい。
・被災を受けた住宅や空家の整備が必要だと思うし、高齢の方達の住宅や移動するための足が必要。高齢な方が入居出来る所が今後必要になってくる。
・グループ制の制度を取り付けて機械の利用度を上げて（高度利用）経費の節減を図る。
・大型車が多くなって来た今頃、昔のままの土盛した所、まがりくねった場所の道路が狭くなって来ています。 ・道路縁の樹木など冬に道路がすべります。もう少し広い道路になったら安心です。
・私の地区では、人的被害はなかったので、昨年の苦労話の１つとなりつつある。しかし、人的被害のあった方々には、とても重い出来事であったと思う。この温度差が出来るだけなくなり、町民皆同じ思いで復興していける厚真町になったら良いと思う。 個人の気持ちなので具体的にどうして良いかはわかりませんが。
・こども達の未来への希望 ・働きの場
・人口減少を防ぎ、若い人が夢を持って明るく住みやすい様、前向きに歩んでいける町
・農業の再生と体験農業、実践と観光を通じて消費者と厚真に関わりを持った人達のつながり ・若い人達が新たな価値観と所得を得られる農業、商業が生まれれば良いなと思います。
・昔から厚真にうまれ育った人達の話しを新しく入って来た人達（特にルーラル地区）に伝えて、あまり既存の厚真が変わっていかないようにして行かなくてはならないと思う。
・地域単位で、色々な災害があった時の体制作り
・震災での人口減少も少なく、逆に転入者も来ている感じがします。 ・個人的ですが、夏場に道内をキャンプや旅行すると各市町村では特徴を発信され、ネット等で検索し、自分に合ったところへ行き滞在します。厚真町も既存のものなどを含め再整備し、いろんな分野に情報発信すると厚真に来た事のない人も厚真に来るのではないでしょうか。
・市街に住宅がない。もっと宅地を増やして欲しい。
・山も海もあり、動物もいて自然が豊かな所なので移住者を増やしてほしい。厚真は良い所です。 ・町内循環バスがあるといい（有料で）。 ・めぐるくんは使いにくい。民間のバスに接続不可能。
・高齢者に優しい町になれば良いと思う（交通機関の利便性の向上等）。
・厚真ルーラルに住んで30年になりますが思いもよらぬ大地震に2回も遭いました。まさか厚真がと大変驚きました。私の家は一部損壊でと云う事ですが、実際はどうなっているか、大変不安です。でも厚真が好きです。これからも住み続けたいと思っています。
・言いつくされた言葉であるが、若者が一生をかけてみたい仕事を見つけられる町

・一日でも早くもとの生活
・北海道の小さな田舎町が全国的に有名になりました。地震というマイナスな事で。元気で頑張っている事、ハスカップや米、野菜、良い物がたくさんある。プラスに変えて行きたい。北海道でも北の方から色々な所に住みました。厚真は本当に良い所です。熱さも寒さも程良くて緑もいっぱい、千歳、苫小牧、札幌にも近い、良い所をアピールしていってほしい。
・1. 電波環境の良い町　インターネット他、アンテナを増やす。 ・2.自然豊かで、レクなどを気軽に楽しめる町 ・3. 外からの人も気軽に宿泊出来る（農業研修生を含む）施設 ・4. 運転免許の無い人達の足の充実 ・5. 見守り隊による食事配達
・災害時とか緊急時には正しい情報を伝えて住民の方々と連絡を日頃からきちんと確認出来るようにしてほしい。 ・安全で安心出来る暮らしやすい町になってほしい。 ・地域の人達やその以外の人達との交流を続けにぎやかな町を期待します。
・震災前の緑豊かな、安全・安心して住める町の復旧、復興 ・水田、ハスカップ等厚真としてのブランド力の強化推進
・農業でしっかり稼げる環境を整えることで、厚真町の子ども達が厚真で働けるようになったら良い。
・第一に早く元の厚真の町に戻ってほしい。そのうえで、苫小牧・千歳市等を含む、医療機関へのアクセスの充実を図る事による人口の増加を願う。現在の厚真町は車社会においては生活するには良い環境であるが、高齢者増を迎えるにあたり、医療関係の充実ですが、アクセスの充実（自町負担の医療は無理）を検討しては。
・タウンWi-Fiなど町でインターネット環境をよくしてもらいたいです。
・ウソと偽りのない町 ・行政がもう少し町民の気持ちを理解した方が良い。全く寄り添ってないので。
・震災があったけど、震災の厚真と思われるのではなくて、住みやすい居心地のいい厚真であってほしい。田舎には田舎のいい所があるから。また来たいと思う温もりのあるそんな町に。
・多くのボランティアの方々に助けられたことを忘れずに。 ・厚真で生まれ育った方々と町外から来た住民とが、お互いによく話し合い、聞き合い、思い合って、ぬくもりのあるアットホームな厚真になったら良いなぁ！と思います。
・東日本大震災の時でも約8年の期間を経て仮設住宅から退去された方々も居ましたが、人それぞれの事情があると思いますので、息の長い希望の持てる復興をお願いしたい。
・地震が発生する前の厚真町に戻ってもらえれば、それで充分だと思う。あれこれ手を広げ身の丈以上のことをしても結局は物にならないんじゃないかと。これだけ小さな町が高望みしてはいけないと思います。必要な復旧は勿論だけど。それ以上はあまり必要ではないと。他の市町村のマネは要らないです。厚真は厚真で行ってほしい。先人が造った厚真町を守っていく上でも。厚真で生まれて育ってきたからこそ思います。別な意見はあると思います。でも同じ意見の人も必ず居ると思います。頑張れ厚真！
・大いなる田舎あつま町を１日でも早く取り戻したい、緑があって空気が美味しくて海があって山がある。地震でたくさんの物を失ったけれど、改めてもう一度元気のある町にして欲しい。
・高齢者向け施設に仕事場、図書館を併設したものを作る。介護不要の元気な退職者が働ける場（厚真の農業を生かした）を作り、年寄りの生きがいを活用する。年寄りが生き生きとすると若者も集まってくる。
・景観を配慮した復興と過疎化を見据えた地域環境の整備を求む。
・老人や子供にも住み良い優しい町づくり、公共交通の便利のいい、人が来たくなるような厚真町になって欲しいと思います。
・①安心・安全が担保される町になって欲しい。浜厚真地区は津波の脅威にさらされています。これは地域住民だけでなく、海岸には年間を通してサーファーが、大勢訪れています。また、近くにはサッカー場もあり、試合がある日は、大勢の人で賑わっています。このようなことから、津波から命を守るための避難所を造って欲しいと思います。願わくば単なる避難所ではなく、１階は道の駅とコミセン、２～３階は町営住宅（含む子育て支援住宅）、４階が避難スペースになれば良いかと思います。とりわけ道の駅は交通の要衝であるので町内で取れた農産物や海産物はもとより、新日本海フェリーの寄港地、秋田・新潟・敦賀方面の物産も販売することができます。復旧・復興は震災前に戻っただけではだめなんです。震災前よりも、もっと住みよく、活気にあふれた町になって欲しいと思います。

・②住みよい町、活気にあふれた町を表すバロメーターの一つとして子どもたちの教育があると思います。本町の子どもたちの英語の学力はかなり高いと思われます。現在中学生を対象に行っているオーストラリアへの語学研修は、画期的だと思います。しかし、全員参加でないために学年全体としては、まだまだ伸びる余地があると思います。中学生全員を対象に海外での研修を実施することはほとんど不可能です。国内ならば可能です。本町の港には大型のフェリーが発着しています。洋上研修が、授業として実施できると思います。夏休みに実施すれば、小学校の教員にも指導のお願いができると思います。このような授業をした後に海外研修をすれば、いっそう英語力を伸ばす事ができると思います。 以上、２点について宜しくご検討のほどお願い致します。
・地震に対して公務とは言え大変ご苦労様です。さて、本題ですが役場においてはもっと若手職員の登用を期待します。これまでの慣習をそのまま踏襲しているように思います。慣習を破って新しい役場を作っていただくことが第一だと考えます。質問の中で「地域で防災訓練・避難訓練の強化」という項目がありますが、移住して5年経ちますが町主導の防災訓練を実施したことがあるんでしょうか。今後は自衛隊も含め合同の訓練が必要と考えますが町としてそのようなお考えはあるんでしょうか。 ・又、ハスカップのことですが厚真町の売りとしてこれだけではインパクトがないと思うし、ハスカップは北海道のいたるところで作付されています。ハスカップ＝厚真町ではないんです。作付面積日本一とかちょっと意味不明ですね。特徴として、あとひと押しが欲しいです。 ・もう一つですが、時々、広報に町職員などを募集していますよね。これは以前にも言いましたが少しは改善された気がしますが今でも応募条件として、採用されたら厚真町内に居することが条件となっています。なぜでしょうか。なぜ採用されたら厚真に住まなくてはならないのか全く理解できません。旧態依然の考え方です。そんなことを言っているから、役場の特にベテラン職員の考え方は変わらないんでしょう。冬場の通勤が困難だからなどいろんな理由があるらしいですが、そんな条件初めて聞きました。町内人口は約4700人前後、その中で生産者人口はどのくらいか当然4700人を上回ることはありません。母数が4700人以下なんです。いくら頑張っても出来ることは限られています。この際、殻を破って町外へはばたいたらどうでしょう。
・一次産業を中心とした「田園の町」の良さを残してほしい。環境に配慮した静かで落ち着いた普通の日常生活を全ての住民が早く取り戻すことが出来るよう願っている。
・静かな暮らしが戻りますように。
・笑顔でいることが、ごく自然なまちでありたいと思います。
・もっともっと人口が増え、活力のある町になってほしい。
・自然に囲まれてのどか、新鮮な食べものも豊富なので、古民家（例（旧）畑嶋様）などで、お食事も出して、夜は星空もとってもきれいなので、色々厚真のいい所をつなげて、ツアーを組んでみるなど、スタンプラリー的なものを作るともっと町外の方にも田舎の良さがわかりやすいのではと、思います！時期によって色々プランを考えてみてはいかがですか。
・自然豊かな緑の多い町にしてください。 ・転居した時は（2年前）電線も少なく良い所と思いましたが、最近は基地局などが増え残念です。幌内の地下水もおいしかったのに地震の前より薬臭く（石油？）除草剤やら農薬（殺虫剤？）のせいか水が飲めなくなっていました。昔ながらの農業生活を希望します。（厚真に来て、難病が良くなったが、現在悪化しています）
・ライフラインの整備と強化 ① 災害に強い給水（上水道）を！（1ヶ月の断水はきつかった。給水車の配置は助かったが、長引くと限界に） ② 電力は北電との連携で、対応可能なところから手をつける。
・将来、厚真町に住んでいた方と新しくボランティア等で厚真に入ってこられた方々との交流により今までにない新しい厚真町になってほしい。
・今はまだ復興したとは言えませんが、町外から来て下さる方々に地震にあったけど、厚真町は皆前を向いて活気がある町と思われるような厚真にしたいですね！
・公共交通機関の拡大を期待します。
・厚真町には企業がないので若い者か働ける間は大規模の面積を作り、田だけではなく、いろいろの種類のもの作りをする、6次産業に力を入れる。
・「大いなる田舎」「心がゆっくり休める」場所に。

・地震は厚真を知ってもらうよい機会だったととらえ、たくさんの人に厚真のすばらしさ（自然、特産品）を体験してもらえれば良いと思います。 ・元々、移住者も多い地ですので、さらに魅力を発信していければ良いと思います。
・住みやすい町づくり
・思いやりの精神を持ち続けられる町、地域にしたい。
・住むところが、もう少し増えると良いなと思います。
・震災前（以前）の生活を送りたい。それ以上は特に望まない。
・「地域の活性化」・「住民の活力復元」をいかに作り出すかの努力を願う。
・被災された方に寄り添うことをいつまでも忘れないようにもする（できる）町になってほしいと思います。
・町民の要望を国や道の規定・規則に定められていないことを理由に拒否するのではなく、真に困っている町民に寄り添う施策を町が独自に実施することが肝要。いちいち道などに確認し、「道が認めないからだめだ。」ということを理由にして、町民の要望を取り上げないと、町民は、町長や役場職員を信頼せず厚真町から離れていく。 むしろ町民の要望が実現するように国や道に提案することに力を注ぐこと。町民の血税で給料を貰っている役場職員は、どっちを向いて仕事をやるのか今一度、しっかりと考えないと、来年の町長選挙はどうなるか。
・若い人達が増える施策がほしい。故郷への誇りの持てる町・・・
・住民にとって住みやすい町 ・高齢になっても安心して暮らせる町 ・人口が減少しても豊かに暮らせる町
・女性が安心して暮らせる町づくり。町外の女性が訪ねて見たいと思える町づくり。それらが地域全体が安心できる、楽しみのある町への道しるべだと思う。 ・少子高齢化、人口減少は避けられない現実であることを見据え、それらを前提とした、今後の町づくりを進めるべき。
・被災者との対応に苦慮している町職員（町長はじめ）のご苦労に感謝。
・震災時の物資不足に対応できる規模のホームセンターを設けてほしい。近隣の町に買い出しに行く際、通行止めで行けない箇所が有り、不自由な思いをした。
・震災をもとにしてつながった関係人口に対して、今後もつながりを深めていく事が重要だと思う。
・1.特別交付税の使い方 一部を生活再建にまわす ・2.各自治会の連合会を作る 被災した場合　連合会→町→道→国への予算請求の流れを作る。 ※地域単位で求める中身を確認出来る。
・発災前、都市部で開催されていた北海道移住フェアでは、厚真町のブースにはいつも人がいて、場合によっては順番待ちの列に並ばないと話を聴けないほどでした。人口自然減が国難として避けられない状況の中、移住者の誘致は非常に重要な施策だと考えています。また再び、各都市で開催される移住フェアで、厚真のブースに人が並ぶ光景が戻った時こそ、本当に厚真が復興した証だと思います。そのためにも、今仮設で不自由な生活を送っている方々が、１人残らず、不安を抱かず厚真での生活を謳歌できるよう、誰一人として落伍者を出さない復旧・復興にしてほしいです。
・情報発信・共有がなされる環境整備が進んでほしい。（「厚真のために」と思っていろんな人があちこちバラバラで良い取り組みをしていてもまとまりがなく混乱してしまう）新しいモノゴトだけではなく、既存の活動、取り組みもしっかり再評価して活かしてほしい。
・つながり・絆を感じる町
・厚真町に元々住んでいる住民の力を結集していきたい。町外の人に頼り過ぎない。
・人口減少時代を見据えた、町民全体の居住の在り方について、今一度考えて頂きたい。
・高齢化が進み、農業後継者減少などにより人口減少が進み町の勢いが低下することに対して、町外移住者、特に若い世代が住宅や仕事を求めてくることを目指す町の方針は正しいと思う。「地域おこし協力隊」の人々の厚真定住、「支援隊」で後継者のない農業などの地場産業の維持は厚真町の生命線だと思う。

・元気のある人は、たくさん稼いでいっぱい税金を払って還元する。まだまだ支援が必要な人はとことん寄り添う！！誰一人かけることなく元の生活以上の生活を取り戻す。
・災害は全国各地で発生し、人々の記憶は更新され、過去の災害のそれは風化していく。それでも、何らかの教訓として、記憶にとどまり活かされていけばと思います。
・厚真町で皆が行きやすく有事の時にも使い易い場所に、①老人ホームと隣に幼稚園や保育所②銭湯③交番④消防署⑤銀行と郵便局のATM⑥ホーマックやドラッグストア⑦農協⑧会館等々イメージ的には道の駅も兼ねて、1つの広場に集まれば良いと思う。ただ、イオン系のツルハやMAXバリュ等が隣接して建っているのではなく、洪水や津波、地震等天災が来た時にヘリポートとなる場所、自衛隊が警察・消防が拠点を置け、町民が避難できる場所として大きな店を町に入れるのではなく、普段は町民やトラックの運転手、ツーリングの人達も安全に寝泊まり出来、いざとゆう時には避難所、仮住まいが出来るような建物と施設があれば良いと思う。ガソリンスタンドもあるといい。

7．自由意見　「厚真町の復旧・復興について、ご意見・ご要望」

■記入者　147名　記載内容の項目別整理

項目	人数
住宅再建への支援、再建に迷う人への支援を、空き家活用	20
役場への感謝	17
道路の改善	13
町民に負担をかけない復旧工事	11
農業の振興、再生に向けた支援強化	10
り災証明、縦割りなど役場の対応に不満	7
災害から安全な住みやすいまちへ	6
買い物のしやすいまちへ、店舗や公共交通の充実	4
以前のような住みやすいまちに戻す	3
無駄なお金を使わない復興を	3
人口増、定住、仕事づくり	3
コンパクトなまちへ、中心部に住宅を	2
住民・役所が助け合うコミュニティ	2
一日も早いい復興を	2
被災の場所の場所を残し展示	2
ゆっくりでも着実な復興を	2
人口減、集落がなくなる危機	2
復興イベントの開催	2
上厚真の津波対策	2
町民参加の復興を進める	2
子育てのしやすいまちへ、子供のケア	1
高齢者が暮らしやすいまちへ	1
安心して飲める水道、井戸水	1
復旧・復興情報の開示	1
水道・電気のライフラインの強化	1
北部と南部の差、上厚真のことも考えて	1
弱い立場の人の支援を強化	1
慰霊・追悼施設の整備	1
その他	24
合計	147

※　その他は、アンケートの設問について、みんなで頑張ろう、高齢で答えられない等、内容に直接関係ない事項が多い。

※　「(6)こんな厚真にしたい」と同じ項目の記載があるが、こちらは、より具体的で要望的な記載が多い。

■意見の内容（記載のまま）

ご意見・ご要望
・早く住み良い厚真町にして下さい。
・町民はもちろん職員が一つになって復興される事を願っています。
・現在復旧・復興が進んでいる中、我々はただ行政が進めている工事に対して安全に安心して暮らせる厚真町にしてほしい。
・スポーツ少年団の活動の復旧見通しが立ちません。活動できないことで団を離れてしまう子も生じかねません。 ・復旧はたしかに優先ですが、まだまだ課題は山積みです。町全体で知恵を振りながら少しでも良い厚真にしていきたいです。
・多くの町民が参加出来る、楽しい復興イベントを期待する

・地震が発生し、津波が到来する場合、上厚真は橋を渡らないと、上厚真小学校のような高台がない。厚真会館では対策として不十分のような気がする。石油備蓄は高台だが原油であることから火災もあるため、一本橋を渡らずに厚真町役場へ行けるルートを整備してはどうでしょうか？？
・資金が必要
・とにかく遅い！遅すぎる。義援金にしても、解体工事にしても時間がかかりすぎ。役場の対応も悪い。知識のない職員に腹が立つ。 ・言葉は悪いかもしれないが、慰霊施設や被災の記憶を残すとかどうでもいい。まずは生きている町民の生活が第一ではないのか？お金をそんな物に使わないでほしい。 ・義援金や、寄付金を正しく使っているのか怪しい。 ・支援物質で送ってもらったものなども配り切ったのか？期限が切れる前に、配って欲しい。（水など） ・みなし仮設として公営住宅に入居したが、期日（1年）までに出ていく約束を交わしたのに何度も何度も出て行けというような書面が届くのが精神的に追いつめられる。しつこい。期日まで、そっとしといてほしい。居座るつもりは、これっぽっちもありませんから。 ・公営住宅の元から住んでいる住民は、あいさつすらしない。疎外感を感じる。 ・厚真町に住んでいて嫌なことしかない。もう早く引越して忘れたい。
・元通りの厚真町に復興することはもちろんだが、将来・未来の厚真をイメージした長期的な復興が大事であると考える。 ・子供、高齢者の方々が、安心して住める町を目指して、復興していってほしい。 ・町民参加型の復興も、記憶に残り、自分達も復興に貢献できたと感ることもできるため、その様な機会をつくってはどうか？
・無駄な予算消化や過剰な復旧にならなければ良いなと思います。 ・過去の災害復旧を見聞きした範囲では、作っても誰の役にも立っていなかったり、驚くような豪華な復旧になった例を少なからず見た感があります。個人的には、モニュメントとか、無駄の極みと思っています。それを踏まえた上で、町民皆が早く普通の生活に戻れると良いですね。
・町のスローガン安全安心なまちづくりに邁進すべき
・町道の復興が土砂撤去以外は余り進んでいない。仮舗装だけでもして欲しい。特に朝日、幌里地区
・厚真の水は元々おいしくないですが、地震後、ひどい味になりました。そこは施設が壊れたので仕方ないと思いますが、住人の方から、厚真の水道は子どもに飲ますな、と説教されました。安全であることを、数値を根拠に住民に説明してほしいです。味を理由にデマを流す住人がいて反論するのも面倒くさく、しつこいので、町で安全宣言を改めて出して、デマを流さないようにしてほしいと思います。
・役場の方々の業務は大変だと思いますがお体を大事にして、まちの旗振りをよろしくお願い致します。
・復興に向けて頑張って下さい。
・今は町長さん初め役場の職員様が一生懸命日々努力されている事に対し心より感謝しています。どうか皆様もお体を大切に毎日をお過ごし下さる事を心より願っています。本当に感謝、感謝の気持ちです。これからもよろしくお願い申し上げます。そして他市町村へ行かずとも地元厚真町で用事をたせる事を願っています。わが故郷が大好きな自分ですから死ぬまで厚真町ですごす事を希望しています。
・道路の整備を早めてほしい。
・昨年の地震時に厚真町に住んでいなかった人にアンケートを送るのは無駄（資源的に）だと思います。
・復旧、ご苦労様です！ ・住宅以外の建物、設備、施設、土地に対する修繕行為への援助があればありがたい。 ・厚真町にも特産品やPRできるものがあれば良い。 例：鵡川→ハドロサウルス、シシャモ　　あびら→サラブレッド、メロン、D51 やっぱり「道の駅」があったら良いのでは ・移住促進は、トーンダウンしたほうが良いと思う（ノーアイディアでは誰も来ないと思う）
・フォーラムビレッジから外出するための道路は道道10号線１本だけですが、昨年の地震では10号線の被災もひどくビレッジが孤立しかけました。町道フォーラム4号線の完成を急いで、生活の利便性を高めるとともに、複数の避難路の確保を進めてほしいと思います。
・公共交通、買物、一番大切 ・役場の全体の町民に対する思い、上目線でいつもいる役場の方々、これでは町は良くならない、出ていく人の話しが、とても多い！私も年だから考えざるを得ないが、それでもこの土地に居たいと思う物が一つもない！生きるって住むという事だけではない！生活が出来なければ生きて行けない！人が心良く住

める生きて行ける町にしてほしい！人の出入りが多い町は良くなる！公共交通のない町は空気が淀む、息苦しい町になる。やさしい町、息苦しくない町にしてほしいし、そうなる様に年だけど、頑張れる事は私もしたい！ここに居るのは怖い！けど、好きで来た町（チョットがっかりしたけど）出来る事なら逃げて出て行きたくない！でも今の状態を見ていると、ここで生きる事に不安大で毎日大切な短い人生を生きるのはイヤ！安心して住みたい、町になりますように。
・良くアンケートが来ますがどう答えていいのか分からない事が多く一人一人事情が違うのでお忙しいとは思いますが訪問して直接話しを聞き取った方が良いのではないかと思います。
・外灯の数を増やしてほしい。中心部以外暗くて怖い。
・３の問いに２つだけのマルは違うと思う。その人の思いが伝わらない。
・町職員や関係機関の方々のご協力に感謝します。
・やはり農業が要ですね。それを振興させないと農業基盤が弱いと思います。
・私は町からの復興状況の説明会に出席した者ですが、厚南地区の被害は上地区に比べて格段に少ないのを実感しました。あのテレビで見たボウズ山の連なった光景は忘れる事ができません。町内でもり災証明による格差？があり、自分の意向にそわない判定がその後の義援金などにずっとひびくのも仕方ないかもしれないけれど、不満を持った人は多いと思う。そういう人達に納得してくれるような説明を役場の中に設けて欲しいと思いました。
・復旧・復興の事業には、予算（お金）が必要になりますがその予算のもとは、税金であり、また使ったお金は町の借金（負債）となります。 ・復旧・復興および安全対策といえども、個々の事業の実施（計画づくり）にあたっては、費用対効果を充分に検証して進めていただきたいと思います。先々の財政破たんは避けたいですよね。
・今日も早朝と夕方にトラックや業者の車がラッシュになっています。 ・震災時の時から車の種類は違っても、人の動きは大変大きな力を感じながら、道路を見ております。まもなく一年経とうとしているのに車の量は減りません。今だに幌内方面に心が動けません。亡くなられた方のご冥福を祈るばかりです。
・厚真町の復旧、復興の為、多くの人達が一生懸命頑張っている姿を毎日のように拝見していますが、”どうか怪我や事故のないよう”にお願いします。
・一部破損でも家が傾いた住宅へのもう少し手厚い支援 ・役場の部署が点在してたらい回しになり不便。全機能をゆくりに移し、多目的室的なものはプレハブ等に移転
・厚真町は一番大変な時です。町民一人一人が復興について、自分は何が出来るか考える時だと思います。
・避難時、どこへ行けばいいのか教えてほしい。
・高齢化が進んでいる現在ですが元気な年寄りが大勢おられる。年寄りが輝けば町も輝くといわれる（四国のとある町、新聞で）。 ・元気な年寄りを利用（悪いかな）する施策を考えてほしい。
・主要道路の整備・斜面の土砂崩れ防止策をお願いします。 ・自宅の周囲の道路に昨年の地震で亀裂がある。アスファルトが割れているだけで、地盤が割れているわけではないが、少々不安です。簡易的でも良いので、埋めて頂けると気が休まります。
・大正14年九月５日開村三十周年記念帖によりますと明治八年頃濱厚真に青木兵八氏髙津熊蔵氏此の地に来り住す　明治三十一年の洪水には入家百数十戸、溺死者１１０余名、耕作物は全部流失。大正２年の凶作は田畑共に収穫皆無。それをのりこえて来た先人のお陰で今日、厚真が有るのです。厚真魂で復興にがんばりましょう。
・復旧工事がたくさん行われているのはありがたいが、道路を掘ったままになっていて、砂利のままなので家の前が汚い。ほこりもたち、洗たく物も干せないので早く、きれいにしてほしい。 ・地震のためか、雨水がたまって排水にうまく流れていないところもある。見直しをしてほしい。
・夫がまた幌内に戻って農家がしたいと畑や家を探しています。家族は正直、怖いです。戻るのが。安全対策を万全にしてもらいたいです。
・被災された方々、老いて行く方々の淋しさ、むなしさ、生活の不安・将来展望等々、アンケート及び集めて話を伺うだけでなく、町議の方々、移住されていてそれなりの人達の支援をいただき乍らグループを作り足を直に運んで意見を聞き、上記の方々への支援策の充実を第一に実施願います。心は時間とお金では補えません。

・せっかく復旧、復興で新たに町づくりをするなら、若い人にかじを取らせるべき。これからの厚真町をつくるのは若い人たちに任せたい、託したい。そういうプロジェクトチームをつくって設計図や未来の厚真町を描いてほしい。
・昨9月6日の東部地震発生以来、町関係者、ボランティアの皆様の献身的なご尽力ご協力により現在に至っていることに一町民として心から感謝する次第であります。老齢無知の私には何ら協力する知恵も力もありませんが、より良い復興に若い力を結集して本町の一層の発展にご努力されますよう期待して日々の生活を楽しませて頂く所存でおります。関係者の皆様、御苦労様です。
・一次産業の復旧
・大型車両が行き交っています。交通事故「0」に向けて、業者と町との提携をお願いします。尊い命を守るためにも。
・役場のみなさんが頑張っていると思いますが、無理にはせず、早めに帰る取り組みもしてもらいたい。
・役場や復興にあたっている方々御苦労様です。体に気をつけて、がんばって下さい。
・町全体が暗い、地域にもっと街灯を設置願う。 ・インターネット回線を充実させ、地域にも光回線を引いてほしい。 ・行政の防災体制を強化し、周知願う。
・取り壊し希望の住宅の必要資金についてもう少し考えてほしい。業者に一次払う資金の手当てを出来ない人が多数いると思うが考える事は出来ないか。被災を受けた者が皆払う事が出来るとは考えられない。
・住宅の再建に向けての手続き、事務の仕事がもう少し早く出来るようになってほしい。
・毎日、復興に向けて、大変な作業を御苦労様です。役場の様々な部署の方のおかげで、私は今も営農ができております。復興の主体となる役場職員の方々も体調管理等を優先しながら万全の状態で頑張って頂きたく思います。復興は長いので無理はしないで今後ともよろしくお願い致します。
・本郷在住の為、震災時、水などをもらいにスポーツセンターに行っていましたが、夜のスポーツセンター周辺の道路照明が暗く、ものを持って歩くには危険です。照明の改善を希望します（躓き持っていたものを落としてしまいました）。 ・高齢者にもわかりやすい情報発信が必要だと思います。 ・震災により特にテレビで厚真町を紹介してくれてます。振興に活力して行こう。
・市街に、宅地を増やして欲しいです。
・復旧・復興の進捗状況等、具体的情報の広報・開示
・一日も早い復旧・復興が進み又、自然豊かな町になる事を望みます。
・まだ物置、車庫等がくずれ、直すのに大変で、そのままになっているのでどうしていいか途方に暮れています。
・農業用水（導水路）が満水の時にあの地震だったとしたらどんな被害が出ていただろう。同じ様な地震でも耐えられる復旧工事になっているかが心配。農家以外の町民は、導水路の危険性について関心が少ないのでしっかりとした説明が必要だと考えます。
・集落毎の将来の有り方を整備、特に上地区・・・
・工事残土を移送・保管する際、土に混じっているゴミ除去の必要があると考える。
・交通アクセスを生かして緑豊かな地域をアピールした苫東基地企業のベットタウン化をPR化して、子育て世代の移住者を増やして新時代を見つめた明るい環境の街づくりを目ざす。
・農業は町の基幹産業ですので、後継者や新規就農者の育成と確保とともに、アルバイトの確保や法人を増やし、その従業員確保対策を支援し、農業に関する就職先を増やす事で、人口減少対策の一つの柱としてはどうでしょうか。農業の活性化＝町の活性化、維持対策だと思います。
・これからの時代、またどんな災害が来るかわからない。災害に強い町づくりをしてほしい。
・まず、震災以前の住民全体の生活を取り戻す事が重要です。
・町民に対し義援金及び支援策につきまして、始め20万円をもらいましたがその後それで終りなのかどうなっているのかわかりません。又、り災証明を提出している人と提出していない人はどう違うのですか？
・現在仮設住宅に住んでいますが、家では犬一匹、猫一匹がいるので公営住宅や災害住宅も入れないので、今とても不安な毎日を過ごしています。早く次の住む所を決めたいので、どうか考えてほしいです。個別の話し合いの時間を作ってほしいです。よろしくお願いします。
・道路の整備を進めてほしいです。ガタガタ。路面の損傷がひどいです（ひび割れ）。
・空き家等の有効活用の促進を願う。 ・医療の一部負担の延長を希望する。

・復興と平行して、「自治会の再編論議」も必要ではないか。また、「農事組合の再編」で活力ある、地域とすべきだ、この論議は同時平行的に行うべきであり、今回の災害からの復興から発展への道筋となるのではないか。
・公共交通の充実をお願いします。
・地震は自然災害なので発生は仕方がない。ただ、避難所での生活が良くなる様に平常時から準備をしてほしい。トイレの増設、エアコンの設備、貯水施設等、費用はかかるが、平常時から使用は可能で施設の利便性向上にもなる。 ・また、震度７の地震が来るのではないか→この住宅はだいじょうぶか？→対策は？→住宅新築！→この歳で新築してあと何年住める？→出来れば、現在の住宅に住み続けたい！→また、震度７の地震が来るのではないか、の繰り返し
・にぎやかな町のためにも移住者だけを増やすのではなく、町外への買物に出なくてもいいよう、町内に店を増やすべきだ。子供を移住してと促すわりにおむつを買えない町はどうかと思う。
・いろいろな天災（台風・大雨・雷・火山の噴火など）は、予報や通達が可能です。震災は突然に起きてしまいます。日常生活において震災が起きた時は、身を守ることが一番。①日頃から家具はしっかり固定しておく。その他、体験から得た事柄を後世に残す必要が有ると感じます。①の固定方法は、その道のプロの方から伝援してもらい、見本として、町のどこかに展示しておいては、いかがなものでしょうか。我が家は、これを機に実施しました（100円ショップでも手に入る品も有りました）。これから先、日本の各地、（世界も）どこで震災が起こるか分かりません。地球は常に活動しているのですから。
・もっと早く災害復旧をお願いする。それと町全体で、特に職員による心のケアをもっともっとやってもらう!!
・担当職員の方は災害発生以来大変な御苦労が続いていると思います。多くの町民の意見をくみとり、より良い厚真町の再建につとめていただきたいと思います。御苦労様です。
・高齢者の方が安心して安全に生活し住む事が出来る高齢者住宅を建設してほしい。 ・北部地区は、この先きっと過疎になる。この地区にお金をつぎ込んで再生させる事は無駄だと思う。その予算をもっと有効活用してほしい。北部地区切り捨て、ではなく最低限の生活、安全を保持出来る位置までの復興に留め、後は、前出に述べた市街地の充実化に尽力して頂きたい。
・被災箇所すべてを以前の状態に復旧させる必要は無い。特に、住居・道路。ぜい弱な土壌だと判断されたのであれば、修復、補強したところで、再び被害を受ける。住民の中心部への移転、廃道、廃農地でよい。被災場所を通過する道路の場合は、土砂流出部と道路の間に「安全帯」を設け、今後の災害に備える、これを機会に、集落再編集すれば良い。
・復旧・復興について、町としての対応は、良いと思います。
・仕事で使用する納屋もやっと着工しました。町道がまだ直してもらっていません。通行が不便です。道路も建物も早く、元の生活に戻れたらうれしいです。
・災害公営住宅の計画を早くしてほしい。
・1.境界石杭が移動しておりますので、行政的に確定して頂きたい。 ・2.土砂崩れにより町道が移動しておりますので、修正して頂きたい。
・地震後、車が（ダンプ）通るたび、家の揺れがひどくなりました。
・家屋が全壊、半壊など、大変な方々への援助に力を入れてほしい。
・このアンケートは、母の所に郵送されました。母は認知症がすすみ、介護Ｉで、地震の後、だんだんひどくなっていて、回答はできません。わかるところだけ長女が記入しました。 ・施設への希望はケアマネージャーさんへお願いしましたが、一人での生活には、娘として不安があります。現在は見守りの方々にお世話になりながら生活しています。私は主人の父母も見ているので、なかなか母のところへも行けません。今年の夏は暑く、食事も作らず、買い物にも出ず、困っています。食事、お風呂、（デイサービスは行かないとわがまま・・・）にしっかり対応していただける施設への希望はお願いしたいところです。
・厚真町職員皆様お勤め御苦労さまです　御身大切に。馬齢を重ねてる老人です。何一つできませんが、このお盆から胆振東胆振地震被災地被災者犠牲者之霊位、今年初盆から秋季彼岸、春季彼岸と私の出来るうちはさせていただく予定で過日御供養を申し込んで参りました。
・お仕事ごくろう様です。いつもありがとうございます
・山林の被害が大きい様ですが、山の様子を見に行くすべもありません。個人では手の付け様もないので困って居ります（高齢のため）。

・Ⅰ、震災でご逝去された家族は町内外にいらっしゃるので、追悼及び後世に残る災害記録、復興足跡を振り返ることのできる施設の整備、管理を希望する。また施設は教育活動、交流促進にも活用することを目指してほしい。 ・Ⅱ、多くの耕地、森林が失われた。民有林再興の道を示してほしい。 ・Ⅲ、土砂ダム等を将来、採草地などの耕地として活用できるよう関係機関と協議してほしい。
・先日仮設にエアコンを取り付けていただき、厚さにうだっていた日々から、解放され、有難く思っております。何か書きたいと思うたのですが、思いうかばないというか、まとまらないというか、自分の先のビジョンもよくわかりません。すみません。
・道路の復旧工事を早く進めて欲しい。
・厚真町にお世話になって10年になりますが、全くよそ者意識はありません。心身ともに健康的な町民が増えていくことを願い「健康あつま21」へ、何かシステム（体制）の提案が出来たらと思っていた矢先の震災でした。今、街には地域おこし協力隊等若い移住者がたくさんおります。彼らと地元町民とが交流できる場を多く作っていただき、町民一体と成って復興、町づくりに向かっていければと思っています。
・なりゆきに任せるしかない。住民は良い町にしようと頑張っている。
・過疎化が更に進み、住居が点在するのでは？災害の特に烈しかった地域の皆さんの声をまとめて出来るのであれば中央附近に新住宅団地を造成してはと思われます。
・住宅修繕を町に申込んであるが業者が来ない。
・関係機関の方々には一生懸命に御世話下さって、唯々感謝のみですが、だんだん高齢になって御迷惑ばかりおかけするのみですので息子や嫁にいろいろ言われて実のところ迷いばかりですが、厚真町の様なあたたかい町からは離れたくないので自分で努力して健康寿命で頑張っていきたいと考えています。御迷惑と思いますが今後共よろしくお願いいたします。
・現在行政機関の方々には大変尽力を尽くして頂いております。このまま進行して頂くことを願います。
・復旧・復興の問題より、これからの（我が家）の生活が心配。高齢者は、５年、10年は、見通しがつかない。
・これからの厚真町は厚真有志の方々そして若い世代の方々にお任せ致します。すばらしい厚真を作って下さい。お願い致します。がんばってー。一町民より。
・厚真町の農業・林業・根幹となる業種の復興に力を入れて欲しい。若い人・子供達が仕事を継ぎたい！と思えるように。 ・ハスカップの復旧を急いで欲しい。せっかくの日本一です。ただ貴重な果物だとはわかりますが、どんな成分で何に良いのか今ひとつわからず、ジャムを毎年作って友人に送っても、ありがたみが伝わりません。もっと良い所をアピールしてほしい。 ・厚真町の子供達にたくさんの応援・エンターティメントの支援が有りました。これからは子供達自身に復興の体験をさせて欲しい。例えばハスカップの植樹とか。田植えとか。自ら進んで何かをやる外へ出ていく体験をさせてあげて欲しい。
・半壊以上医療費免除などの矛盾した決め方に不満あります。一部損壊の人にも半額免除取り組んでほしかったです。
・震災前には、決して戻らない。農業に関しては、就業年齢が高いこともあり、補助域の資金返済が出来ず、離農する方が多い。これを、どの様に拾っていくかで、農業（米）の町厚真町が大きく変わってしまう事をふまえ、知恵を出していただきたい。 観光では、厚真町は再生出来ない。
・今回の地震・災害で感じましたが長引く停電、断水の為テレビ、ラジオ等から関する情報が得る事が出来なかったのが不安な一夜を過ごしました。ライフラインは住民にとって重要なので迅速な伝達の対応をお願いしたい。皆さんも混乱の中努力していらっしゃって大変と思います。地震当日は予定が変更され連絡が出来ませんでした。（札幌の病院に入院の予定が札幌もブラックアウトになりなかなか携帯にもつながらず大変困りました。）携帯・ラジオ・懐中電灯・電池等を常備するように心掛けましょう。これからは安全で安心した明るい生活が送れる町であってほしいです。充分な支援物質やボランティアの方々その他の人達にお世話になり感謝致します。有難うございました。
・畑地の暗渠破壊の復旧に費用が掛かるので苦慮している。
・今回の災害に対する職員の対応に厚く感謝申し上げます。幸い我家は平常な生活を送っておりますが、近くに災害支援住宅を見る時、この人達が元の場所に戻り、元通りの生活ができれば最良であり、その為

には家屋再建への補助金増額等、検討願う。現在の補助額では大半が自分で資金を調達せねばならず、都会流出につながるのではないか。
・正直、上厚真は家屋あまり被害はないと思う（間違っていたらゴメンナサイ）。もちろん被災された地区の方々最優先で復旧・復興してほしいですが、上厚真ももっと利用できませんか？余談ですが、こちら側に来ることってありますか？高速乗る時に通る場所でしかないです。こちら側はそちら側へ行くことはあるのにと思ってしまいます。なかなかお互いの交流できてない気がします。差を感じます。そんな交流の場あればと思います。
・復興に対しまして大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。
・住宅再建時の農地転用について、災害時の問題として法的な問題がありますが、手続きの時間短縮について考えていただきたい。
・仮設住宅で暮らしているみなさんがそれぞれの思いの場所で1日も早く元の生活が出来るようになることを願っています。
・色々問題は山積していると思いますが、焦らず確実に一歩ずつ時間はかかっても良いので元の厚真町に戻ってくれるよう願います。勿論、自分に出来る事があれば微力ながら役に立てればと思います。皆で頑張りましょう！
・厚真町の復興には、私たち農業を営んでいる者の復興、林業に携わっておられる方々の復興が早く進んで行く事で元気な町づくりに協力していけると思う。去年は農作物を収穫する事ができず、使っていない農機具もあり、故障していないか不安もあるが、実り多い一年を重ねて行く事が大切だと思っています。
・道路沿いの住人は復旧工事のトラックの往来で毎日家地震が起こり大変です。どうぞお気遣いいただけましたら幸に存じます。
・震災以降、非常事態に対応してこられた町職員の皆さんには、頭が下がります。有難うございます。このアンケートの質問事項にも見られますが、「復旧・復興」と「町おこし」を混同せず、分けて考える方が良いと思います。「復旧・復興」は、現町民が一日でも早く不自由で不安な生活から回復することであり、最優先しなければなりません。「町おこし」はそれに加えて考えていかなければならないことで、震災前の状況や構想を今後の状況を踏まえて修正していく必要があります。町民が、不自由や不安が無く、笑顔で日常生活が送れるのが魅力ある町の姿であり、人々の気持ちの余裕が、「町おこし」に繋がっていくのではないでしょうか。
・私、家が全壊して今はみなし住宅に住んでいますが、町として震災住宅を建設すると言っていますが、もう震災から一年経とうとしています。もうそろそろ震災住宅の説明あっても良いなと思います。
・役場の方々、お疲れ様です。御無理をなさらずに・・・。
・1、道路の凸凹を無くして欲しい。車がゴトゴトと不快感。特に橋と道路に段差があり、平らにしてください。 ・2、水道水の品質が良くないので、できるだけ早く浄水場の復旧を願います。 ・3、お礼　災害時、断水が一ヶ月程続きましたが、飲物・食料の配給や連絡も防災無線に細やかに行っていただき感謝しております。役場の方々、自治会の方々のご苦労に、改めお礼を申し上げます。
・町有地は宅地として売らないのでしょうか？
・多方面で町でも、復旧・復興へ対応してくださっています。復興順位を考慮すると困難性はありますが、なかなか許えられずに表面化してこない弱者の立場の方々への安心、安全に取り組んでいただきたいと思います。
・まずは現在住んでいる町民が”生きていて良かった”と思える生活にしてほしい。難病があっても見てもらえず薬もなく大変な思いをしました（自分の身は自分で守るしかないのか？）。 ・みんなが落ち着いてから慰霊のための施設や記録を残すことも大事なことと思います。 ・仮設の問題を早く考えてほしいです。昨年12月シックハウスを心配して、情報をもっていったのに役場では対処してもらえず体調をくずした方もいたようです。亡くなった人もいて関係ないと言われたが関係あります。もっと勉強して下さい。インターネットで調べればわかると言われたが調べてくれましたか？孫も仮設にいて熱を出したり大変です。親なりに努力しているので、なんとか生活していますが、早くもとの様に家族そろって生活ができる様お願いします。
・公営住宅・子育て住宅の建設より建設促進のための住宅補助を増額して欲しい。 ・借家を増やすのは、本人の為にならないと思う。永久に本人の資産にはならない。貧乏人を苦しめる施策です。

・復旧、復興ではありませんが、朝早く、ダンプ、トラックがいっぱい厚真町に入っています。ただ運転手の方が、片手にスマホ、ハンドルの上に地図、そして、連絡を取りながら公道を走っています。今は、夏休みですが、学校が始まると、子供たちの通学時間と重なってしまうので、何かあっては、大変です。各現場事務所に注意喚起してほしいです。
・今回、津波がなくて本当によかった。絶対、津波対策をしておくべき。河川の整備、用水路など、上厚真地区は死活問題である。復興も大切だが、同時進行で、海側から、（川付近も）対策をしてほしい。宜しくお願いします。 ・また、上厚真地区のネット（光通信化）を早急に進めてほしい（情報化の遅れ）。人口は増加しているのに・・・
・震災とは関係ないとは思いますが、街中心十字路から小学校坂下T字路間の歩道整備（幅を広める。建物の異動など）を将来に向け整備すべきと思う。
・復旧、復興に携わっている皆さまへ　連日暑い中大変なお仕事ご苦労様です。工事関係の車両が毎日街の中を80台～100台（以上の時もあり）行き交いとても危険な時があります。私たち歩行者も気を付けますので暮々も車輌関係の皆さんも気をつけてください。お願いします。町長さま始め町民ひとりひとりが経験したことのないこの苦難を乗り越え心ひとつに乗り越え頑張りましょう。私は高齢ではありますが一日早い元の姿に戻りますよう願っています。
・1、土砂を片付けて元の型に早急にもどす。 ・2、6次産業に力を入れる。
・役場の方、町内外の工事事業者の方、ボランティアの方、本当に多くの方のご尽力のおかげで、着々と復興に向け進んでいると思います。町民も、変わらず忍耐強く、様々な事を受け入れ頑張っています。まだまだ先の長い道のりとは思いますが、心身の健康を第一に、一歩ずつ、できることをしていきたいものです。
・家の解体をしたいと思うが、家財道具を入れるプレハブがまだ見つからず、申し込み出来ない。受付の延長をしてもらえたら助かります。又、”見積りだけ”は出来ないと言われた。どの位かかるか、詳しくわかると申込みやすいと思います。
・日々の活動ご苦労様です。
・今までと変わりなく明るい暮らしやすい厚真町で居てほしい
・町職員の方々が、とても忙しい思いをしながら、がんばってくれていることに感謝しかありません。また、今回のことで職員の方々がとてもレベルアップ・スキルアップしていることを感じます。若い方の意見を取り入れながら、新しい厚真を創っていけると良いと思います。
・再調査願いたい。工事現場に出入りする大型車両の振動で家が傾いたようです。基礎のひび割れがひどく、戸の開閉が大変。山が盛り上がって崩れて来ている。プレハブまで１ｍです。
・農地が被害にあった農家さんの野菜など、町内の私でも買えるよう、町内のお店で売るなどもして欲しい。
・元の生活が遅れる様、整備してほしい。 ・苫小牧への移住も考えている。
・今回の震災では、東北のように町が更地になったわけではない。復興よりも”復旧”に力点をおくべきと思う。用水路の整備や土砂崩れを起こした山の整備をしっかりやってもらいたい。 ・また、仮設住宅に入居している被災者の住居の支援をしっかりするべき。あと１年で仮設住宅を出なければいけないという不安は相当なものだと思う。家を新築できる財力のある人は困らないだろうが。 ・インフラの整備で財源的支援があるなら、「上厚真大橋」などは、アップデートするようにしてはどうか。
・被災された方に対する厚いご支援をお願いします。
・厚真高校、バス路線、こぶしの湯等に支出されている助成金が効果的に使われているとは思えません。この先、高齢化が急速に進む状況が予想されているのに、バスやめぐるくんの利便性は良くありません。また厚真高校を維持することが町民の幸せにつながるのでしょうか？地震を機に町民の幸福度が上がるために予算の使い方を抜本的に見直されることを希望します。
・復旧・復興に向けて、厚真町役場において様々な組織改正が行われたと思いますが、地震後の困りごとや相談したい場合などに対応する”ワンストップ窓口”はあるのでしょうか。電話で問い合わせをした場合、「○○は▲▲課です」「××は○○課です」と言われても、とても覚え切れるものではありません。どん

なことでも、一旦受け付ける”総合（なんでも）窓口”がもし設置されていないのなら、是非検討していただきたい。
・厚真町の復旧・復興の姿勢に不満はありません。大変でしょうが、がんばって下さい。
・1.避難所での介護食への対応（介護食士の採用） ・2.発災～数日間の病院の受け入れ態勢の整備の情報・薬の提供 ・3.交通手段・・・ガソリンの供給の確認（避難するため） ・4.道路情報・・・どの道が安全に通行出来るのか？ ・5.水・食料の供給・・・道路が寸断された場合ヘリコプターの使用 ・6.り災証明・・・国への意見として、１次調査を含めた内閣府の資料の中身の詳細と　　して、地域での差がある為、全国をブロック別の内閣府の資料を作り直すこと ・7.社会保険加入者には、企業と個人に対して減免はあったのか？ ・8.H13年、国交省の法令が改定された。1113号の第２項が加わったことで、今後、土地に対して造成地は安全性が求められる。宅地造成法か土地区画整備事業か？行政の貸入予算によるか？
・子ども達が安全に遊べる公園を増やして欲しいです。
・まずは、公共施設などのインフラ施設の現状回復に全力を上げることです。その中で復旧できないものは変えて行くことです。それもスピードを持って行うこと。住民は、復旧・復興が遅れればいろいろな意見・不満が出てきて更に復旧・復興が遅れ、中々進まなくなってくると思います。スピードを持って進めないとせっかくの計画も計画で終わってしまいます。遅くなればなるほど役場に対する風当たりは強くなると思います。これからの町のあり方を決める計画となるので、職員のがんばりに期待します。 ・被災した住宅以外の建物について助成制度があると聞きましたが、今年度いっぱいの助成で解体業者も自分で見つけることと聞きました。現在、住宅などの解体は進んでいると思いますが、町内業者も忙しいと聞いており、個人で解体業者をさがしても、年度内に処理するのはむずかしいのではないかと思いますので、この制度をもう一年延ばすことはできないものですか。
・たくさんの人の手があって厚真の復旧・復興が少しずつ前進していることに感謝です。心身ともに健康に気をつけて、チーム厚真で頑張っていけたらいいなと思います。
・復興は徐々に進んでいると思う。役場・町行政は住民のために献身的に動き機能していると思う。地域の要望にできるだけ細かく対応し、共通理解のもとに物事を進めてもらいたい。若者、子供、移住者、仕事や住む場所を求めて来る人々をどれだけ受け入れられるかが大事と思う。高齢者への対応は各地域(自治会）の力も利用しながら進められれば良い。
・以前よりも車が通るとすごく揺れると感じることがあります。それが、建物が地震によって影響が出ているのか、液状化などにより地盤に影響が出ているせいなのかわからず不安を感じています。そんなことを調べられるのならありがたいです。
・吉野地区に慰霊追悼の意味、土砂崩れの被災なども含めた自然あふれる公園や花壇を作ってほしい。
・復興のシンボルは不要。それなら、厚真町を開拓して下さった先祖の方々と、昨年の震災で横死された方々の慰霊碑を厚真町の一番格の高い神社の境内に建立し、毎年年１回慰霊祭をし、また田舎まつりや豊作の奉納神事も近くで一緒に見てもらったらいいと思う。亡くなった方々も農業してお祭りにも参加されていたのだから、皆が笑っている姿や復興を頑張って皆の姿を見て、きっと応援してくれていると思う。誰も普段行かない場所に建てるのではなく、永年厚真町を見守ってくれた神様の元に建ててほしいと思う。 ・以前、他の天災の時、公営住宅や旅館、ホテルを仮設変わりに使った場所がありました。学校でもいい、子供が小さい時からお年寄りとふれあってお世話する、ボランティアをする、いざという時にそれが役立つ事もある。皆が避難できて寝泊まり出来る場所、夏冬でも大丈夫な建物や、トレーラーハウスがすぐにでも使える場所等、今回の地震で仮題が色々と見えたのではないかと思う。９月だから良かった。でもこれが冬なら凍死し、避難所での生活も大変だったのではないかと思う。そこもふまえて考えてもらえたらと思う。 ・厚真から早来方面への道がふさがれ、自衛隊の人々も皆同じ道から来ていた。もっと他にも市街地へ抜ける道を増やした方が良いのでは？と思った。橋が落ちたらアウトだったから。

8.「住宅に関する困りごと」その他の記載事項（問1-8）

■記入者　84名　記載内容の項目別整理

項目	人数
改修費用がない	12
地盤が心配・住宅の傾き	9
井戸が枯れ水が出ない	5
応急修理しかできていない、我慢して住んでいる	5
次の災害時に心配	5
補修の工事業者が忙しくて工事ができない	5
町内に宅地・空き家が少ない・情報が欲しい	4
修繕の方法がわからない	4
再建ができない（年齢等）、公営住宅に入りたい	4
どうすべきかわからない	3
自宅前の道路を車が通ると揺れる	2
納屋の除却ができない	2
集落の人が減る	2
ペットと住める公営住宅がない	2
賃貸で家主が修繕していない	1
専門家の判断がほしい	1
支援等の手続きが煩わしい	1
修繕時に住むときの仮住居がない	1
修繕したが2月の余震で壊れた	1
仮設から離れたくない	1
復旧工事の様子を見て考える	1
その他	13
合計	84

■意見の内容（記載のまま）

住宅に対する困りごと
・どこまで修繕するべきか、判断が難しい。
・井戸水が止まり、修繕したい。
・市街化調整区域ばかりで住宅地がなさすぎる。
・住宅に特別困り事はないが周辺の出入口の通路が修繕されていない。
・今のところ、今の状態でいる予定だが、直すかどうか決めていない。
・再度、大地震が発生した場合、地盤が心配である。
・壁紙のはがれやヒビ割れが目立つが賃貸なのでそのままにしてあります。直したい気持ちはあるのですが。
・内装に被害があり、どうしてよいかわからない
・自宅前を大型車両が通る度、自宅が揺れる
・納屋の始末を町にお願い
・年齢的に再建は無理
・現在地で、この先はどうなるか状況判断する。
・住宅の専門的な診断
・井戸水の灯油汚染解決による、飲用⇒おいしかった水を飲みたい（高齢者の切なる願い）。
・浄化槽を早く治してほしい。
・限界集落化が更に進行し、自治会の再編等の協議が必要では？
・地盤被害があるがお金がない。

・早く修理をしてほしい。
・応急修理のため、大きな余震、大規模地震の時、大丈夫か？
・厚真町そのものに先が見えない！大切な事に目が向いていないと思うので！
・再び震度７程度の地震が発生するのではないか。その時、住宅は持ちこたえる事が出来るのだろうか。
・床の傾きが収まれば良いが
・修繕したい箇所はあるが金銭的にゆとりがない。
・修繕という方向に進んではいるが時期、工法が未定
・一応住めるようになったが、自分達で直せる箇所は行っている。
・家が傾き、現在は何とか住んでいるが、修繕する費用は捻出できない。
・住宅を修繕したいが金が無い。
・余震等による被害の発生が心配
・書類等の審査が遅い。
・住宅の一部を修繕して住んでいるが今後、地震が来たときに安全かどうかがとても不安
・床下、基礎の亀裂が有り若干の心配有るが他は特に無し
・修繕費用について。
・家を修繕する時に住む場所がない、費用もない。
・自営業なので外に住む事は考えられない。
・我慢して住み続ける。
・町営住宅の通路及び回りの地盤沈下【未修理】
・ペット可の公営住宅がない。
・義援金が少ない。
・どの程度補修するかと、時期
・修繕にお金がかかる。
・液状化した地区なので、再度同じような地震が起きた際、また液状化が起こらないか心配
・住宅を修繕する。8月中旬決定
・地震によりクロスや住宅まわりなど補修などがあるがまだ終っていない。
・修繕する業者が多忙で来年3月までに修繕の見通しが立たない。
・住宅地の道路を大型車両が通ると地震のように家が揺れる。
・災害住宅移転を希望。住宅の見取り図等わかれば知りたい。
・自分で考えるようにしている。
・修理を依頼できる業者が見つからない。
・小さな困りごと悩みごとは沢山ある（あたり前ではないか？）。
・住宅の修繕を考えているが大工が来ない。
・被災住宅の解体の資金について
・地震前より地盤が弱くなった気がする。
・悩みがない訳ではないが、何とか住めている。
・井戸水の不安
・母親の家が全壊なので床が落ちた時入れる施設があってほしい。
・空いている土地の情報が欲しい。
・住宅の修繕を依頼しているが、順番待ちでいつになるか分からない ・トラックが通るたび振動がすごく、家が傷んでいくと思う。
・住み慣れた所を離れるのは心苦しいが、公営住宅は家賃の問題がある。
・土砂災害の悩みが少しはある。
・裏山が心配
・農業用井戸の全壊により新たに掘ったが、水質が悪く悩んでいる。
・２次的被害や道路環境、工事車両増による悪環境のため様子を見ている。
・地震後からトイレ排水がよく詰まるが、どこに相談して良いかわからない。
・早く新しい施設ができるといい。
・農地を宅地にして、居住地をもっと増やさないと人口増加にはつながっていけないと思う。
・空家を探しています。

・住宅補助金を増額希望
・現在、特に困りごとや悩みはないが、駐車場や住宅周囲の歩道、道路のひび割れ、陥没、隆起など2次災害が起こらないか心配。早めに改善してほしい。
・自分のことの出来る間は現在の施設に住んで過ごす。
・借入れはしたが、将来の不安がある。
・親が仮設で友達が出来、まだ離れたくないと言う。
・農用井戸の全壊に依り、新たに掘ったが水質が悪く悩んでいる。
・地震被害による地割れ
・金がない。
・ペットが公営住宅に入れない事
・細かい修繕費用の確保に困っている。
・住宅修繕する為の費用ができない。
・建替える事は考えていないが、修繕に関わる費用の捻出が不安
・住宅を直して、自宅に引越しましたが、最小限の修理修繕で、目に見えない部分がどうなっているか、心配です。
・修繕を終えた家が2月の余震で壊れ、また繰り返すのではと2度目の修繕ができないでいること
・苫小牧の業者がなかなか来ない。町の補助金等があとどれくらい残っているのか(使えるのか）がわからない。
・液状化が原因かは不明ですが、大型車の通行時の揺れが激しいのでこのままで良いのかわからない。

町民の皆さまへ

厚真町の復旧・復興に向けたアンケート調査ご協力のお願い

昨年９月６日に発生した北海道胆振東部地震において、被災された町民の皆さまには改めてお見舞い申し上げるとともに、復旧事業をはじめ町政諸般についてのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

厚真町では、この震災を乗り越え、将来を見据えたまちづくりを行うための『厚真町復旧・復興計画』の策定に取り組んでいるところです。この計画は、住民一人ひとりが思い描く復興後の‘あつま’について、実現までのビジョンや事業計画、工程などをとりまとめたマスタープランとして策定するものです。そこで、町民の皆さまの思いやお考えを反映した計画とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理するものであり、個人情報が公表されることは一切ありません。また、適切な調査を行うため、すでに別のアンケートでお答えいただいている項目についても重ねておたずねします。お手数をおかけしますが、改めてご協力をお願いいたします。

厚真町では、このアンケート調査をはじめとして、今後とも、町民の皆様との話し合いや意見交換などの場を設けていく考えです。何かとご多用のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年７月

厚真町長　宮坂 尚市朗

≪ご記入に際してのお願い≫

1．ご回答にあたっては、**原則、世帯主の方**に回答いただきますようお願いいたします。

2．ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。

3．ご回答は、あてはまる選択肢の番号を選んで○で囲んでいただくものと、具体的な名称や内容を書いていただくものがあります。

4．ご記入が終わりましたら同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに**8月9日(金)**までに、郵便ポストにご投函ください。住所、氏名を記入する必要はありません。

5．記入上の不明な点、調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

6．なお、本調査は７月１日時点で厚真町に住民票がある方へ配布しております。

【調査についての問合せ先】
厚真町　まちづくり推進課
〒059-1692　住所　北海道勇払郡厚真町京町 120 番地
電話 0145-27-3179　FAX 0145-27-2328
（担当：小山、江川）

（参考）アンケート票

1．住まいの被害と再建についてお聞きします。

(1) 昨年の地震の時のあなたのお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。

1．持ち家　2．公営住宅・町有住宅　3．民間借家（賃貸アパート等）
4．社宅・寮　5．その他（　　）

(2) り災証明での家屋の被害程度は次のうちどれですか。

1．全壊　2．大規模半壊　3．半壊　4．一部損壊
5．被害なし　6．わからない　7．その他（　　）

(3) 昨年の地震による住まいの被害等について、**あてはまるものすべてに**○をつけてください。

1．地震の揺れにより住居が破損した
2．土砂被害を受けた
3．地割れ・地盤被害がある
4．井戸水等、自宅・集落で管理するインフラに被害があった
5．その他の被害（　　）
6．ほとんど被害はない

(4) ご家族の現在の住まいについて、**あてはまるもの一つに**○をつけてください。

1．昨年の地震の時に住んでいた自宅（賃貸住宅等を含む）にそのまま住んでいる
2．一時的な住宅※に住んでいる
3．すでに修繕を終えた、または新居に引っ越した
4．その他（　　）

※ 一時的な住宅 … 応急仮設住宅、みなし仮設住宅（民間アパート）、公営住宅・町有住宅への一時的避難、トレーラーハウス、親族等の家　など

(5) 今後の住まいについてお聞きします。あなたやご家族が今後住む予定の場所について、**あてはまるもの一つに**○をつけてください。

1．昨年の地震の時と同じ住所に住み続ける
2．昨年の地震の時と別の住所に移転する（またはした）
3．決めかねている

※移転予定地について、あてはまるものに○をつけてください。

1．お住まいの地区内
2．お住まいの地区以外の厚真町内
3．厚真町外
4．決めかねている

(6) 住まいの修繕や建て替え（実施済みのものを含む）について、あなたやご家族の考えに**最も近いもの一つに**○をつけてください。

1．住宅を直して住む	2．新たに住宅を建て替える
3．公営住宅やアパート等を借りる	4．親類等の家に同居・間借りする
5．特に手を加える予定はない	6．その他（　　）

(7) (5)で「2．昨年の地震の時と別の住所に移転する」とお答えした方に伺います。その理由として**あてはまるものすべてに**○をつけてください。

1．土砂災害の心配や、地盤の安全性への不安があるから
2．大雨時の水害や地震時の津波などに不安があるから
3．避難場所や避難路の安全性に不安があるから
4．復旧工事の見通しがわからず、住宅の再建までに時間がかかるから
5．友人・知人が移転するなど、仲の良い人が居なくなるから
6．買い物・通勤・通学など、より生活に便利なところに住みたいから
7．将来の健康を考え、病院や福祉施設の近くに住みたいから
8．その他（　　）

(8) 住まいについての困りごとや悩みについて、あなたの思いに**近いものすべてに**○をつけてください。

1．被災前の場所や現在住む予定としている場所に住んで良いかわからない
2．移転を希望しているが、適切な移転先が見つけられない
3．住宅を修繕するべきか、建替えるべきかの判断ができない
4．住宅再建のための費用を確保する目途がたたない
5．賃貸を希望しているが、条件に合う物件が見つからない
6．災害復旧の見通しがわからないので、住まいのことを考えられない
7．近隣の方の再建方針がわからないので、住まいのことを考えられない
8．住宅再建に関する情報が少ないので、住まいのことを考えられない
9．現在、特に困りごとや悩みはない
10．その他（　　）

(9) あなたのご家族で、高齢者向け施設等への入居の希望はありますか。**あてはまるもの一つに**○をつけてください。

1．すでに入居している　　2．入居したい　　3．現在は入居する予定がない

(10) (9)で「2．入居したい」とお答えした方に伺います。どのような施設等への入居を希望していますか。あなたやご家族の考えに**最も近いもの一つに**○をつけてください。

1．食事や入浴など、日常のあらゆる介護サービスが揃った施設
2．入居者ができることは自分で行い、見守りサービス付きで安心して暮らせる住宅
3．その他（　　）

2．しごとの被害についてお聞きします。

昨年の地震前の時点で就業していた方のうち、主な生計者（世帯主を含め４名まで）の就業状況についてお聞きします。
なお、世帯主の方が就業していない場合は、世帯主欄の(4)から下の記入は不要です。
また、世帯の中に就業している方がいない場合は５ページに進んでください。

【質　問】		【回 答 欄】 ※ 回答例のように、単語、数字、選択肢の番号をお書きください。				
		回答例	世帯主	世帯員①	世帯員②	世帯員③
(1)世帯主との続き柄 ※ 配偶者,子 等をお書きください。		妻	本人			
(2) 年齢 ※ 年齢（__歳代）を数字でお書きください。		60 歳代				
(3) 性別 ※ 男性・女性をお書きください。		女性				
昨年の地震時の就業状況	(4) 業種 1．農業　2．林業　3．漁業 4．建設業　5．製造業 6．電気・ガス・運輸業 7．小売・飲食業 8．サービス業 9．公務 10．その他	1				
	(5) 就業形態 1．自営・経営者 2．会社員、団体職員 3．パート・アルバイト等 4．その他	1				
	(6) 勤務地 1．自宅と同じ　2．町内　3．町外	1				
(7) しごとの被害・影響について ※あてはまる番号をすべてお書きください 1．施設や設備等の被害 2．事業の縮小や収入の減少 3．取引先の被害による売上等の減少 4．従業員の被災による働き手の不足 5．復旧対応等による業務量の増大 6．大きな影響はない 7．その他		1 2 4				

【質　問】		【回答欄】※ 左欄から番号を選びお書きください。				
		回答例	世帯主	世帯員①	世帯員②	世帯員③
現在のしごとについて	(8) 現在のしごとの状況 1．昨年の地震前と変わらない 2．しごとが変わった（転職・起業・複業） 3．しごとを休んでいる（休業・休職） 4．しごとを辞めた（廃業・失業） 5．その他	2				
	※「2.しごとが変わった（転職・起業・複業）」を選んだ方は現在の状況をお書きください。					
	(9) 業種 1．農業　2．林業　3．漁業 4．建設業　5．製造業 6．電気・ガス・運輸業 7．小売・飲食業 8．サービス業　9．公務 10．その他	1				
	(10) 就業形態 1．自営・経営者 2．会社員、団体職員 3．パート・アルバイト等 4．その他	2				
	(11) 勤務地 1．自宅と同じ　2．町内　3．町外	2				

3．厚真町の復興や将来像についてお聞きします。

厚真町の復興に向けて、「住宅・暮らしの再生」「しごとの再生」「安全・安心なまちづくり」の３つの視点が重要だと考えています。これについて以下の設問にお答えください。

（1）「住宅の再生」のためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。**あなたが重要と思うもの２つ以内に○をつけてください。**

1．住宅の耐震性の強化
2．宅地や地盤の安全性を高める施策
3．土砂災害や地盤災害の危険区域からの移転の促進
4．住宅再建のための支援策の充実
5．市街地等での住宅分譲地の整備
6．公営住宅および民間賃貸住宅の建設促進
7．空き家等の有効活用による住宅の確保
8．その他（　　）

（2）「暮らしの再生」のためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。**あなたが重要と思うもの２つ以内に○をつけてください。**

1．仮設住宅や災害公営住宅、再建した住まいなどでの見守り・サポートの充実
2．体や心の不調に対するアドバイスなど、心身の健康のサポートの充実
3．子どもの心のケアや、子育て世帯へのサポートの充実
4．故郷への誇りと愛着をはぐくむ、教育・生涯学習の充実
5．生活会館など地域の活動ができる場の充実や、地域での助け合いの環境整備
6．再建した住まいでも買い物・通院がしやすくなるような公共交通の整備
7．災害時にも安心して使えるインターネット等の情報インフラの確保
8．その他（　　）

（3）「しごとの再生」や「まちの活力向上」のためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。**あなたが重要と思うもの２つ以内に○をつけてください。**

1．農地の復旧・活用による農業振興
2．山林の復旧による林業の振興
3．後継者や新規就農（就林・漁）者の育成と確保
4．商工業の復旧（事務所・作業場の修復、営業継続、従業員の確保）への支援
5．震災で仕事を継続できなくなった人等を含む多様な方の雇用の確保への支援
6．今後も若者や移住者が町内で就業・起業するための環境整備
7．町外の応援者（あつまファン、災害ボランティア 等）とのつながりを活かした、商品開発・観光などの取り組み
8．その他（　　）

（4）「安全・安心なまちづくり」のため、町全体として防災体制を強化していく上で、どのようなことが重要だと考えますか。**あなたが重要と思うもの2つ以内に○をつけてください。**

1．斜面の復旧や森林の再生による土砂災害の再発防止
2．安全な避難路や避難場所の確保・再整備
3．水害や津波等からの安全を確保するための対策
4．地域での防災訓練・避難訓練の強化
5．避難時の要援護者への支援体制の整備
6．備蓄の充実や備蓄施設の整備
7．救援・救護時の情報連絡体制の整備
8．地域の防災を推進する組織の充実
9．その他（　　）

（5）厚真町の復興に向けた取り組みとして、重要だと考える取り組みはありますか。**あなたが重要と思うもの2つ以内に○をつけてください。**

1．被災した地域の記憶や被災の記録を残すための活動
2．慰霊や追悼のための施設の検討・設置
3．復興の象徴となる施設の検討・設置
4．森林再生のシンボルとなる植樹活動
5．被災物（土砂被害にあった木材など）を活用する取り組み
6．厚真町に訪れる人が増え、観光や交流ができる施設や仕組みの整備
7．震災を機にうまれた町外の方たちとのつながりを維持していくための活動
8．震災に伴う人口減少に対しての取り組み
9．その他（　　）

（6）厚真町の復旧・復興に向けて、「こんな厚真にしたい」「こんな厚真になったら良い」というあなたの思いを、下記に自由にご記入ください。

4．あなた（回答者）やあなたの世帯についてお聞きします。

(1)あなたの年齢	1．10歳代　2．20歳代　3．30歳代　4．40歳代　5．50歳代 6．60歳代　7．70歳代　8．80歳以上
(2)あなたの性別	1．男性　2．女性
(3)世帯構成	1．単身世帯　2．夫婦のみの世帯　3．二世代の世帯 4．三世代の世帯　5．その他（　　）
(4)昨年の地震時のお住まい	1．幌内　2．富里　3．高丘　4．吉野　5．東和　6．桜丘 7．朝日　8．本郷　9．幌里　10．京町　11．表町　12．錦町 13．本町　14．新町　15．宇隆　16．美里　17．豊沢　18．上野 19．豊川　20．共栄　21．富野　22．上厚真　23．共和　24．厚和 25．鯉沼　26．浜厚真　27．軽舞　28．豊丘　29．鹿沼

厚真町の復旧・復興について、ご意見・ご要望がありましたら、下記にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。